

平成 12 年 研究業績目録

(前段：和文業績)
(後段：欧文業績)

次 長 Deputy Director-General

総 説

上畑鉄之丞. 過労死・精神障害の労災認定と公衆衛生. 公衆衛生. 2000 ; 64(2) : 106-112
上畑鉄之丞. 健康日本21に寄せて(9) 国民的運動の意義について. 週刊保健衛生ニュース. 2000 ; 1071号 : 10-12

著 書

上畑鉄之丞, 関谷栄子 監修. 仕事と生活習慣の関わりを調べてみました. バイエル薬品株式会社, 大阪. 2000 ; 1-44

抄録のある学会報告

上畑鉄之丞, 須藤紀子. 看護婦のストレス—教員, 一般事務職との比較研究. 第41回日本社会医学会, 社会医学研究特別号, 2000 ; 66-67
上畑鉄之丞. 職場ストレス—労働・環境条件への対応. 第8回日本産業ストレス学会, 産業ストレス研究, 2000 ; 8(1) : 26-27. (シンポジウム)

学術報告書等

上畑鉄之丞, 他. 看護婦の交代勤務制の改善に関する研

究. (主任研究者：上畑鉄之丞) 平成11年度厚生科学研究費補助金政策科学推進研究事業報告書, 2000. 3 ; 1-92

上畑鉄之丞, 兵井伸行, 曾根智史, 他. 開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究総括報告. (主任研究者：上畑鉄之丞) 平成11年度国際協力研究委託費報告書, 2000. 3 ; 1-3

上畑鉄之丞, 須藤紀子, 他. 21世紀に向けたこれからの行政栄養士活動のあり方に関する研究. (主任研究者：上畑鉄之丞) 平成11年度地域保健推進事業報告書, 2000. 3 ; 1-93

上畑鉄之丞, 西田茂樹. 保健所医師の行政研修ニーズ調査. (主任研究者：柳澤健一郎) 平成11年度厚生省地域保健総合推進事業(総合的地域保健検討事業) 報告書第二分冊, 2000. 3 ; 37-44

上畑鉄之丞, 丹後俊郎, 箕輪眞澄, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 藤田利治, 加藤則子, 土井由利子. ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響に関する疫学研究. (主任研究者：上畑鉄之丞) 平成11年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業報告書, 2000 ; 1-32

保健統計人口学部

Department of Demography and Health Statistics

原 著

鎌田明美, 綿引信義, 西田茂樹. 青森県の平均寿命に関する研究. 公衆衛生研究. 2000 ; 49 : 62-71
兵井伸行. 国際機関や先進諸国が行う開発途上国の公衆衛生人材養成. 公衆衛生研究. 2000 ; 49(1) : 14-22
岩永俊博, 兵井伸行, 曾田研二, 三橋かほり, 山田隆司. プライマリ・ヘルス・ケアの進め方—中国安徽省での活動から. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(9) : 65-70
兵井伸行. プロジェクト・サイクル・マネジメント. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(12) : 1008-1010
兵井伸行. プライマリ・ヘルスケア・マネジメントの方法—PCMの実用性. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(11) : 69-74
横森喜久美, 兵井伸行. 保健医療分野の住民組織活動の構造に関する一考察. 看護研究. 2000 ; 33(6) : 83-91

総 説

林謙治. プライマリ・ヘルスケア活動の実効性—アフリカの経験から. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(1) : 85-89
林謙治. プライマリ・ヘルスケア思想の源流をたどる. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(2) : 78-82
林謙治. プライマリ・ヘルスケアのための人材育成. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(3) : 80-83
林謙治. 国際協力の視点からみたプライマリ・ヘルスケア. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(11) : 78-81
林謙治. 最近の若者たちの性に対する意識・行動からの考察. 日本医師会雑誌. 2000 ; 123(10) : 1569-1572
林謙治. 資格外就労外国人に適切な医療を受けられるように公的制度をつくるべきか. 公衆衛生. 2000 ; 64(4) : 292-293

林謙治. アジア・太平洋地区公衆衛生学校連合体 (APACPH) の活動. 公衆衛生研究. 2000; 49(1): 3-5

林謙治. 根拠に基づく健康政策へのアプローチ. 公衆衛生研究. 2000; 49(4): 346-353

野田順子. DV (ドメスティック・バイオレンス) は女性の健康問題である 心と身体に及ぼす影響. 助産婦雑誌. 2000; 54(7): 561-566

佐藤准子, 兵井伸行. 発展途上国の保健医療事情—死因について. 治療. 2000; 82(11): 150-156

大坪浩一, 大原賢了, 林謙治. 地方衛生研究所における情報ネットワーク—地研から得られる基本データベースの作成—. 公衆衛生. 2000; 64(6): 399-404

著書

林謙治. 家族計画の動向とバブル崩壊の影響について. 日本の人口—戦後20年の軌跡—. 毎日新聞社, 東京. 2000; 213-231

林謙治. 中華人民共和国・台湾. 松田朗 編. 世界の公衆衛生体系. 日本公衆衛生協会, 東京. 2000; 167-187

新野直明, 土井徹, 加藤種一, 當銘貴世美, 崎原盛造. 死亡現象に及ぼす気象の影響. 終山幸志郎編. 長寿の要因—沖縄社会のライフスタイルと疾病—. 九州大学出版会, 福岡. 2000; 27-33

抄録のある学会報告

康文江, 土井徹. 中国黒竜江省4施設の出生体重(1995-98年) その1. 分布の解析. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 187

土井徹, 康文江. 中国黒竜江省4施設の出生体重(1995-98年) その2. 日本との比較方法. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 188

高木明子, 清古愛弓, 伊藤史子, 若松弘之, 土井徹. 葛飾区における小規模事業所健診. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 297

小野千幸, 西田みちよ, 土井徹. 女性の骨密度と食生活. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 515

大塚佳子, 鳩野洋子, 西田茂樹. 精神障害者の食生活について. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10

丹野かほる, 兵井伸行. 諸外国のリプロダクティブ・ヘルスに関する研究. 第15回日本国際保健医療学会, 長崎. 2000. 8

工藤芳子, 佐藤准子, 兵井伸行, 藤田則子. 発展途上国での周産期管理における臨床検査の役割—カンボジア都市部3次医療施設での尿蛋白マス・スクリーニングと妊娠中毒症. 第15回日本国際保健医療学会, 長崎. 2000. 8

佐藤准子, 工藤芳子, 兵井伸行. 発展途上国のプライマリレベルにおける臨床検査に関する研究. 第15回日本国際保健医療学会, 長崎. 2000. 8

山田和子, 野田順子, 高田紀子, 上野昌江, 中板育美. 全国保健所における児童虐待への支援実態(第1報)—虐待把握内容と把握率—. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋.

2000. 10; 576

河野志津子, 大塚佳子, 榊原るり子, 橘いづみ, 川田葉子, 小澤宏美, 渡辺志保, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくりが進められたか(第1報)—活動資料からの情報収集・分析—. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10

渡辺志保, 大塚佳子, 榊原るり子, 橘いづみ, 河野志津子, 川田葉子, 小澤宏美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくりが進められたか(第2報)—面接聞き取り調査による検討—. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10

橘いづみ, 大塚佳子, 川田葉子, 河野志津子, 小澤宏美, 榊原るり子, 渡辺志保, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくりが進められたか(第3報)—統合的分析—. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10

吉村信恵, 畑栄一. 保健婦が住民の自主性・主体性を重んじる姿勢について 第一報—計量的評価の試み—. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10

谷畑健生, 竹内裕子, 青山旬, 尾崎米厚, 川南勝彦, 蓑輪眞澄, 畑栄一. 低用量経口避妊薬解禁直後における看護学生の経口避妊薬への考え方とHIV・性感染症予防行動を明らかにする. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10

新郷歩, 畑栄一, 谷畑健生. コミュニティーヘルスワーカー(CHW)制度のあり方の検討. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10

野田順子, 山田和子, 高田紀子, 上野昌江, 中板育美. 全国保健所における児童虐待への支援実態(第2報)—都道府県と政令市保健所の特徴—. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 576

高橋みね, 野田順子. 精神保健福祉相談における保健所と市町村の連携. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 679

福川京子, 野田順子. ケアマネジメントによる精神障害者ホームヘルプサービス. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 686

藤田由美, 安藤梨香, 糸数公, 榊田和子, 保条麻紀, 高橋里美, 遠藤由紀子, 野田順子, 鳩野洋子, 西田茂樹, 佐々木峯子. ゴミと健康に関する健康教育媒体の作成. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10; 267

山田和子, 野田順子, 高田紀子, 上野昌江, 中板育美. 全国の保健所保健婦による児童虐待への支援実態(第1報)—虐待事例の分析と児童相談所との比較—. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000. 11; 500-501

野田順子, 山田和子, 高田紀子, 上野昌江, 中板育美. 全国の保健所保健婦による児童虐待への支援実態(第2報)—虐待疑い事例と虐待事例の比較—. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000. 11; 502-503

綿引信義, 西田茂樹. ケニア国における最近10年間の出生力について. 第15回日本国際保健医療学会, 長崎. 2000. 8; 154

綿引信義, 西田茂樹. 青森県の男子平均寿命について. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10

大坪浩一, 土井徹. 地域医療福祉計画策定における通勤通学動向指標の有効性に関する基礎的研究—既存の生活行動圏調査結果のメタ分析—. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 289

大坪浩一. 地域高齢者医療福祉計画の策定手法に関する研究—地理空間システム分析による計画圏域の策定と資源配分—. 第38回日本病院管理学会, 広島. 2000. 11 ; 156

学術報告書等

西田茂樹, 曾根智史, 牛山明, 上畑鉄之丞. 専門課程必修科目・専門課程分割前期(基礎)科目の評価. (研究代表者: 柳澤健一郎). 平成11年度厚生省地域保健総合推進事業 総合的地域保健検討事業 公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究1999年度報告書(第2分冊), 2000 ; 1-33

上畑鉄之丞, 西田茂樹. 保健所医師の行政研修ニーズ調査. (研究代表者: 柳澤健一郎) 平成11年度厚生省地域保健総合推進事業 総合的地域保健検討事業 公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究1999年度報告書(第2分冊), 2000 ; 37-44

兵井伸行. プロジェクト・サイクル・マネジメントの概要とその特徴. (研究代表者: 岩永俊博). 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業 地域保健活動の類型化と展開方法の適用に関する研究 報告書, 2000 ; 17-25

兵井伸行. 国際機関や先進国が担う国際協力研修プログラムのあり方に関する研究. (研究代表者: 上畑鉄之丞). 平成11年度厚生省国際医療協力研究委託事業 開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する

研究報告書, 2000 ; 7-9,

兵井伸行. タイ国における地球温暖化による健康影響に関する研究の動向. (研究代表者: 内山巖雄). 平成8年度～平成10年度環境庁地球環境研究総合推進費 地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究 終了研究報告書, 2000 ; 145-149

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 他. 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—. 安藤満編: 平成8-10年度環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書 地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究, 2000 ; 103-149

内山巖雄, 佐々木昭彦, 丹後俊郎, 兵井伸行, 他. 地球温暖化による健康影響と環境変化による社会の脆弱性の予測と適応によるリスク低減化に関する研究(4) ライフスタイルからみた温暖化の影響への適応と健康リスクの予防に関する研究. 地球環境研究総合推進費平成11年度研究成果報告集(中間報告II) 環境庁企画調整局地球環境部, 2000 ; 152-156

綿引信義, 磯野威. 米国の公衆衛生学校と遠隔教育について. (研究代表者: 上畑鉄之丞) 平成11年度厚生省国際医療協力研究委託事業 開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究報告書, 2000 ; 34-37

綿引信義. アメリカ合衆国における遠隔教育. (研究代表者: 柳澤健一郎). 平成11年度厚生省地域保健総合推進事業 総合的地域保健検討事業 公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究1999年度報告書(第2分冊), 2000 ; 47-52

Books

Hayashi K. **The trend of family planning practice and impact of economic burst on fertility: in "The Population of Japan: An overview of the 50 postwar years".** The Mainichi Shimbun: 2000; 159-176

Hayashi K. **Food and nutrition. in "To know more about primary health care".** JICA: 2000; 38-45

Proceeding with abstracts

Hayashi K. **Sex preference at birth in East Asia.** 6th Asian Congress of Sexology. Kobe. 2000 (Symposium)

Hayashi K. **Activities conducted by Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health.** The 1st Regional Conference of the IUHPE Northern Part of the Western Pacific. Tokyo. 2000 (Symposium)

Hayashi K. **Collaboration of schools of public health in Asian-Pacific Region.** 9th International Congress of Public Health. Beijing. 2000 (Symposium)

Hyoji N. **Reproductive health indicators and their use in Vietnam.** The 32nd APAPCH Conference on Public Health Education in 21st Century. Hong Kong. Mar. 2000

Funabashi A, Hyoi N. **The factors influencing gender difference in vaccination in Citwan, Nepal.** The 15th Annual Conference of Japan Association of International Health. Nagasaki. Aug. 2000

Funabashi A, Hyoi N. **The gender difference in vaccination in Citwan, Nepal.** 9th International Congress of World Federation of Public Health Associations. Beijing, Sep. 2000

Reports

Uchiyama I, Sasaki A, Tango T, Hyoi N, et al. **Roles of lifestyle in adaptation to health effects and prevention of the health risk by global warming. in "Studies on the Vulnerability of Community by Global Warming and Environmental Change to Proceed the Adaptive Risk Reduction.** Global Environment Research of Japan in 1999" (ed. Ando M) Dec. 2000; 82

Uchiyama I, Sasaki A, Hyoi N, et al. **Effects of global warming on health and lifestyle in Asian-Pacific Region.** Global Environmental Research of Japan (Final report for Projects Completed in 1999) Part 1, Research

and Information Office, Global Environmental Japan, 2000
Department, Environment Agency, Government of

疫学部 Department of Epidemiology

原著

大井田隆, 尾崎米厚, 望月友美子, 石井敏弘, 西口裕, 北村純, 玉貫良二, 針田哲, 川口毅, 箕輪眞澄. 一般住民における喫煙者の健康意識と喫煙行動因子. 厚生指標. 2000; 47(2): 9-13

大井田隆, 河原和男, 尾崎米厚, 曾根智史, 石井敏弘, 藤森徹也, 川口毅, 箕輪眞澄. 福井県における医師の喫煙行動. 日本衛生学雑誌. 2000; 55: 559-565

山岡和枝, 丹後俊郎, 渡辺満利子, 横塚昌子. 糖尿病の栄養教育のための半定量食物摂取頻度調査票 (FFQW65) の妥当性と再現性の検討. 日本公衛誌. 2000; 47: 230-244

藤田利治, 平良セツ子, 国吉秀樹, 恩河尚清. 高血圧者における脳出血発症と高血圧治療状況との関連についてのケース・コントロール研究. 薬剤疫学. 2000; 5: 1-10

成田友代, 藤田利治, 松本まり, 中橋猛, 森享. 東京・横浜地区における結核の接触者検診の実施状況とその関連要因. 日本公衆衛生雑誌. 2000; 47: 245-263

小石真子, 藤田利治. 痴呆性老人のデイケア継続とその関連要因. 日本公衆衛生雑誌. 2000; 47: 517-529

岡永真由美, 牛山明, 近藤政代, 河本恭子, 大西良之, 水上みどり, 小嶋由美, 後藤幸枝, 下元裕子, 堀江和美, 山口洋子, 尾崎米厚, 藤田利治, 福島富士子, 井原成男. 乳幼児の事故予防に関する調査. 厚生指標. 2000; 47(10): 18-23

土井由利子, 尾方克巳. 痴呆症状を有する在宅高齢者を介護する主介護者の精神的健康に関する研究. 日本公衆衛生雑誌. 2000; 47: 32-46

土井由利子, 上畑鉄之丞, 石原信哉, 関谷栄子, 杉澤あつ子, 千田忠男, 及川しほ. 日本人女性労働者のタイプA-疫学的見地から. タイプA. 2000; 11: 25-31

川南勝彦, 古谷野亘, 箕輪眞澄, 他. 難病患者に共通のQOL尺度の開発. 日本公衆衛生雑誌. 2000; 47(12): 990-1003

谷畑健生, 尾崎米厚, 青山旬, 箕輪眞澄. 全国保健所におけるたばこ対策実施状況調査の結果と分析: 平成4-9年(第1報) —たばこ対策の実施状況と対象, 禁煙教室および講演会の実施状況, 喫煙実態調査の実施状況, 保健所職員の喫煙状況および保健所長の喫煙状況とたばこ対策の実施状況関連—. 厚生指標. 2000; 47(11): 34-41

熊本悦明, 塚本泰司, 西谷巖, 利部輝雄, 赤座英之, 野口昌良, 守殿貞夫, 碓井亜, 香川征, 柏木征三郎, 内藤誠二, 箕輪眞澄, 谷畑健生. 日本における性感染症流行の実態調査—1999年度のSTD・センチネル・サーベイランス報告—. 日本性感染症学会誌. 2000; 11(1): 72-103

総説

箕輪眞澄. 喫煙の健康影響. 薬局. 2000; 51: 205-209
箕輪眞澄, 水野正一. 質疑応答: 喫煙と平均余命. 日本醫事新報. 2000; (3962): 171-172

箕輪眞澄. たばこ①未成年の内にはじまる喫煙習慣. 健康な子ども. 2000; (12): 22-23

箕輪眞澄. たばこ②未成年における喫煙防止. 健康な子ども. 2000; 30(1): 220-21

丹後俊郎. 良質の根拠を生むrandomizationの本質—科学研究者としてのセンス—. 公衆衛生研究. 2000; 49: 308-312

雫石聰, 青山旬, 飯島洋一, 小林清吾, 竹原直道, 中垣晴男, 宮崎秀夫, 宮武光吉, 米満正美, 渡邊達夫. 望ましい初期齲蝕の診断法. 日本口腔衛生学会「初期齲蝕診断」における探針の意義に関する作業検討部会, 口腔衛生学会雑誌. 2000; 50: 137-152

雫石聰, 青山旬, 飯島洋一, 小林清吾, 竹原直道, 中垣晴男, 宮崎秀夫, 宮武光吉, 米満正美, 渡邊達夫. 齲蝕診断における探針の使用をめぐって初期齲蝕の望ましい診断法とは. 日本口腔衛生学会, 「初期齲蝕診断」における探針の意義に関する作業検討部会. 歯界展望. 2000; 96: 698-706

土井由利子, 上畑鉄之丞. 休養のとり方・ストレスへの対処. 日本循環器管理研究協議会雑誌. 2000; 35: 188-193

土井由利子. 散発発生食中毒疫学調査の考え方. 食品衛生研究. 2000; 50: 17-22

著書

箕輪眞澄. バージャー病, 悪性関節リウマチ, スモン. 大野良之, 田中平三, 中谷比呂樹, 黒川清, 齋藤英彦編. 難病の最新情報: 疫学から臨床・ケアまで. 南山堂, 2000

丹後俊郎. 統計モデル入門. 医学統計シリーズNo. 2. 朝倉書店, 2000

丹後俊郎. (分担執筆). 基準範囲の推定. 日本臨床病理学会臨床検査 情報学専門部会編. 臨床検査診断学. 2000; 51-67

土井由利子, 鈴木庄介, 久道茂. 母子保健の現状と動向. シンプル衛生公衆衛生学改訂第9版. 南江堂, 東京, 2000; 186-192

土井由利子, 柳川洋, 中村好一, 児玉和紀, 三浦宣彦. 地域保健活動で得られた資料の利用-痴呆性高齢者介護実態調査. 地域保健活動のための疫学. 南山堂, 東京, 2000; 316-321

抄録のある学会報告

箕輪眞澄. 日本における疲労の実態とリスクファクター.

- 第5回慢性疲労症候群（CFS）研究会，大阪．2000．10-11
箕輪眞澄，邱冬梅，青山旬，谷畑健生．1999年夏における北海道の酷暑と超過死亡；人口動態調査速報に基づく観察．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；831
- 関根道和，山上孝司，沼田直子，そうけ島茂，齋藤友博，南里清一郎，箕輪眞澄，吉田勝美，吉村健清，徳井教孝，鏡森定信．睡眠時間と小児肥満の量反応関係—富山出生コホート研究の縦断的評価．第70回日本衛生学会総会，大阪．2000．55(1)：386
- 関根道和，山上孝司，沼田直子，そうけ島茂，齋藤友博，南里清一郎，箕輪眞澄，吉田勝美，吉村健清，徳井教孝，鏡森定信．肥満の両親を持つ小児の生活習慣の特徴．第70回日本衛生学会総会，大阪．2000．55(1)：388
- 三浦宜彦，渡辺由美，藤田利治，箕輪眞澄．肝がん死亡の地理的分布の年次推移．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；539
- 関根道和，山上孝司，沼田直子，陳曉莉，濱西島子，飯田恭子，齋藤友博，南里清一郎，川南勝彦，箕輪眞澄，杉森裕樹，吉田勝美，吉村健清，徳井教孝，鏡森定信．3歳時の生活習慣と小学4年時の肥満化—富山スタディ6年間の追跡による縦断評価—．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；548
- 島野由紀子，長尾市子，河島夏美，佐藤晴子，箕輪眞澄．地域ネットワークを活用した高齢者への健康教育の実施とその評価．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；249
- 尾崎米厚，谷畑健生，箕輪眞澄，曾根智史．青少年の読む雑誌上のたばこ広告の年次推移に関する研究．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；279
- 里見宏，箕輪眞澄．カドミウムの環境負荷に関する調査．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；832
- 邱冬梅，川南勝彦，箕輪眞澄，梅家模，谷畑健生，稲葉裕．中国江西省における循環器疾患死亡とその関連要因．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；850
- 木原雅子，木原正博，内野英幸，山本太郎，箕輪眞澄，尾崎米厚，片峰茂．日本人のHIV/STD関連知識，性行動，性意識に関する全国調査—Part 1：日本人全体から見た若者の性行動の特徴について．第14回日本エイズ学会学術集会，京都．2000．2；380
- 木原正博，木原雅子，内野英幸，山本太郎，箕輪眞澄，尾崎米厚．日本人のHIV/STD関連知識，性行動，性意識に関する全国調査—Part 2：日本人の売春行動について．第14回日本エイズ学会学術集会，京都．2000．2；380
- 山本太郎，木原正博，木原雅子，内野英幸，箕輪眞澄，尾崎米厚．日本人のHIV/STD関連知識，性行動，性意識に関する全国調査—Part 3：日本人の経口避妊薬（ピル）に関する知識・意識について．第14回日本エイズ学会学術集会，京都．2000．2；380
- 大井田隆，丸山美知子，石井敏弘，曾根智史，箕輪眞澄．中高等学校の保健体育教師における喫煙率と喫煙防止教育．第47回日本学校保健学会，福岡．2000．42：192-193
- 丹後俊郎．対応のある比率の差に関する推測．日本計量生物学会・応用統計学会2000年度合同年次大会，2000．5；127-130
- 丹後俊郎．ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン類等の環境汚染に起因する健康影響の評価方法．第68回日本統計学会，札幌．2000．7；259-260
- 西川正子，丹後俊郎．区間打ち切りデータに対するKaplan-Meier推定量に関する検討．第68回日本統計学会，札幌．2000．7；437-438
- 藤田利治．死因別乳児死亡率の出生体重による違い．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000；539
- 藤田利治．薬剤疫学の役割とその実例．第44回日本薬学会関東支部大会，船橋．2000；22
- 眞崎直子，掛川秋美，下野正健，椎木千賀雄，橋本修二，藤田利治．地域における精神障害者数とニーズの推計に関する研究．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000；690
- 成田友代，本間紀子，藤田利治，松本まり，永田容子，森亨．結核患者の発見の遅れとその関連要因．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000；721
- 青山旬，長田斉，尾崎哲則，福田雅臣，高久悟，岡田真人，安井利一，丹波源男，宮武光吉．都道府県における3歳児齲蝕の動向と市町村幼児歯科予防処置との関連．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000；411
- 宇津木恵，青山旬，福島富士子．妊婦の能動・受動喫煙の状況．第41回日本母性衛生学会学術集会，岐阜．2000；269
- 福田雅臣，一宮頼子，青山旬，丹羽源男．成人女子の健康習慣と唾液中シュークラーゼ活性との関連性．第49回日本口腔衛生学会総会，札幌．2000；712-713
- 森下さやか，坂田裕美，金子さゆみ，高橋良実，高橋可織，山科美絵，相田規子，朴今万，市川勇，青山旬，山田和子，杉山英男，寺田宙．鎌倉市の環境保全に関わる行政とNPOの実態調査とその連携．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000；834
- 土井由利子，箕輪眞澄，内山真，大川匡子．ピッツバーグ睡眠質問票を用いた主観的睡眠の質に関する記述疫学．第25回日本睡眠学会学術集会，横浜．2000．6；10
- 川南勝彦，箕輪眞澄，新城正紀，他．難病患者の地域ベース・コーホート研究第一報．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；432
- 山本慶子，川南勝彦，箕輪眞澄，他．難病患者の地域ベース・コーホート研究第二報．（その一）．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；432
- 山室照子，川南勝彦，箕輪眞澄，他．難病患者の地域ベース・コーホート研究第二報（その二）．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；433
- 北村暁子，川南勝彦，箕輪眞澄，他．難病患者の地域ベース・コーホート研究第三報．第59回日本公衆衛生学会総会，前橋．2000．10；433
- 新城正紀，川南勝彦，箕輪眞澄，他．難病患者の地域ベ

ース・コーホート研究第四報 難病患者の公的サービス利用状況. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 434

谷畑健生, 箕輪眞澄, 松本美富士, 倉恒弘彦, 木谷照夫. 地域における慢性疲労症候群様疲労の有症率およびリスクファクター. 第5回慢性疲労症候群研究会, 大阪. 2000 ; 29

谷畑健生, 竹内祐子, 青山旬, 尾崎米厚, 川南勝彦, 箕輪眞澄, 畑栄一. 低用量経口避妊薬解禁直後における看護学生の経口避妊薬への考え方とHIV・性感染症予防行動を明らかにする. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 756

河野志津子, 大塚佳子, 榊原るり子, 橘いづみ, 川田葉子, 小澤宏美, 渡辺志保, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくり活動が進められたか—活動資料からの情報収集・分析—(第1報). 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 250

渡辺志保, 大塚佳子, 榊原るり子, 橘いづみ, 河野志津子, 川田葉子, 小澤宏美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくり活動が進められたか—面接聞き取り調査による検討—(第2報). 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 250

橘いづみ, 大塚佳子, 川田葉子, 河野志津子, 小澤宏美, 榊原るり子, 渡辺志保, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくり活動が進められたか—総合的分析—(第3報). 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 251

新郷歩, 畑栄一, 谷畑健生. コミュニティ・ヘルス・ワーカー(CHW)制度のあり方の検討. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 844

学術報告書等

箕輪眞澄. 生活者の睡眠状況に関する研究. (主任研究者: 早石修). 科学技術振興調整費 日常生活における快適な睡眠の確保に関する総合研究(第I期 平成8年-10年度)成果報告書, 科学技術庁, 2000 ; 421-435

箕輪眞澄, 谷畑健生, 他. 地域における疲労の実態とリスクファクター. (主任研究者: 木谷照夫). 厚生省特別研究事業 疲労の実態調査と健康づくりのための疲労回復手法に関する研究平成11年度研究業績報告書, 2000 ; 19-44

箕輪眞澄, 他. 日本公衆衛生学会感染症対策委員会報告(主任研究者: 角田文男). 日本公衆衛生雑誌, 2000 ; 47 : 456-468

箕輪眞澄, 他. 日本人のHIV/AIDS関連知識, 性行動, 性意識についての全国調査(HIV&SEX in JAPAN Survey)(主任研究者: 木原正博). 平成11年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症の疫学研究」研究報告書, 2000 ; 47-49

箕輪眞澄, 里見宏. カドミウムの環境負荷に関する調査研究 ; カドミウムの生産および流通について. 環境保健レ

ポート, 2000 ; (67) : 175-181

箕輪眞澄, 中島正成, 里見宏. カドミウムに関するデータベース作成の試み. 環境保健レポート, 2000 ; (67) : 176-185

箕輪眞澄, 谷畑健生, 他. 地域における疲労の実態とリスクファクター —愛知県豊川保健所管内の2市4町実態調査—. 厚生科学特別研究事業 疲労の実態調査と健康づくりのための疲労回復手法に関する研究(主任研究者木谷照夫). 平成11年度研究業績報告書, 2000 ; 19-44

箕輪眞澄, 谷畑健生, 他. 日本における性感染症流行の実態調査—1999年度のSTD・センチネル・サーベイランス報告—. 競輪補助事業 財団法人性の健康医学財団「性感染症/HIV感染のわが国における流行の現状とその医療指針」報告書, 2000 ; 72-103

山上孝司, 沼田直子, 飯田恭子, 箕輪眞澄, 齋藤友博. 3歳児の生活習慣の9歳児における継続性(主任研究者: 鏡森定信). 平成11年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, 2000 ; 269-274

丹後俊郎. 人口動態統計指標のベイズ推定と地域集積性の評価に関する研究. (主任研究者: 丹後俊郎). 平成11年度厚生科学研究費補助金統計情報高度利用総合研究事業報告書, 2000 ; 1-30

丹後俊郎, 藤田利治, 上畑鉄之丞. 焼却施設の選定と健康影響の方法論に関する研究. (主任研究者: 上畑鉄之丞). 平成11年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業報告書ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響に関する疫学研究, 2000 ; 9-22

藤田利治. 大規模医療データの効率的な統計解析に関する研究. (主任研究者: 花井荘太郎). 平成10年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集, 2000 ; 224

藤田利治. 乳児死亡率の経時的推移について. (主任研究者: 澤口彰子). 平成11年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告(第4/6), 2000 ; 477-483

青山旬, 他. 心身障害児者歯科保健の保健所取り組み事例について. (主任研究者: 宮武光吉). 厚生省健康科学総合研究平成11年度報告書市町村における歯科保健推進に関する総合的研究, 2000 ; 18-19

土井由利子. 睡眠障害の診断評価尺度の開発研究. (研究代表者: 内山真). 平成11年度睡眠障害の診断・ガイドライン研究, 2000

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 難病患者の地域ベース・コーホート研究. 厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班(主任研究者: 稲葉裕). 平成11年度研究業績集, 2000 ; 109-119

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 行政資料による難病の頻度調査 今後の計画と解析予定. 厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班(主任研究者: 稲葉裕). 平成11年度研究業績集, 2000 ; 120-123

Original

Ohida T, Osaki Y, Kobayashi Y, Sekiyama M, Kawaguchi T, Ishii T, Minowa M. **Smoking behaviors and attitudes among school teachers in Mie, Japan.** *J. Epidemiol.* 2000 ; **10** : 16-21

Kawahara K, Ohida T, Osaki Y, Mochizuki Y, Minowa M, Yamaguchi N, Kusaka Y. **Study of the smoking behavior of medical doctors in Fukui, Japan and their antismoking measures.** *J. Epidemiol.* 2000 ; **10** : 157-162

Suzuki K, Minowa M, Osaki Y. **Japanese national survey of adolescent drinking behavior in 1996.** *Alcoholism : Clinical and Experimental Research.* 2000 ; **24** : 377-381

Ohida T, Sone T, Mochizuki Y, Kawaguchi T, Kido M, Harita A, Kawahara K, Minowa M. **Household size related to prevalence of smoking in women in Japan.** *J. Epidemiol.* 2000 ; **10** : 305-309

Ohida T, Kawahara K, Osaki Y, Sone T, Kamal A, Kawaguchi T, Sekiyama M, Harita A, Minowa M. **Behaviors and attitudes towards smoking among the nurses in Japan.** *J. Epidemiol.* 2000 ; **10** : 344-348

Tango, T. **Confidence intervals for differences in correlated binary proportions.** *Statistics in Medicine.* 2000 ; **19** : 133-139

Tango, T. **A test for spatial disease clustering adjusted for multiple testing.** *Statistics in Medicine.* 2000 ; **19** : 191-204

Wang D, Kato N, Inaba Y, Tango T, Yoshida Y, Kusaka Y, Deguchi Y, Tomita F, Zhang Q. **Physical and personality traits of preschool children in Fuzhou, China : only child vs sibling.** *Child ; Care, Health and Development.* 2000 ; **26** : 49-60

Hashimoto H, Tanaka M, Oyake T, Gomi T, Ikeda T, Yoshida M, Fujimoto T, Umezu M, Nagashima K, Fujita T, Fujii M, Matsumoto Y, Fukuoka M, Matsumoto M, Ishi M. **Study on the discrepancy in responses given by patients to questions regarding subjective symptoms.** *病院薬学.* 2000 ; **26** : 52-60

Sawaguchi T, Fujita T, Sawaguchi A, Nishida H. **The epidemiological study on registered cases of sudden infant death syndrome (SIDS) in Tokyo : Examination of the effect of autopsy on diagnosis of SIDS and the mortality statistics in Japan.** *Forensic Science International.* 2000 ; **109** : 65-74

Doi Y, Minowa M, Okawa M, Uchiyama M. **Prevalence of sleep disturbance and hypnotic medication use in relation to socioeconomic factors in the general Japanese adult population.** *J. Epidemiol.* 2000 ; **10** : 79-86

Liu X, Uchiyama M, Kim K, Okawa M, Shibui K, Kudo Y, Doi Y, Minowa M, Ogihara R. **Sleep loss and daytime sleepiness in the general adult population of Japan.** *Psychiatry Research.* 2000 ; **93** : 1-11

Doi Y, Minowa M, Uchiyama M, Okawa M, Kim K, Shibui K, Kamei Y. **Psychometric assessment of subjective sleepquality using the Japanese version of Pittsburgh Sleep Quality Index(PSQI) in psychiatric disordered and control subjects.** *Psychiatry Research.* 2000 ; **97** : 165-172

Books

Doi Y, Morita H, Noda J, Tango T, Roberts RE, Takeuchi K. **Reliability and validity of the DSD for adolescent depression :** *in* "Sleep loss and daytime sleepiness in the general adult population of Japan." (ed. Singh NN, Leung JP and Singh AN.). International perspectives on child and adolescent mental health. Elsevier Science. Amsterdam : 2000 ; 265-278

Osaki Y, Ohida T, Minowa M. **Smoking behaviour of a school teachers in Mie Prefecture, Japan :** *in* "Tobacco: The growing epidemic, Proceedings of the Tenth World Conference on Tobacco or Health." (ed. Lu, R, Mackay J, Niu S, Peto R.). Springer, 2000 ; 284-285

Fukushima F, Miyasato K, Osaki Y, Minowa M. **Smoking behaviour among midwives in some hospitals in Japan :** *in* "Tobacco: The growing epidemic, Proceedings of the Tenth World Conference on Tobacco or Health." (ed. Lu R, Mackay J, Niu S, Peto R.) Springer, 2000 ; 909-911

Proceedings with abstracts

Uchino H, Ono-Kihara M, Ishizuka T, Minowa M, Shimazaki T, Sugimori S, Tsuchida S, Yamamoto T, Kihara M. **HIV & SEX in Japan Survey-Part 1 : Current condom use during vaginal intercourse and its implication for HIV prevention in Japan.** XIII International AIDS Conference. South Africa. 2000 ; 519

Ono-Kihara M, Uchino H, Ishizuka T, Minowa M, Nakaune N, Shimazaki Y, Sugimori S, Tsuchida S, Yamamoto T, Kihara K. **HIV & SEX in Japan Survey-Part 2: Knowledge and attitudes toward contraceptive pill use in Japan.** XIII International AIDS Conference. South Africa. 2000 ; 524

Kihara M, Ono-Kihara M, Uchino H, Ishizuka T, Minowa M, Nakaune N, Osaki Y, Shimazaki T, Sugimori S, Tsuchida S, Yamamoto T. **HIV & SEX in Japan Survey-Part 3: Paid sex in Japan.** XIII International AIDS Conference, South Africa. 2000 ; 520

Aoyama H. **The future direction of oral health in Japan.** Symposium 2 Health Promotion and Community Dentistry, 22nd Asian Pacific Dental Congress. Tokyo. 2000 (Symposium)

Tango T. **Extended score tests for focused**

clustering. The XXth International Biometric Conference, July 1-7, University of California at Berkeley. Jul. 2000 ; 93

公衆衛生行政学部 Department of Public Health Administration

原著

大井田隆, 石井敏弘, 尾崎米厚, 武村真治, 曾根智史, 小椋正之, 城戸尚治, 正林督章, 川口毅, 箕輪眞澄. 看護学生の喫煙行動及び関連要因に関するコホート研究. 日公衛誌. 2000 ; 47 : 562-570

大井田隆, 河原和夫, 尾崎米厚, 曾根智史, 石井敏弘, 藤森徹也, 正林督章, 川口毅, 箕輪眞澄. 福井県における医師の喫煙行動. 日衛誌. 2000 ; 55 : 559-565

大井田隆, 尾崎米厚, 望月友美子, 石井敏弘, 西口裕, 北村純, 玉貫良二, 針田哲, 川口毅, 箕輪眞澄. 一般住民における喫煙者の健康意識と喫煙行動因子. 厚生指標. 2000 ; 47 : 9-13

大井田隆, 曾根智史, 望月友美子, 正林督章, 木戸尚治, 丸山美知子. 薬学系および看護系女子大生における喫煙行動と喫煙に対する態度の比較. 厚生指標. 2000 ; 47 : 18-21

大井田隆, 石井敏弘, 土井由利子, 内山真. 看護婦の夜間勤務と睡眠問題に関する研究. 日本医事新報. 2000 ; 3983 : 25-31

大井田隆, 武村真治, 丸山美知子, 山田和子. 市町村から見た地域保健施設施行後の保健所像. 保健婦雑誌. 2000 ; 56 : 764-769

谷本佐理名, 太田久彦, 大井田隆, 高柳和江, 木村哲彦. カルテ開示の影響についての医師の意識調査. 日公衛誌. 2000 ; 47 : 367-374

谷本佐理名, 太田久彦, 大井田隆, 高柳和江, 木村哲彦, 長谷川敏彦. カルテの開示に関する意識調査, 一般病院勤務医に対するアンケート調査. 厚生指標. 2000 ; 47 : 22-27

伏見清秀, 針田哲, 大井田隆. 高額入院医療を提供する医療機関の特性とその経時変化. 病院管理. 2000 ; 37 : 47-54

櫻井秀也, 大井田隆. 日本医師会員の喫煙行動と喫煙に対する態度. 日本医師会雑誌. 2000 ; 124 : 725-736

長谷川まゆみ, 野尻幹子, 花園久代, 佐竹了, 佐竹直子, 大井田隆. 某保健所管内の学童・生徒の生活様式と健康に関する調査. 日公衛誌. 2000 ; 47 : 610-616

岩永俊博. 地域における公衆衛生活動拠点の機能に関する提言. 日公衛誌. 2000 ; 47(3) : 197-203

岩永俊博, 兵井伸行, 曾田研二, 三橋かほり, 山田隆司. 国際保健にみるプライマリ・ヘルスケアの実践 プライマリ・ヘルスケアの進め方 中国安徽省での活動から. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(9) : 801-806.

寺田勇人, 曾根智史. 都市部における地域産業保健センター事業の効果的運用. 産業衛生学雑誌. 2000 ; 42(2) : 49-

60

曾根智史, 中原俊隆. プリシード・プロシードモデルの国際保健協力への適用. *Quality Nursing*. 2000 ; 6(12) : 1057-1064

筒井孝子, 中嶋和夫. 「要介護認定」における認定アセスメント項目の妥当性に関する研究—要援護高齢者問題行動指標の交差妥当化. 厚生指標. 2000 ; 47(4) : 3-7

筒井孝子. 急性期病棟の看護業務の実態と患者の病態との関係 (第1報) —患者への看護業務の「発生率」および「平均提供時間」による検討—. 病院管理. 2000 ; 37(2) : 15-24

筒井孝子. 急性期病棟における業務量調査データを用いた看護時間推定モデルの開発—「看護必要度」予測システムへの応用—. 看護. 2000 ; 52(3) : 25-29

宮野尚哉, 筒井孝子, 関庸一, 谷口仁志. 適応型局所非線型近似手法の要介護認定への応用. 電子情報通信学会技術研究報告. 2000 ; 19-26

関庸一, 筒井孝子, 宮野尚哉. 要介護認定一次判定ロジックの基礎となった統計モデルの妥当性. 日本応用統計学会誌. 2000 ; 129 : 101-110

武村真治, 大井田隆, 曾根智史, 石井敏弘, 福田敬, 中原俊隆, 近藤健文. がん検診の費用関数の推定. 日本公衆衛生雑誌. 2000 ; 47(12) : 1004-1012

縦野香苗, 長谷川万希子, 橋本勉生, 武村真治, 郡司篤見. 長期入院高齢者の家族の在宅ケア意向に影響する要因. 病院管理. 2000 ; 37(2) : 105-113

総説

大井田隆. 専門性と公衆衛生. 公衆衛生. 2000 ; 64 : 217-218

里村一成, 曾根智史, 中原俊隆. 日本における喫煙の現状. 治療. 2000 ; 83(2) : 207-213

曾根智史, 里村一成, 中原俊隆. 喫煙問題の社会的側面. 治療. 2000 ; 83(2) : 215-220

曾根智史, 中原俊隆. ヘルスプロモーションの評価. 公衆衛生. 2000 ; 64(2) : 131-134

曾根智史, 大井田隆. 発展途上国における公衆衛生従事者の教育研修の取り組み. 公衆衛生研究. 2000 ; 49(1) : 9-13

曾根智史, 石井敏弘. たばこ税増税による価格引き上げのたばこ消費に対する影響. 医学のあゆみ. 2000 ; 193(9) : 746-747.

曾根智史. ヘルスプロモーション, エンパワメント, ヘルシーシティ, アドボカシー. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(12) : 1034-1043

石井敏弘. 今を読み解くキーワード集/健康教育. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(12) : 1023-1032

筒井孝子. 要介護認定ケアの「基準」設定と「標準化」. 看護 2000 ; 52(1) : 36-39

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (1) 一介護保険制度における保健婦の役割一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(1) : 58-63

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (2) 一要介護認定における一次判定システム(コンピュータシステム)とは一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(2) : 156-161

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (3) 一一次判定システムにおける「5本の介護の樹」とは何か一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(3) : 237-241

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (4) 一要介護認定システム開発のプロセス一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(4) : 332-338

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (5) 一在宅と施設における問題行動を持った高齢者の介護の現状一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(5) : 423-427

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (6) 一介護サービス企画作成に一次判定資料を利用する方法一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(6) : 504-506

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (7) 一ドイツにおける要介護認定一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(7) : 590-593

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (8) 一認定支援ネットワークの構築一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(8) : 692-695

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (9) 一要介護認定の現状と今後一. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(9) : 778-781

筒井孝子. 要介護認定の仕組みとその考え方 (10) 一新たな要介護認定システム開発の課題. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(10) : 872-876

筒井孝子. NT版看護をめぐるデータ白書 看護業務. ナーシング・トゥデイ. 2000 ; 7 : 28-29

筒井孝子. 介護サービス市場下におけるサービスの評価とは. 日本赤十字社社内報「赤十字の動き」. 2000 ; 298 : 2-3

武村真治. イギリスにおける Casemix の分類手法としての HRGs (Healthcare Resource Groups). Monthly IHEP. 2000 ; 77 : 19-22

著書

野崎貞彦, 大井田隆. 衛生法規. 第一出版. 東京. 2000. 1-327

抄録のある学会報告

大井田隆, 野村隆司. 看護婦の夜間勤務と睡眠問題に関する研究. 第10回体力・栄養・免疫学会, 弘前. 2000. 9 ; 195-196

大井田隆, 武村真治, 丸山美知子, 山田和子. 将来の保健所の動向. 第2回日本健康福祉政策学会, 旭川. 2000. 9 ;

15

長谷川さかえ, 長谷川まゆみ, 佐竹直子, 大井田隆. 中学生生徒会による喫煙状況調査. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 201

大井田隆, 武村真治, 丸山美知子, 山田和子. 市町村から見た地域保健法施行後の保健所像. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 305

長谷川まゆみ, 野尻幹子, 花園久代, 佐竹了, 佐竹直子, 大井田隆. 生徒・児童の生活要旨と肥満傾向についての対策. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 578

大井田隆, 石井敏弘. 看護婦の睡眠問題に関する研究. 第38回日本病院管理学会, 広島. 2000. 11 ; 162

岡田美保子, 橋本英昭, 土光智子, 谷口和夫, 大井田隆. 保健医療分野における統計情報共通化のためのデータ要素定義. 第38回日本病院管理学会, 広島. 2000. 11 ; 181

大井田隆, 丸山美知子, 石井敏弘, 曾根智史, 箕輪眞澄. 中高等学校の保健体育教師における喫煙率と喫煙防止教育. 第47回日本学校保健学会, 福岡. 2000. 11 ; 218-219

河津志津子, 大塚佳子, 榊原るり子, 橘いづみ, 川田葉子, 小澤宏美, 渡辺志保, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくり活動が進められたか (第1報) 一活動資料からの情報収集・分析一. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 250

渡辺志保, 大塚佳子, 榊原るり子, 橘いづみ, 河津志津子, 川田葉子, 小澤宏美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくり活動が進められたか (第2報) 一面接聞き取り調査による検討一. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 250

橘いづみ, 大塚佳子, 川田葉子, 河津志津子, 小澤宏美, 榊原るり子, 渡辺志保, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 谷畑健生. いかにして住民主体の健康な地域づくり活動が進められたか (第3報) 一統合的分析一. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 251

相馬幸恵, 岩永俊博. セルフヘルプグループ発展過程の評価のための視点の検討. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 251

吉村弘美, 内田裕子, 坂田栄子, 相原康子, 池田佐知子, 大坪玲子, 寺島克敏, 岩永俊博. 市町村の保健活動に対する保健所からの支援. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 319

橋本栄里子, 成木弘子, 前田秀雄, 田中良明, 柴原宣幸, 深谷千穂里, 岩永俊博. 玉川保健福祉センターにおけるソーシャル・マーケティング活動報告 (1) ~保健婦による実践活動報告~. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 341

田中良明, 成木弘子, 前田秀雄, 橋本栄里子, 柴原宣幸, 深谷千穂里, 岩永俊博. 玉川保健福祉センターにおけるソーシャル・マーケティング活動報告 (2) ~ニーズ把握のための質的調査報告~. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 342

岩永俊博, 鳩野洋子, 尾崎米厚, 中俣和幸, 橋本栄里子,

山根洋右. **地域保健現場でのモデル適応の課題**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 385

曾根智史, 岩永俊博, 鳩野洋子, 山田和子. **自治体の公衆衛生従事者研修で用いられる研修技法に関する研究**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 303

糸数公, 曾根智史, 武村真治, 大井田隆. **保健所における健康危機管理体制のあり方に関する研究**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 317

河西あかね, 曾根智史. **地域福祉サービス提供者に対する保健所の研修の役割と活用のための条件**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 308

野網恵, 中原俊隆, 里村一成, 宮城島一明, 野網祥代, 曾根智史, 武村真治, 櫻美武彦. **市区町村における喫煙対策の実態調査**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 195

尾崎米厚, 谷畑健生, 箕輪眞澄, 曾根智史. **青少年の読む雑誌上のたばこ広告の年次推移に関する研究**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 297

寺田勇人, 高橋恭子, 曾根智史. **新宿地域産業保健センターによる印刷・製本業への訪問活動**. 第33回中小企業衛生問題研究会, 水戸. 2000 ; 42 : 104

金子光延, 中野令恵, 植野悦司, 渡辺淳, 飛騨麻里子, 島村泰史, 曾根智史. **小児RSウイルス感染症の疫学的検討第2報**. 第74回日本感染症学会, 福岡. 2000 ; 74 : 75

寺田勇人, 高橋恭子, 曾根智史. **新宿地域産業保健センターによる印刷・製本業への訪問活動**. 第73回日本産業衛生学会, 北九州. 2000 ; 42 : 554

石井敏弘, 大井田隆, 曾根智史, 武村真治, 林謙治. **軽症の救急車利用を促す要因**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 371

石井敏弘. **健康教育における政策的妥当性と科学的根拠**. 第9回日本健康教育学会, 千葉. 2000. 6 ; 8(Suppl) ; 51 (ワークショップ)

関庸一, 筒井孝子, 宮野尚哉. **要介護認定一次判定ロジックの基礎となった統計モデルの妥当性**. 日本計量生物学会・応用統計学会. 2000年度合同年次大会, 2000 ; 31-138

宮野尚哉, 筒井孝子, 関庸一, 谷口仁志. **適応型局所非線形近似手法の要介護認定への応用**. 電子情報通信学会・2000年電子情報通信学会総合大会, 2000 ; 427-428

筒井孝子, 東野定律, 中嶋和夫. **介護保険下における介護サービスの質の評価に関する方法論の研究—要介護高齢者の典型例を簡便に抽出する「簡易介護状態測定尺度」の開発—**. 日本地域福祉学会第14回大会, 岩手. 2000. 6 ; 302-303

筒井孝子, 東野定律. **急性期病棟における「患者タイプ」からみた高齢患者の特徴**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 374

東野定律, 筒井孝子. **一般急性期病棟における患者特性別看護業務量標準化に関する研究—急性期病棟における入院患者の特性の検討— (1)**. 第38回日本病院管理学会学術総会, 広島. 2000. 11 ; 159

筒井孝子, 東野定律. **一般急性期病棟における患者特性別看護業務量標準化に関する研究—急性期病棟における入院患者の特性の検討— (2)**. 第38回日本病院管理学会学術総会, 広島. 2000. 11 ; 160

関庸一, 筒井孝子. **高齢者介護負担感の樹形モデルによる解析**. 日本経営工学会平成12年度秋季研究大会, 2000 ; 101-102

武村真治, 大井田隆, 曾根智史. **全国の保健所における地域保健法施行後の機能強化の実態と評価**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 307

白鞘康嗣, 島田直樹, 近藤健文, 里村一成, 中原俊隆, 潮見重毅, 武村真治. **市区町村の保健福祉サービスの現状および介護保険導入への対応**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 301

宇津木恵, 高橋みね, 河西あかね, 井村弘美, 加藤和美, 吉實みちる, 竹内祐子, 曾根智史, 守田孝恵, 武村真治. **地域保健事業における戦略的広報活動に関する研究 (第1報) ~チラシを活用した広報活動の実践の評価~**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 353

井村弘美, 河西あかね, 高橋みね, 加藤和美, 吉實みちる, 宇津木恵, 竹内祐子, 曾根智史, 守田孝恵, 武村真治. **地域保健事業における戦略的広報活動に関する研究 (第2報) ~作成したチラシの評価~**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 354

石井浩子, 熊沢春美, 峰村純子, 上田隆, 三好和彦, 武村真治. **3歳児アレルギー疾患実態調査**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000. 10 ; 554

武村真治, 大井田隆, 曾根智史, 福田敬, 中原俊隆. **がん検診の費用関数の推定**. 第38回日本病院管理学会, 広島. 2000. 11 ; 84

福田敬, 武村真治. **外来患者の自己負担増が医療費に及ぼす影響の検討**. 第38回日本病院管理学会, 広島. 2000. 11 ; 34

学術報告書等

大井田隆, 曾根智史, 武村真治, 他. **地域保健法施行後の保健所機能の強化・推進の評価に関する研究**. 平成11年度報告書 (主任研究者: 大井田隆). 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 2000

大井田隆, 曾根智史, 武村真治, 他. **地域保健法施行後の保健所機能の強化・推進の評価に関する研究**, 総合研究報告書 (主任研究者: 大井田隆). 平成10・11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 2000

曾根智史, 他. **開発途上国における公衆衛生従事者の教育研修システムの現状把握に関する研究**, フィリピン共和国における現状と課題. (主任研究者: 上畑鉄之丞). 開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究, 平成11年度報告書, 2000 ; 110-118

曾根智史. **都道府県レベルで活用できる効果的な研修技法の開発に関する研究**, 平成11年度報告書 (主任研究者: 曾根智史). 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総

合研究事業, 2000.

曾根智史, 武村真治, 他. ソーシャルマーケティング理論を応用した、生活者・消費者主体の地域保健事業のあり方に関する研究, 平成11年度報告書 (主任研究者: 中原俊隆). 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 2000

筒井孝子. 一般急性期病床内における疾患別入院期間別にみた看護行為別看護業務量標準化に関する研究, 平成11年度厚生科学特別事業研究報告書, 2000

筒井孝子, 他. 介護保険制度下における介護サービスの質の評価に関する研究, 平成11年度厚生科学長寿科学総合研究報告書, 2000.

筒井孝子, 他. 看護必要度に関する基礎調査研究, 社団法人病院管理研究協会, 2000

武村真治, 大井田隆, 曾根智史, 他. 地域保健サービスの生産関数・費用関数の推定とサービス供給の効率性に関する研究, 平成11年度報告書 (主任研究者: 武村真治).

平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 2000

武村真治, 他. 介護保険導入による市区町村の保健福祉サービスの変容に関する研究, 平成11年度報告書 (主任研究者: 近藤健文). 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 2000

武村真治, 他. 高齢期等居住移動者の保健ニーズと地域保健医療福祉の供給に関する研究, 平成11年度報告書 (主任研究者: 豊川裕之). 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 2000

武村真治, 他. アレルギー疾患に関する全都調査報告書—3歳児・大気汚染認定患者の実態調査—. 東京都衛生局, 2000

武村真治, 他. 欧州主要各国のDRG導入実態に関する調査研究Ⅱ報告書 (主任研究者: 松田晋哉). 財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会, 2000

Originals

Ohida T, Osaki Y, Minowa M, Kawaguchi T. **Smoking habits and attitudes among school teachers in Japan.** *J Epidemiol.* 2000 ; **10** : 16-21

Ohida T, Sone T, Mochizuki Y, Kawaguchi T, Kido M, Harita A, Kawahara K, Minowa M. **Household size related to prevalence of smoking in women in Japan.** *J Epidemiol.* 2000 ; **10** : 305-309

Ohida T, Kawahara K, Osaki Y, Sone T, Kamal AMM, Kawaguchi T, Sekiyama M, Harita A, Minowa M. **Behaviors and attitudes towards smoking among the nurses in Japan.** *J Epidemiol.* 2000 ; **10** : 344-348

Kawahara K, Ohida T, Oaski Y, Mochizuki Y, Minowa M, Yamaguchi N, Kusaka Y. **Study of smoking behavior of medical doctors and their antismoking measures in Fukui, Japan.** *J Epidemiol.* 2000 ; **10** : 157-162

Ota T, Tanimoto S, Takayanagi K, Kimura T, Ohida T. **A preliminary study on the knowledge and attitudes of physicians at two university hospitals towards the medical insurance system of Japan.** *Tohoku J Exp Med.* 2000 ; **190** : 143-155

Sone T. **Exposure of Japanese school children to smoking-related environmental factors.** *J Epidemiol.* 2000 ; **10**(3) : 183-187

Yamaguchi N, Mochizuki-Kobayashi Y, Utsunomiya O. **Quantitative relationship between cumulative cigarette consumption and lung cancer mortality in Japan.** *Int J Epidemiology.* 2000 Dec. ; **29**(6) : 963-8

Proceedings with abstracts

Ohida T, Sone T, Uchiyama M, Ishii T. **Shift-work and sleep disorders among young female nurses in Japan.** 128th American Public Health Association Annual

Meeting. Boston. Nov. 2000 ; 235

Ohida T, Takemura S, Sone T. **Household size related to smoking prevalence in women in Japan.** 11th World Conference on Tobacco or Health, Chicago. Aug. 2000 ; 374

Sone T, Ishii T, Ohida T. **Smoking and other health related behaviors.** 11th World Conference on Tobacco or Health. Chicago. Aug. 2000 ; 373

Sone T, Ishii T, Takemura S, Ohida T. **Evaluation of debate class in a leadership course for public health center officials in Japan, 1997-1999.** 32nd Asia Pacific Academic Consortium for Public Health. Hong Kong. Mar. 2000

Sone T, Nakahara T, Satomura K. **Evaluation of an under-5 clinic program in the Philippines.** 7th Canadian Conference on International Health. Ottawa. 2000 ; 22

Ishii T, Sone T, Takemura S, Ohida T, Tanihata T. **Smoking behaviors among Japanese nursing students in a cohort study.** 11th World Conference on Tobacco or Health, Chicago. Aug. 2000 ; 374

Ishii T, Ohida T. **Smoking and other health-related behaviors: the national health and welfare survey in Japan, 1996.** 11th World Conference on Tobacco or Health, Chicago. Aug. 2000 ; 373

Tsutsui T, Koyama H, Tataru T. **The background of the implementation of the new public long-term care insurance system and the system's effects on Japan's existing long-term care system.** 53rd Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America. Washington, DC. Nov. 2000 ; 374

Tsutsui T, Seki Y, Koyama H, Tataru T. **The method of measuring the nursing care needs of the elderly**

with the application of a mathematical model in Japan's new public long-term care insurance system. 53rd Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America. Washington,DC. Nov. 2000 ; 374
Tsutsui T. **Understanding Japan's new public long-term care insurance system, measuring the nursing**

care needs of elderly people-the structure and function of the nursing care needs certification program. 53rd Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America. Washington,DC. Nov. 2000 ; 383 (Symposium)

公衆衛生看護学部 Department of Public Health Nursing

原 著

平野かよ子, 田中久恵. 保健婦指導の評価. 保健の科学. 2000 ; **42**(4) : 270-282
平野かよ子. 今後の保健婦活動とその教育 (1). 公衆衛生. 2000 ; **64**(11) : 801-804
平野かよ子. 今後の保健婦活動とその教育 (2). 公衆衛生. 2000 ; **64**(12) : 875-878
山田和子. マタニティ・ブルーと生後4~5ヵ月の育児状況との関連—地域をベースにした調査より—. 母性衛生. 2000 ; **41**(1) : 38-44
大井田隆, 武村真治, 丸山美知子, 山田和子. 市町村から見た地域保健法施行後の保健所像. 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(9) : 764-768
坪川トモ子, 鳩野洋子. 地域における住民組織の主体性に関するアセスメント指標の検討. 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(4) : 316-322
福島富士子, 北川定謙, 高野陽, 他. 市町村母子保健計画の数量的分析. 日本公衆衛生誌. 2000 ; **47**(2) : 162-170
森下典子, 福島富士子, 山田重行. 虐待的な育児の世代連鎖とアダルト・チルドレン. 母性衛生. 2000 ; **41**(1) : 69-75
岡永真由美, 牛山明, 福島富士子, 他. 乳幼児の事故予防に関する調査. 厚生指針. 2000 ; **47**(10) : 18-23

総 説

平野かよ子. 視点：21世紀に向けての地域保健. 公衆衛生. 2000 ; **64**(5) : 306-307
平野かよ子. 生活習慣病に関する世論調査から—これからの保健事業に期待すること—. 健康チャンネル. 日本家族計画協会. 2000 : 3-4
平野かよ子. 今を読み解くキーワード集：地方分析, **EBM**あるいは**EBPH**. 保健婦雑誌. 2000 ; 1046-1049
平野かよ子. これからの公衆衛生看護のあり方. 公衆衛生研究. 2000 ; **49**(2) : 116-124
石井享子. 21世紀に向けての地域保健. 公衆衛生. 2000 ; **64**(12) : 850-851
山田和子. 地域保健における児童虐待に関する調査・研究の動向と課題. 公衆衛生研究. 2000 ; **49**(2) : 148-152
山田和子. 地域保健における子ども虐待への支援. ペリネイタルケア. 2000 ; **19**(11) : 18-21
山田和子. 今を読み解くキーワード集：児童虐待防止法.

保健婦雑誌. 2000 ; **56** : 1071

鳩野洋子. 今を読み解くキーワード集：活動方法論プリシードプロセスモデル, 地域づくり型保健活動. 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(12) : 1001-1005

植田悠紀子, 山田和子. 地域における保健婦の企画・調整機能. 公衆衛生研究. 2000 ; **49**(2) : 153-158

福島富士子. 子どもの性的虐待とその対策について. 公衆衛生. 2000 ; **64**(5) : 14-19

福島富士子. 今を読み解くキーワード集：リプロダクティブ・ヘルス/ライツ. 保健婦雑誌. 2000 ; **56** : 1030-1031

鳩野洋子. 高齢者の「閉じこもり」に関する研究の状況. 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(1) : 28-33

鳩野洋子. 公衆衛生院からの発信4看護職のための研修—専攻課程看護コース. 公衆衛生. 2000 ; **64**(4) : 286-287

鳩野洋子, 植田悠紀子, 丸山美知子, 石井享子, 山田和子, 福島富士子. 保健所の調整機能の評価の試み. 公衆衛生研究. 2000 ; **49**(2) : 159-163

鳩野洋子, 平野かよ子. 保健婦活動の今とこれから. 看護展望. 2000 ; **26**(2) : 128-131

鳩野洋子, 山田和子, 福島富士子. 平成11年度特別課程「公衆衛生看護活動論」コース. 公衆衛生研究. 2000 ; **49**(1) : 80

守田孝恵. 今を読み解くキーワード集：活動技術, セルフ・ヘルプ・グループ. 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(12) : 1014-1015

島田美喜. 今を読み解くキーワード集：健康日本21, 介護予防. 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(12) : 1050-1052

著 書

平野かよ子. 成人期の人々のいる家族の理解. 岩井郁子, 他. 系統看護学講座 専門3 臨床看護総論 第3版. 医学書院, 東京. 2000 ; 20-21

平野かよ子. 継続看護. 岩井郁子, 他. 系統看護学講座 専門3 臨床看護総論 第3版. 医学書院, 東京. 2000 ; 54-72

上畑鉄之丞, 島田美喜, 鳩野洋子, 平野かよ子, 他. 地域における健康日本21実践の手引き. 厚生省・健康体力づくり事業財団, 2000

平野かよ子, 松下和子, 花沢和枝, 紅林みつ子. 家庭看護学 第3版. 医歯薬出版株式会社, 東京. 2000

石井享子. 生活力量不足のある家族への看護 老人虐待が

生じている家族への看護。杉下知子編。家族看護学入門。メジカルフレンド社、2000；210-227

小山真理子，守田孝恵。看護教育のカリキュラム保健婦教育課程。医学書院，東京。2000；101-115

抄録のある学会報告

平野かよ子，守田孝恵，島田美喜，高崎郁恵，尾島俊之，小倉敬一，倉持一江，宮山徳司，池田信子，古谷章恵，北川定謙。保健婦の介護保険事業への関与と保健事業への影響。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；321

田中久恵，佐藤京子，金丸洋子，平野かよ子，鳩野洋子，山田和子，長谷部史乃。全国市町村における寝たきり予防活動の実施状況。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；630

山田和子，鳩野洋子。演習を取り入れた現任教育の試みー自治体に働く保健婦を対象に。第9回日本健康教育学会，千葉。2000.6。日本健康教育学会誌。2000；(8)特別号：224-225

山田和子，野田順子，上野昌江，他。全国の保健所保健婦による児童虐待への支援実態（第1報）ー虐待事例の分析と児童相談所との比較ー。第47回日本小児保健学会，高知。2000；500-501

山田和子，野田順子，上野昌江，他。全国の保健所保健婦による児童虐待への支援実態（第2報）ー虐待疑い事例と虐待事例の比較ー。第47回日本小児保健学会，高知。2000；502-503

山田和子，野田順子，上野昌江。子ども虐待の援助実態と保健婦の役割に関する研究ー全国保健所保健婦を対象とした調査よりー。1999年度安田生命社会事業団研究助成成果発表会，東京。2000。

山田和子，野田順子，上野昌江，他。全国保健所における児童虐待への支援実態（第1報）ー虐待把握内容と把握率ー。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；576

野田順子，山田和子，上野昌江，他。全国保健所における児童虐待への支援実態（第2報）ー都道府県と政令市保健所の特徴ー。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；576

大井田隆，武村真治，丸山美知子，山田和子。市町村から見た地域保健法施行後の保健所像。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；305

大井田隆，武村真治，丸山美知子，山田和子。将来の保健所の動向。第4回日本健康政策会，旭川。2000。

森下さやか，坂田裕美，金子さゆみ，高橋可織，山科美絵，相田規子，朴今万，市川勇，青山旬，山田和子，他。鎌倉市の環境保全に関わる行政とNPOの実態調査とその連携。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；834

奥山則子，岡屋恵久子，北角栄子，原綾子，松永敏子，山崎京子，山田和子，他。6年間の研修事業の変遷とその課題。第22回全国地域保健婦学術研究会，青森。2000；292-293

守田孝恵，山崎秀夫。保健所における精神保健福祉活動

の構造に関する検討。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；680

山村礎，松本弘子，守田孝恵。保健所精神保健活動利用状況と精神保健関連指標の関連ー地域間比較を中心にー。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；696

山田真由美，川畑美智子，濱田郁美，守田孝恵，杉山登志子，小林由佳子。ボランティアコーディネーターと保健婦からみたボランティアの役割。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；678

福島富士子，藤内修二，尾崎米厚，守田孝恵，柴田真理子，宮里和子。母子保健活動から見た都道府県型保健所の市町村支援の実態と関連要因。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；322

宇津木恵，福島富士子，青木旬。妊婦の能動・受動喫煙の状況。第41回日本母子衛生学会総会，岐阜。2000

河野志津子，大塚佳子，榊原るり子，橘いづみ，川田葉子，小澤宏美，渡辺志保，岩永俊博，畑栄一，福島富士子，谷畑健生。いかにして住民主体の健康な地域づくり活動がすすめられたか（第1報）ー活動資料からの情報収集・分析ー。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；250

渡辺志保，大塚佳子，榊原るり子，橘いづみ，河野志津子，川田葉子，小澤宏美，岩永俊博，畑栄一，福島富士子，谷畑健生。いかにして住民主体の健康な地域づくり活動がすすめられたか（第2報）ー面接聞き取り調査による検討ー。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；250

橘いづみ，大塚佳子，川田葉子，河野志津子，小澤宏美，榊原るり子，渡辺志保，岩永俊博，畑栄一，福島富士子，谷畑健生。いかにして住民主体の健康な地域づくり活動がすすめられたか（第3報）ー統合的分析ー。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；251

大塚佳子，鳩野洋子，西田茂樹。精神障害者の食生活について。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；224

藤田由美，安藤梨香，糸数公，榊田和子，保条麻紀，高橋里美，遠藤由紀子，野田順子，鳩野洋子，西田茂樹，佐々木峯子。ゴミと健康に関する健康教育媒体の作成。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；267

曾根智史，岩永俊博，鳩野洋子，山田和子。自治体の公衆衛生従事者研修で用いられる研究技法に関する研究。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；303

岩永俊博，兵井伸行，鳩野洋子，尾崎米厚，中俣和幸，橋本榮里子，山根洋右。地域保健現場でのモデル適応の課題。第59回日本公衆衛生学会，前橋。2000.10；385

学術報告書等

平野かよ子，守田孝恵，他。21世紀の地域保健福祉対策に従事する保健婦の活動と配置のあり方に関する研究。（主任研究者：北川定謙）。平成11年度厚生科学研究。2000；1-66

山田和子，平野かよ子，守田孝恵，他。地域保健分野における保健婦の新たな活動方法に関する研究。（主任研究者：山田和子）。平成11年度厚生科学研究。2000；1-32

山田和子, 野田順子, 他. **子ども虐待の支援実態と保健婦の役割に関する研究—仁国保健所保健婦を対象とした調査より—**. 安田研究助成論文集, 財団法人安田生命社会事業団. 2000 ; 35 ; 126-133

山田和子, 他. **保健婦の調査・研究に関する指導方法の開発・指針作成に関する研究**. 平成11年度厚生科学研究補助金健康科学総合研究事業報告書 (主任研究者: 丸山美知子). 2000 ; 1-55

山田和子, 鳩野洋子, 福島富士子, 他. **保健婦の「教育・研修企画」機能の資質向上に関する研究**. (主任研究者: 丸山美知子). 平成11年度厚生科学研究補助金健康科学総合研究事業報告書, 2000 ; 1-29

山田和子, 他. **子ども虐待における保健婦の支援内容の明確化と保健婦へのサポートシステム構築の探究** (主任研究者: 山本裕美子). 平成11年医学研究学術賞・医学研究助成医学報告集, 財団法人大同生命事業団. 2000 ; 113-118

福島富士子, 守田孝恵, 他. **保健所における母子保健活動のあり方に関する研究**. (研究代表者: 宮里和子). 平成11年度厚生科学研究費補助金研究報告書, 2000 ; 1-111

鳩野洋子. **地域づくり型保健活動の実践的展開**. (主任研究者: 岩永俊博). 地域保健活動の類型化と展開方法の適用に関する研究報告書. 平成11年度健康科学総合研究事業報

告書, 2000 ; 29-33

鳩野洋子, 他. **地域高齢者の閉じこもりの実態とその背景要因の分析—外出行動に着目した分析**. (主任研究者: 田中久恵). 寝たきり予防活動推進のための方策研究報告書. 平成11年度健康科学総合研究事業報告書, 2000 ; 41-52

鳩野洋子, 山田和子, 他. **虚弱老人の閉じこもり予防を目的としたサービスの利用者の特徴と効果**. (主任研究者: 田中久恵). 寝たきり予防活動推進のための方策研究報告書. 平成11年度健康科学総合研究事業報告書, 2000 ; 53-66

田中久恵, 鳩野洋子, 他. **全国市町村におけるねたきり予防活動の実施状況と推進のための方策**. (主任研究者: 田中久恵). 寝たきり予防活動推進のための方策研究報告書. 平成11年度健康科学総合研究事業報告書, 2000 ; 7-22

岩永俊博, 鳩野洋子, 他. **展開方法選択のための場面の類型化に関する研究**. (主任研究者: 岩永俊博). 地域保健活動の類型化と展開方法の適用に関する研究報告書. 平成11年度健康科学総合研究事業報告書, 2000 ; 79-106

岩永俊博, 鳩野洋子, 他. **日本型ヘルスプロモーション活動の考え方と実際** (主任研究者: 岩永俊博). 日本におけるヘルスプロモーション展開方法とその開発途上国での適応に関する研究報告書. 平成11年度社会保障国際協力推進研究事業報告書, 2000 ; 6-14

Proceedings with abstracts

Hirano K. **Public health education for nurse in Japan**. Asia Pacific Academic Consortium for Public Health. Hong Kong. 2000 ; 28

Fukushima F. **The prevalence and nature of child sexual abuse in Japan**. The 6th Asian Congress of Sexology. Kobe. Aug. 2000

生理衛生学部

Department of Physiological Hygiene

原著

永田久雄, 李善永, 佐々木昭彦. **高齢社会での労働環境づくりに関する意識調査**. 日本建築学会計画系論文集. 2000 ; 第530号 (4) : 1-8

総説

大久保千代次. **たばこ煙に含まれる化学物質**. 治療. 2000 ; **82**(2) : 25-29

大久保千代次. **電磁界と健康**. 空気清浄. 2000 ; **38**(2) : 48-54

大久保千代次. **電磁界と健康リスク**. 人間と生活環境. 2000 ; **7**(2) : 69-74

大久保千代次. **医療における電磁界問題**. 医学のあゆみ. 2000 ; **195**(13) : 1089-1091

抄録のある学会報告

竹松浩二, 神山忠明, 牛山明, 大久保千代次, 小池幸子, 安藤興一, 岡浩太郎, 谷下一夫. **重粒子線照射による腫瘍血管新生の経時的変化**. 第39回日本ME学会大会, 東京. 2000. 5 (医用電子と生体工学. 2000 ; 38特別号 : 186)

増田宏, 牛山明, 大久保千代次. **慢性埋込型 cranial window を用いた脳軟膜微小循環の観察**. 第25回日本微小循環学会総会, 横須賀. 2000. 2 ; 31

竹松浩二, 神山忠明, 牛山明, 大久保千代次, 小池幸子, 安藤興一, 山本友喜人, 安村和彦, 岡浩太郎, 谷下一夫. **局所的な腫瘍血管透過性についての検討**. 第25回日本微小循環学会総会, 横須賀. 2000. 2 ; 50

牛山明, 大久保千代次. **樹脂製 chamber を用いたマウス背側皮膚窓における微小循環動態の観察—金属製 chamber との比較—**. 第25回日本微小循環学会総会, 横須賀. 2000. 2 ; 62

岡野秀幸, 大久保千代次. **高血圧状態の家兎に対する静磁場全身曝露の影響**. 第4回新磁気科学シンポジウム, 大宮. 2000. 11 ; 228-237

佐々木昭彦, 永田久雄, 安澤哲也. **事例検討からみた移動・公共空間の機能評価—高齢社会の福祉環境づくり**. 第70回日本衛生学会総会, 大阪. 2000 ; 429

Manomaiipoon K, Hutacharoen R, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 高橋美加. **バンコク中心部の屋内・屋外の職場における労働者の心電図 R-R 間隔変動特性と個人の温度環境**.

第70回日本衛生学会総会, 大阪. 2000 ; 365

高橋美加, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 西田泰. **乳幼児の車内熱中症死亡事故における事故要因の実験的分析**. 第70回日本衛生学会総会, 大阪. 2000 ; 374

高橋美加, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 永井由美子. **高齢者の体温調節能力と夏季の周囲温度への適応状況**. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 651

佐々木昭彦, 長谷川美香. **新潟市における高齢者の移動環境の調査 (1)**. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 667

金田桜子, 佐々木昭彦. **高齢者の生活と共生: アンケート調査**. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 668

佐々木昭彦. **生活と健康の季節依存性—温暖化の影響**. シンポジウム「地球温暖化と季節推移」予稿集, 気候影響・利用研究会, 京都. 2000. 10 ; 8-9

学術報告書等

大久保千代次, 牛山明. **生体内脳微小循環動態観察システムを用いた商用周波数帯電磁会の全身暴露影響評価に関**

する研究. (研究代表者: 大久保千代次) 平成11年度環境保全研究成果集 (II), 2000 ; 19-1~19-13

佐々木昭彦, 鈴木晃, 他. **家庭・公共施設における共生特性のモデル化—高齢社会の共生の概念と技術適合—**. 科学技術振興調整費 高齢社会における製品・生活環境等のユニバーサル化に関する研究 (H9-11年度) 成果報告書, 科学技術庁研究開発局. 2000. 3 ; 51-65

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 他. **社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—**. 安藤満編: 平成8-10年度環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書 地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究, 2000. 11 ; 103-149

内山巖雄, 佐々木昭彦, 丹後俊郎, 兵井伸行, 他. **地球温暖化による健康影響と環境変化による社会の脆弱性の予測と適応によるリスク低減化に関する研究 (4) ライフスタイルからみた温暖化の影響への適応と健康リスクの予防に関する研究**. 地球環境研究総合推進費平成11年度研究成果報告集 (中間報告II), 環境庁企画調整局地球環境部, 2000. 12 ; 152-156

Originals

Xu Sh, Okano H, Ohkubo C. **Acute effects of whole-body exposure to static magnetic fields and 50-Hz electromagnetic fields on muscle microcirculation in anesthetized mice**. *Bioelectrochemistry*. 2000 ; **53** : 127-135

Books

Takematsu K, Kamiyama T, Ushiyama A, Ohkubo C, Koike S, Ando K, Yamamoto Y, Yasumura K, Oka K, Tanishita K. **Angiogenic vessels of tumor are leaky to circulating macromolecules: in vivo Microcirculation annual Vol.16, 2000** (eds. Tsuchiya M, Asano M, Tokioka T, Takagashi K). Nihon-Igakukan. Tokyo: 2000 ; 139-142

Masuda H, Ushiyama A, Okano H, Ohkubo C. **Chronological observation of the pial microcirculation using a chronically implanted cranial window method in the rat in vivo Microcirculation annual Vol.16,2000** (eds. Tsuchiya M, Asano M, Tokioka T, Takagashi K). Nihon-Igakukan. Tokyo: 2000 ; 151-156

Okano H, Ohkubo C. **Anti-pressor effects of static magnetic fields on hypertensive conditions in rabbits: in vivo Proceedings of the Third Meeting Symposium on New Magneto-Science'99** Japan Science and Technology Corp. Omiya : 2000 ; 423-434

Okano H, Ohkubo C. **Anti-pressor effects of whole-body exposure to static magnetic fields on hemodynamics in rabbits: in vivo Proceedings of the Fourth Meeting Symposium on New Magneto-Science 2000** Japan Science and Technology Corp. Omiya : 2000

; 228-237

McMichael AJ, Confalonieri U, Githeko A, Martens P, Kovats S, Patz J, Woodward A, Haines A, Sasaki A, Greenough G, Hales S, Kalkstein L, Kolsky P, Lerer L, Sloof R, Smith K, Kjellstrom T. **Chap.14 Human health. in "Methodological and technological issues in technology transfer, International Panel on Climate Change: A special report of IPCC Working Group III"** (eds. Metz B, Davidson OR, Martens J-W, van Rooijen SNM, McGrory LVW). Cambridge University Press. 2000 ; 329-347

Proceedings with abstracts

Takahashi M, Sasaki A, Nishida Y, Uchiyama I. **Heat-related death of small children left in parked cars: Environmental and geographical conditions**. Intl. Conf. on Healthy Cities and urban Policy Research. Tokyo. Mar. 2000

Sasaki A, Kaneda Y, Nagata H, Yasuzawa T. **A survey on the basement of elderlies' going-out and their collaborating community life in Toyama-prefecture**. Japan. Intl. Conf. on Healthy Cities and urban Policy Research. Tokyo. Mar. 2000

Kaneda Y, Sasaki A. **A survey of elderlies' life and its relationship with the community collaboration in Toyama-prefecture**. 59th Jpn. Meeting of Public Health. Maebashi. Oct. 2000

Takahashi M, Sasaki A, Uchiyama I, Nishida Y. **Heat-related death of small children left in parked cars during 1985-98 in Japan**. 11th Global Warming Conference. Boston. May 2000

Takahashi M, Sasaki A, Nishida N, Uchiyama I. **Heat-related death of small children left in parked cars: the environmental condition of the car inside.** Human-Environment Symposium. Chiba. Oct. 2000

Reports

Sasaki A. **Ecological consideration in evaluating health impacts of heat and temperature.** Proceeding of the 8th U.S.-Japan Workshop on Global Change. Health and the Environment: Climate change and the health effects of exposure to higher temperatures, air pollutant concentrations, and ultraviolet radiation. NIH, Bethesda, U.S.A. Nov. 2000; 49

Sasaki A, et al. **A survey on the basement of elderlies' going-out and their collaborating community life in Toyama-prefecture.** Japan. Intl. Conf. on Healthy Cities and urban Policy Research. Tokyo. Mar. 2000

Uchiyama I, Sasaki A, Tango T, Hyoui N, et al. **Roles of**

lifestyle in adaptation to health effects and prevention of the health risk by global warming. Studies on the Vulnerability of Community by Global Warming and Environmental Change to Proc. the Adaptive Risk Reduction. (ed. Ando M). Global Environment Research of Japan in 1999. Dec. 2000 ; 82

Uchiyama I, Sasaki A, Hyoui N, et al. **Effects of global warming on health and lifestyle in Asian-Pacific Region.** Global Environmental Research of Japan (Final report for Projects Completed in 1999) Part 1. Research and Information Office, Global Environmental Department, Environment Agency, Government of Japan. Dec. 2000

Sasaki A, et al. **Models for disease, use in risk assessment, how to incorporate diversity in human populations.** U.S.-Japan Workshop on Global Environmental Health, Working Group 4. Nov. 2000

栄養生化学部

Department of Nutrition and Biochemistry

原著

井川正治, 戴鶴峰, 渡辺卓, 近藤雅雄, 工藤吉郎. 箱根駅伝ランナーのポルフィリン代謝変動. ポルフィリン. 2000 ; 9 : 12-18

近藤雅雄, 網中雅仁, 田中利明, 中村磐男, 工藤吉郎. 塩化サマリウムおよび塩化ランタン投与マウスのポルフィリン代謝系酵素活性に及ぼす影響. ポルフィリン. 2000 ; 9 : 55-64

近藤雅雄, 中山健, 浦田郡平, 白鷹増男, 矢野雄三. わが国におけるポルフィリン症の現状. ポルフィリン. 2000 ; 9 : 41-54

総説

近藤雅雄. 肥満のメカニズム—生活習慣病を予防する—. 日本長生医学会誌. 2000 ; 6 : 1-7

著書

梶本雅俊. 第1章 総論と歴史. 村松幸, 編. 公衆衛生学. 第2版. 講談社, 東京: 2000 ; 1-6

梶本雅俊. 第1章 総論. 梶本雅俊, 二見大介編. 公衆栄養学. 第1版. 朝倉書店, 東京: 2000

梶本雅俊. 食品構成. 第6次改定日本人の栄養所要量の活用. 厚生省保健医療局地域保健栄養課, 2000

抄録のある学会報告

鈴木妙子, 柘植光代, 植原吟子, 張黎明, 田口浩子, 梶本雅俊. 個人別栄養調査の互換性の検討 (第30報). 第47回日本栄養改善学会講演集, 東京. 2000 ; 230

川野因, 渡嘉敷晶子, 鈴木妙子, 梶本雅俊, 岩田香. 前

日の食事摂取状況の違いが一過性の運動負荷後の血液指標に及ぼす影響. 第47回日本栄養改善学会講演集, 東京. 2000 ; 250

梶本雅俊. 第六次改定日本人の栄養所要量—食品構成のありかた—人類は何をどれだけ食べるべきか—. 第47回日本栄養改善学会講演集, 東京. 2000 ; 72

梶本雅俊, 鈴木妙子, 升井孝子, 永田千鶴子. **EBM目標型公衆栄養計画—城山町におけるライフスタイル・食生活および血液性状の相互関連と経時変化から—.** 第59回日本公衆衛生学会総会抄録集, 群馬. 2000 ; 782

近藤雅雄, 藤田博美. **晩発性皮膚ポルフィリン症のB型およびC型肝炎合併について.** 第70回日本衛生学会総会, 大阪. 2000. 3 ; 301

井川正治, 戴鶴峰, 工藤吉郎, 近藤雅雄. **大学駅伝選手(男子学生)の鉄欠乏と赤血球ヘム合成酵素活性の変動について.** 第70回日本衛生学会総会, 大阪. 2000. 3 ; 263

平田健司, 古山和道, 近藤雅雄, 佐々茂, 藤田博美. **晩発性皮膚ポルフィリン症のヘモクロマトーシス因子(HFE)の解析.** 第70回日本衛生学会総会, 大阪. 2000. 3 ; 103

井川正治, 戴鶴峰, 渡辺卓, 近藤雅雄, 工藤吉郎. **箱根駅伝ランナーのポルフィリン代謝変動について. その1. 造血との関連.** 第28回ポルフィリン研究会総会プログラム集, 東京. 2000. 5 ; 5

堀江裕, 前田直人, 佐々木祐一郎, 川崎寛中, 近藤雅雄, 工藤吉郎. **異型ポルフィリン症における遺伝子解析—本邦4症例における遺伝子解析—.** 第28回ポルフィリン研究会総会プログラム集, 東京. 2000. 5 ; 4

石原知明, 垣内雅彦, 竹内圭介, 樋口国博, 田中裕滋, 小林由直, 岩佐元雄, 生駒次朗, 渡辺省三, 梶原進, 近藤

雅雄, 足立幸彦. **Dubin-Johnson (D-J) 類似顆粒を認めた黒色肝の一例**. 第33回日本肝臓学会, 東京. 2000. 11 : 肝臓, **41**(Suppl 3) ; A552

奥田真珠美, 宮代栄吉, 石井侃, 井上徳浩, 奥田修司, 小林昌和, 小池通夫, 近藤雅雄. **新生児期に白色便を呈し, 胆道閉鎖症との鑑別を要したDubin-Johnson 症候群の一例**. 第14回近畿小児科学会, 大阪. 2000. 12

前田直人, 堀江裕, 佐々木祐一郎, 川崎寛中, 近藤雅雄, 工藤吉郎. **異型ポルフィリン症における遺伝子解析〜本邦第4症例における遺伝子解析〜**. 第4回日本肝臓学会総会, 神戸. 2000. 10 : 肝臓**41**(suppl 2) ; 409

饗場直美, 猿田恵子, 山本茂貴. **X線照射によって誘起されるリンパ球の細胞死における細胞内変化 (III)**. 第73回日本生化学会大会, 横浜. 2000. 10 ; 933

山口晃子, 中澤裕之, 山崎聖美. **容器・包装関連物質のエストロゲン作用かく乱の生化学的分析**. 日本食品衛生学会第80回学術講演会, 郡山. 2000. 11 ; 47

山口晃子, 中澤裕之, 山崎聖美. **食品衛生関連化学物質のE-SCREEN Assayによる評価**. 日本食品化学学会第6回総会・学術大会, 東京. 2000. 5 ; 31

山口晃子, 山崎聖美, 坂部貢, 中澤裕之. **生活関連化学物質のE-Screen Assayによる評価**. 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3 ; 187

須藤紀子, 梶本雅俊, 上畑鉄之丞, 木村豊子, 本田栄子, 久宮フジ, 澤口真規子, 府川則子, 亀山千枝子, 川村雅夫,

田中久子, 江口澄子, 村上和恵. **行政栄養士の栄養関連業務活動の現状**. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10 ; 778

上畑鉄之丞, 須藤紀子, 関谷栄子. **看護婦のストレス—教員, 一般事務職との比較研究**. 第41回日本社会医学学会総会, 大阪. 2000. 7 ; 66-67

須藤紀子, 大塚柳太郎. **1事業所に勤務する女子従業員の疲労の自覚症状に関連する因子**. 第73回日本産業衛生学会, 北九州. 2000. 4 ; 425

学術報告書等

上畑鉄之丞, 他. **21世紀にむけたこれからの行政栄養士活動のあり方に関する研究**. 平成11年度「地域保健総合推進事業」報告書, 2000

饗場直美, 山本茂貴. **放射線によるリンパ球の細胞死 (apoptosis) のメカニズムの解析及びその回避因子に関する研究**. 平成10年度国立原子力試験研究成果報告書 第39集, 2000 ; 98-1~4.

山崎聖美, 久松由東, 岡田由美子, 他. **バイオテクノロジーを用いた外因性内分泌障害性化学物質の環境評価手法の開発に関する研究**. (研究代表者: 山崎聖美) 平成11年度環境保全研究成果集, 2000 ; 17-1~17-11

須藤紀子, 山崎聖美, 上畑鉄之丞. **中高年女性の保養・休養ニーズと生活習慣病及び健康状態との関連に関する研究**. 財団法人日本健康開発財団研究年報, 2000 ; **21**: 9-16

Originals

Maeda N, Horie Y, Adachi K, Nanba E, Kawasaki H, Daimon M, Kudo Y, Kondo M. **Two deletion mutations in the hydroxymethylbilane synthase gene in two unrelated Japanese patients with acute intermittent porphyria**. *J Hum Genet.* 2000 ; **45** : 263-268

Maeda N, Horie Y, Sasaki Y, Adachi K, Namba E, Nishida K, Saigo R, Nakagome M, Kawasaki H, Kudo Y, Kondo M. **Three novel mutation in the protoporphyrinogen oxidase gene in Japanese patients with variegate porphyria**. *Clinical Biochemistry.* 2000 ; **33** : 495-500

Muranak S, Hanafusa R, Akagi R, Kondo M, Kaido M, Anderson K, Sassa S. **Combined defects of both coproporphyrinogen oxidase and 5-aminolevulinatase dehydratase in two unrelated patients who clinically presented coproporphyrin**. *Porphyria.* 2000 ; **9** : 194-198

Kondo M, Aminaka M, Tanaka T, Nakamura I, Kudo Y. **Effects of rare earth elements on the porphyrin metabolic pathway in mice**. *Porphyria.* 2000 ; **9** : 219-223

Kondo M, Ohno A, Murakami K, Xie Y, Koga H, Chiba M. **Metals and porphyrins in urine-disappearance of urinary porphyrins by addition of copper**. *Porphyria.* 2000 ; **9** : 224-226

Xie Y, Kondo M, Koga H, Miyamoto H, Chiba M, Inaba

Y. **Porphyrins and arsenic in urine of endemic arsenism**. *Porphyria.* 2000 ; **9** : 227-229

Proceedings with abstracts

Kawano Y., Sato F. and Kajimoto M. **Effect of training camp on the biosynthesis of red blood cell**. 13th International Congress of Dietetics, Edinburgh International Conference Centre, Edinburgh, Scotland. Jul. 2000 ; Book abstracts : 115

Maeda N, Horie Y, Kawasaki H, Kondo M. **Genetic analysis of porphyria defects in Japanese patients and screening of gene carriers**. 5th International Porphyrin-Heme Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 30 (Invited)

Kaga E, Kawamura M, Hiroshige, Ariga T, kondo M, Yano Y. **Failure of prevention of acute attacks of acute intermittent porphyria (AIP)**. 5th International Porphyrin-Heme Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 64

Muranaka S, Hanafusa R, Akagi R, Kondo M, Kaido M, Anderson K, Sassa S. **Combined defects of both coproporphyrinogen oxidase and 5-aminolevulinatase dehydratase in two unrelated patients with coproporphyrin**. 5th International Porphyrin-Heme

Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 64

Kudo Y, Watanabe S, Horie Y, Kondo M. **Porphyrias and carcinogenesis families in Japan-Comparisons of three types of porphyria (AIP, VP, EPP) in 17**. 5th International Porphyrin-Heme Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 65

Takeuchi H, Kondo M, Daimon M, Susa S, Uemura O, Sobajima H, Iwasa M, Ando T. **Neonatal onset hereditary coproporphyria with male pseudo-hemaphroditism**. 5th International Porphyrin-Heme Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 65

Iwata K, Matsumoto M, Nakao K, Matsumoto I, Hirabayashi Y, Ohta Y, Kanai K, Mishiro S, Hatahara T, Kondo M. **A case of porphyria cutanea tarda without skin lesions but with hyperechoic intrahepatic nodules noticed during follow-up of chronic hepatitis C**. 5th International Porphyrin-Heme Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 65

Kondo M, Aminaka M, Tanaka T, Nakamura I, Kudo Y. **Effects of rare earth elements on activities of enzymes of the porphyrin metabolic pathway in C57BL-strain mice**. 5th International Porphyrin-Heme

Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 68

Kondo M, Ohno A, Murakami K, Xie Y, Koga H, Chiba M. **Porphyryns and metals in urine.-Disappearance of urinary porphyrins by addition of copper-**. 5th International Porphyrin-Heme Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 68

Xie Y, Kondo M, Koga H, Miyamoto H, Ohmich M, Shinohara A, Inaba Y, Chiba M. **Studies on urinary porphyrins of patients with endemic arsenism caused by burningcoal in China**. 5th International Porphyrin-Heme Symposium, Recent Progress and New Perspective for 21st Century. Sendai. Oct. 2000 ; 68

Yamazaki T, Okada Y, Hisamatsu Y, Kubota S, Kayama F. **Effects of endocrine disrupting chemicals on lymphocyte responses**. DIOXIN 2000, California. Aug. 2000 ; 49 ; 394-396

Kobayashi N, Yamaguchi A, Yamazaki T, Nakazawa H. **Effect of Xenoestrogens and Phytoestrogens on Breast Cancer Cells**. 第3回日本内分泌攪乱化学物質学会、横浜。2000.12; 320

Sudo N, Sugisawa A, Uehata T. **Risk factors related to the onset of NIDDM**. INCLIN Global Meeting XVII, Bangkok-Thailand. Oct. 2000 ; 83

衛生微生物学部

Department of Microbiology

原著

佐原啓二, 杉枝正明, 長岡宏美, 三輪好伸, 宮本秀樹, 秋山真人, 中島節子, 根路銘令子. **静岡県で1998年の非流行期と次期流行シーズンに分離されたB/Victoria/2/87系統に属するB型インフルエンザウイルスの疫学的解析**. 感染症学雑誌. 2000 ; 74 : 481-485

森屋一雄, 角典子, 中尾昌弘, 山崎貢, 齊藤眞, 伊藤健一郎. **散発下痢症患者及び健康乳幼児由来大腸菌における局在性及び凝集性付着大腸菌 (EPEC, EAEC) 関連遺伝子, *eaeA*, *aggR*, *astA* の保有状況について**. 感染症学雑誌. 2000 ; 74 : 134-142

西川文雄, 秋田美千代, 中島節子. **インフルエンザの反復感染について**. 臨床とウイルス. 2000 ; 28 : 237-247

総説

中島節子, 中島捷久. **インフルエンザ流行史**. 治療学. 2000 ; 34(1) : 117-120

中島捷久, 信沢枝里, 中島節子. **インフルエンザ亜型と変異**. 総合臨床. 2000 ; 49(2) : 224-230

中島節子, 中島捷久. **臨床医のための呼吸器系ウイルスの知識**. 診断と治療. 2000 ; 88(12) : 2158-2161

中島節子. **わが国のインフルエンザの疫学**. 臨床医. 2000 ; 26(12) : 2457-2460

山上隆也, 町田篤彦, 浅川洋美, 小澤茂, 西尾治, 井上利男. **1999/2000年冬季に山梨県で発生したウイルス性胃腸炎について**. 山梨県衛生公害研究所年報. 2000 ; 43 : 38-41

西尾治. **国立公衆衛生院の「国際ポリオ根絶行政研修」とポリオ対策について**. 公衆衛生研究. 2000 ; 49(1) : 33-36

著書

西尾治. **酵素抗体法によるA群ロタウイルスのG血清型別**. ウイルス性下痢症診断マニュアル. 第2版. 国立感染症研究所ウイルス第二部 衛生微生物技術協議会レファレンス委員会発行, 2000 ; 13-15

西尾治. **カリシウイルスのPR-PCR法とハイブリダイゼーション**. ウイルス性下痢症診断マニュアル. 第2版. 国立感染症研究所ウイルス第二部 衛生微生物技術協議会レファレンス委員会発行, 2000 ; 44-54

西尾治. **アデノウイルス**. ウイルス性下痢症診断マニュアル. 第2版. 国立感染症研究所ウイルス第二部 衛生微生物技術協議会レファレンス委員会発行, 2000 ; 56-70

抄録のある学会報告

山浦常, 荒木国興, 戸塚恭一. 赤痢アメーバ症の免疫学的診断法としてのdot-ELISA法の検討. 第74回日本感染症学会総会, 福岡. 2000.4

荒木国興, 山崎浩, 青木孝, 前田龍一郎, 金澤保. 吸虫感染症に対する免疫学的診断法としてのdot-ELISA法の検討. 第41回日本熱帯医学会大会, 東京. 2000. 11

佐原啓二, 杉枝正明, 長岡宏美, 三輪好伸, 中島節子, 根路銘令子. 静岡県で1998年の非流行期と次期流行シーズンに分離されたB/Victoria/2/87系統に属するB型インフルエンザウイルスの疫学的解析. 第41回日本臨床ウイルス学会, 広島. 2000. 5

川上千春, 渡邊寿美, 中島節子, 根路銘令子, 宗村徹也, 七種美和子, 野口有三, 今井光信. 1999/2000シーズンに分離されたAH1型インフルエンザウイルスの疫学的解析. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000. 10

鈴木映子, 中島節子, 野口章. Paramyxovirus (HVJ)のNP蛋白質を認識するモノクローナル抗体の同定と機能解析への応用. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000. 10

中島捷久, 信澤枝里, 佐藤克彦, 森下高行, 中島節子. ヒト血清を用いたインフルエンザウイルス抗原変異の解析. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000. 10

中島節子, 西川文雄, 中島捷久. アジアかぜA(H2N2)インフルエンザウイルスの分子進化. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000.10

西尾治, 秋山美穂, 加藤由美子, 鈴木博, 齊藤寛史, 林留美子, 山田靖治. PCR法によるクリプトスポリジウム原虫の検出について. 第74回日本感染症学会総会, 福岡. 2000. 4

那須美行, 阿部浩, 敦賀俊彦, 西尾治. 当院における感染性下痢症の病因病原体. 第49回日本臨床衛生検査学会, 那覇. 2000. 5

川本歩, 西尾治. Norwalk-like virusesを起因とした5例の集団食中毒発生例. 第41回日本臨床ウイルス学会, 広島. 2000. 5

加藤由美子, 鈴木博, 西川真, 小野諭子, 杉枝正明, 川本歩, 西尾治. 各地で検出されたノーウォークウイルスの遺伝子型別について. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000. 10

濱野雅子, 葛谷光隆, 藤井理津志, 小倉肇, 西尾治, 西川真. 生カキによるNV集団下痢事例における患者由来株とカキ由来株の分子疫学. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000. 10

西尾治, 加藤由美子. マイクロプレートハイブリダイゼーションによるノーウォークウイルス(NV)の遺伝子型別について. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000. 10

西川真, 渡邊香奈子, 新井礼子, 篠川旦, 加藤由美子,

西尾治, 鈴木宏. 冬期に流行したノーウォーク様ウイルスの遺伝子解析. 第48回日本ウイルス学会, 津. 2000. 10

秋山美穂, 鈴木博, 西尾治. PCR法によるクリプトスポリジウム原虫の検出について. 第16回日本獣医畜産大学学術交流会, 武蔵野. 2000. 11

伊藤健一郎. 食品媒介感染症の疫学的解析のための分子生物学的手法. 第21回日本食品微生物学会総会, 東京. 2000. 11 (シンポジウム)

伊藤健一郎. 下痢原性大腸菌の病原性に関する最近の動向. 第26回九州衛生公害技術協議会. 佐賀. 2000. 11 (特別講演)

大塚亮一, 今岡浩一, 首藤康文, 藤江秀彰, 山口悟, 春日純子, 木村豊江, 武田真記夫, 中山裕之, 原田孝則, 土井邦雄. Brown Norway および Fisher ラットのアレルギー感受・吸入に対する生体反応へのホルマリンの短期暴露の影響. 第47回日本実験動物学会総会, 徳島. 2000. 5

今岡浩一. 経胎盤感作によるアレルギー特異的IgEの新生仔への産生誘導と経口免疫寛容の破綻. 第130回日本獣医学会, 堺. 2000. 10

学術報告書等

西尾治. 日本の各地から検出されたNorwalk-like virusesの遺伝子型について. (研究代表者: 武田直和). 平成11年度厚生省厚生科学研究新興・再興感染症研究事業 下痢症ウイルスの検出法, 予防法, 汚染指標および疫学に関する研究報告書, 2000; 37-38

西尾治. 遺伝子操作法による原虫の検出法に関する研究. (研究代表者: 国包章一). 平成11年度厚生省厚生科学研究新興・再興感染症研究事業 水道水を介して感染するクリプトスポリジウム及び類似の原虫疾患の監視と制御に関する研究報告書, 2000; 43-63

西尾治. 輸入食品のウイルス学的安全性. (主任研究者: 川本尋義). 平成11年度厚生省厚生科学特別研究 ウイルス性食中毒原因の遺伝子検査標準法確立と全国行政対応整備に関する研究報告書, 2000; 113-119

西尾治. アデノウイルス感染症拡大防止を目的とした咽頭結膜熱患者の集団発生時における原因ウイルスの迅速な特定: 患者および水からのアデノウイルス検出. (研究代表者: 藤本継人). 平成11年度大同生命研究助成報告書, 2000

西尾治 他. 中国青島省で分離されたポリオウイルス1型野性株の解析. (研究代表者: 宮村達男). 平成11年度ポリオ根絶計画事業報告書, 2000; 5-9

西尾治 他. ワクチン接種群と自然感染群におけるSabin 1株と1型野性株に対する中和抗体価の差の検討. (研究代表者: 宮村達男). 平成11年度ポリオ根絶計画事業報告書, 2000; 19-22

Originals

Yamasaki H, Araki K, Lim PKC, Zasmy N, Mak JW, Taib R, Aoki T. Development of a highly specific

recombinant *Toxocara canis* second-stage larvae excretory-secretory antigen for immunodiagnosis of human toxocariasis. *J Clin Microbiol.* 2000; 38: 1409-

1413

Nakajima S, Nobusawa E, Nakajima K. **Variation in response among individuals to antigenic sites on the HA protein of human influenza virus may be responsible for the emergence of drift strains in the human population.** *Virology*. 2000 ; **274** : 220-231

Nakajima S, Nishikawa F, Nakajima K. **Comparison of recent and late phase of old influenza A(H1N1) viruses.** *Microbiol Immunol*. 2000 ; **44** : 841-847

Fujimoto T, Chikahira M, Kase T, Morikawa S, Okafuji T, Yokota Y, Nishio O. **Single-tube multiplex PCR for rapid and sensitive diagnosis of subgenus B and other subgenera adenoviruses in clinical samples.** *Microbiol Immunol*. 2000 ; **44** : 812-826

Kohno H, Akihara S, Nishio O, Ushijima H. **Development of a simple and rapid latex test for rotavirus in stool samples.** *Pediatrics Int*. 2000 ; **42** : 395-400

Nishio O, Matsui K, Thi Phoung Lan D, Ushijima H, Isomura S. **Rotavirus infection among infants with diarrhea in Vietnam.** *Pediatrics Int*. 2000 ; **42** : 422-424

Nishio O, Matsui K, Oka T, Ushijima H, Mubina A, Dure-Samin A, Isomura S. **Rotavirus infection among infants with diarrhea in Pakistan.** *Pediatrics Int*. 2000 ; **42** : 425-427

Yamazaki M, Inuzuka K, Matsui H, Sakae K, Suzuki Y, Miyazaki Y, Ito K. **Plasmid encoded enterotoxin (Pet) gene in enteroaggregative *Escherichia coli* isolated from sporadic diarrhea cases.** *J Infect Dis*. 2000 ; **53** : 248-249

Iyoda S, Tamura K, Ito K, Izumiya H, Ueno N, Nagata K, Togo M, Terajima J, Watanabe H. **Inducible stx2 phages are lysogenized in the enteroaggregative and other phenotypic *Escherichia coli* O86:HNM isolated from patients.** *FEMS Microbiol Lett*. 2000 ; **191** : 7-10

Yamamoto M, Kiyono H, Kweon M-N, Yamamoto S,

Fujihashi K, Kurazono H, Imaoka K, Bluethmann H, Takahashi I, Takeda Y, Azuma M, McGhee JR. **Enterotoxin adjuvants have direct effects on T cells and antigen-presenting cells that result in either interleukin-4-dependent or -independent immune responses.** *J Infect Dis*. 2000 ; **182** : 180-190

Proceedings with abstracts

Yamasaki H, Araki K, Lim PKC, Aoki T. **Dot-ELISA using recombinant antigens for the immunodiagnosis of parasitic diseases.** The 69th Annual Meeting of the Japanese Society of Parasitology. Shimane. Apr. 2000

Chuan C, Nakajima Y, Akabane H, Araki K. **A case of creeping disease caused by *Gnathostoma spinigerum* larva.** The 69th Annual Meeting of the Japanese Society of Parasitology. Shimane. Apr. 2000

Nakajima S, Nobusawa E, Nakajima K. **Variation in response among individuals to antigenic sites on the hemagglutinin protein of human influenza virus may be responsible for the emergence of drift strains.** Options for the Control of Influenza IV. Crete. Sep. 2000

Nakajima K, Luo C, Nobusawa E, Nakajima S. **Host-dependent desialidation of the hemagglutinin protein of influenza B virus as determined by hemadsorption activity.** Options for the Control of Influenza IV. Crete. Sep. 2000

Ushijima H, Akihara S, Zhou SY, Hotta M, Okitsu S, Nishio O, Seto JK, ManeeKan N, Fang ZY, Tsai CH. **Trend of rotavirus gastroenteritis in Asia.** The Japan-United States Cooperative Medical Science Program 34th Joint Working Conference on Viral Diseases. Inuyama. May. 2000

Miyawaki K, Imaoka K, Nakayama H, Doi K. **Contact dermatitis induced by picryl chloride (PCL) in WBN/ILA-Ht rats.** The 2nd Congress of Asian Society of Toxicology. Cheju Island. May. 2000

母子保健学部

Department of Maternal and Child Health

原著

田中哲郎. **子どもの事故とその特徴.** 小児科. 2000 ; **41(2)** : 159-168

山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. **小児科医は何を望まれ何をなすべきか.** 小児科診療. 2000 ; **63(5)** : 712-718

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康, 長村敏生. **初期小児救急医療の担い手に関する検討.** 小児科診療. 1999 ; **63(5)** : 719-725

石井博子, 田中哲郎. **保育園における事故防止プログラムの開発.** 保育と保健. 2000 ; **5(2)** : 37-40

向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. **学校事故に対する救**

急体制の現状に関する研究. 学校保健研究. 2000 ; **42** : 105-116

田中哲郎. **就学前の“しつけ”の実態と保護者の考え方.** 小児科臨床. 2000 ; **53** : 1669-1676

内山有子, 田中哲郎, 逢坂文夫. **保育園児を持つ母親の少子化に対する考え方と現状.** チャイルドヘルス. 2000 ; **3** : 820-822

石井博子, 田中哲郎. **保育園・幼稚園における事故の予防と対応.** 小児科臨床. 2000 ; **53** : 2313-2320

小林正子, 東郷正美. **健康情報としての身体計測値の活用について—阪神淡路大震災の影響を受けた小学生のデータ**

よりー. AUXOLOGY. 2000; 7: 11-14.

東郷正美, 小林正子. 短間隔で長期に亘る身体計測値計測がもたらすもの—個人の発育はどのように進行するか—. AUXOLOGY. 2000; 7: 15-17.

大森世都子, 八倉巻和子, 高石昌弘. 幼児の食生活に関する研究—保護者及び保育園長の食意識の比較—. 小児保健研究. 2000; 59(1): 72-82

総説

田中哲郎, 岡智康. 保護者と応急手当て—その必要性和理解度—. 薬の知識. 2000; 51(2): 45-47

田中哲郎. 子どもの事故防止対策. 小児科. 2000; 41(2): 217-224

田中哲郎. 少子化対策としての新エンゼルプランを考える. 公衆衛生. 2000; 64: 697-701

小林麻衣子, 石井博子, 田中哲郎. 食事に関連した事故. 小児科. 2000; 41(11): 1962-1968

田中哲郎. 小児救急の特性とその重要性. 小児科臨床. 2000; 53: 2021-2025

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド13: インターネットによる小児事故防止と事故例の収集. チャイルドヘルス. 2000; 3(1): 31-33

加藤則子. 仕事と子育ての両立について. 公衆衛生. 2000; 64(10): 702-706

加藤則子. 母乳栄養をどう評価し, どうカバーするか. 小児科. 2000; 41(11): 1827-1832.

著書

田中哲郎. 新事故防止マニュアル. 診断と治療社. 東京 2000; 1-261

小林正子. 母子保健. 上延富久治編著. 公衆衛生学要論初版. 健帛社, 東京: 2000; 157-180

小林正子. 学校保健. 高野陽, 柳川洋編. 母子保健マニュアル第4版, 南山堂, 東京: 2000; 75-82

小林正子. 思春期保健. 高野陽, 柳川洋編. 母子保健マニュアル第4版, 南山堂, 東京: 2000; 83-88

高野陽, 加藤則子. 乳幼児期の保健. 高野陽, 柳川洋編. 母子保健マニュアル第4版, 南山堂, 東京: 2000; 61-74.

加藤則子. 病気と食生活. 岡崎光子, 佐藤加代子編著. 小児栄養. 光生館, 東京: 2000; 157-176

加藤則子. 多胎児の栄養. 日本小児保健協会栄養委員会, 編. 小児保健シリーズ No. 50 赤ちゃんの栄養と食事. 日本小児保健協会, 東京: 2000; 61-62

加藤則子, 加藤忠明. 保健・健康管理. 森上史郎, 他編. 保育用語辞典. ミネルヴァ書房, 京都: 2000; 205-223

佐藤加代子. 学童期・思春期の栄養と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐藤加代子編. 小児栄養: 子どもの栄養と食生活 (第2版). 医歯薬出版, 東京: 2000; 139-160.

佐藤加代子. 障害をもつ小児の食事と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐

藤加代子編. 小児栄養: 子どもの栄養と食生活 (第2版). 医歯薬出版, 東京: 2000; 177-196.

抄録のある学会報告

山田至康, 田中哲郎, 藤本猛男, 谷口繁, 中川洋, 長村敏生, 丹羽久生, 森口直彦, 市川光太郎. 小児救急医療支援事業の推進と評価に関する検討—自治体, 日本小児科医学会, 日本小児科学会の対応の違いから. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 62

内山有子, 田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康, 長村敏生. 内科医の初期小児救急医療に対する考え方. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 66

内山有子, 田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 小児科医の初期小児救急医療に対する考え方. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 67

石井博子, 田中哲郎. 子どもの保護者の病気に関する理解度. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 69

向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 高校におけるからだのしくみや疾病に関する教育について. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 70

向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 学校における事故の発生状況について. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 75

向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 学校における一般教諭の救命処置の習得状況について. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 76

向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 養護教諭の救命救急処置の自己評価について. 第14回日本小児救急医学会, 北九州. 2000; 77

石井博子, 田中哲郎. 発達段階からみた小児事故防止プログラムの評価. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000; 534

田中哲郎, 石井博子. 子どもの疾病に関する保護者の理解度. 子どもの保護者と小児科医の調査より. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000; 561

逢坂文夫, 相川浩幸, 池見好昭, 田中哲郎, 丹羽源男. 子育てと環境に何を望むか. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000; 561

田中哲郎, 石井博子. 子どもの病気に関する保護者の理解度(1)保護者に対する調査より. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000; 756-757

田中哲郎, 石井博子, 向井田紀子, 小林正子. 子どもの病気に関する保護者の理解度(1)小児科医に対する調査. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000; 758-759

田中哲郎, 石井博子. 子どもの事故防止の目標値の設定と超過死亡数に関する検討. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000; 438-439

石井博子, 田中哲郎, 市川光太郎. 保育園用事故防止プログラムの評価. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000; 449-450

石井博子, 田中哲郎. 3.4.5歳児用事故防止プログラム

の作成. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 442-443

石井博子, 田中哲郎, 向井田紀子, 小林臻. **子どもの事故死亡率の国際比較-先進14カ国の平均値との比較-**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 448-449

山田至康, 市川光太郎, 谷口繁, 中川洋, 長村敏生, 丹羽久生, 森口直彦, 藤本孟男, 田中哲郎. **小児救急医療支援事業の現状調査**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 698-699

山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. **救急医の小児救急医療に対する意識調査**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 700-701

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. **急患センター出務非小児科医の小児初期救急医療の現状とその意識調査**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 702-703

向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. **学校事故に対応可能な一般教諭の現状**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 444-445

向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. **学校事故に対する養護教諭の対応能力の自己評価**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 446-447

向井田紀子, 小林正子, 石井博子, 田中哲郎. **からだのしくみや疾病に関する学校での健康教育についての検討その2. 高校保健体育科教諭に対する調査**. 第47回日本学校保健学会, 福岡. 2000 ; 316-317

小林正子, 田中哲郎. **インターネットによる通信教育(遠隔教育)の試行とその評価**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000 ; 270

齋藤久美, 小林正子, 東郷正美. **心身の健康管理に役立つ身体計測値の活用—小学校児童において—**. 第47回日本学校保健学会, 福岡. 2000 ; 202-203

東郷正美, 小林正子. **北海道から石垣島に至る子どもの発育の季節変動に関する研究**. 第65回日本民族衛生学会, 長崎. 2000 ; 62-63

小林正子. **心身の健康状態を反映する身体計測値: 事例と活用法**. 第16回健康科学学会, 東京. Health Sciences. 2000 ; 16(4) : 374

小林正子, 田中哲郎. **少子時代の育児支援に関する研究その2. 保育園保護者の考え方の分析**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000 ; 330-331

加藤則子, 田中あゆ子, 小林正子, 田中哲郎, 高石昌弘. **乳児期前期の身体発育曲線の試作**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000 ; 547

加藤和美, 加藤則子. **地域及び家族形態間比較からみた母親の育児不安に関する検討**. 第59回日本公衆衛生学会, 前橋. 2000 ; 567

加藤則子, 田中あゆ子, 小林正子, 田中哲郎, 高石昌弘. **乳児期前期の身体発育曲線の試作**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000. 11 ; 390-391

長谷川智子, 加藤則子. **肥満傾向児の体重増加の季節パターンについて—6歳時までの月間体重増加量の検討—**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000. 11 ; 116-117

加藤則子. **乳幼児期における発育調査の意義**. 第11回 Auxology (発育学) 研究会, 東京. 2000 ; 10

小澤宏美, 田中真智子, 西田祐子, 長谷川智子, 佐藤加代子. **保育所における栄養士のあり方について**. 第47回日本栄養改善学会, 東京. 2000. 9 ; 152

田中由香, 秋山みどり, 布川直子, 田中真智子, 西田祐子, 樋口直美, 長谷川智子, 佐藤加代子. **子どもの食事行動に影響を及ぼす要因の検討 (第1報)**. 第47回日本栄養改善学会, 東京. 2000. 9 ; 243

佐藤加代子, 田中由香, 秋山みどり, 布川直子, 田中真智子, 西田祐子, 樋口直美, 長谷川智子. **子どもの食事行動に影響を及ぼす要因の検討 (第2報)**. 第47回日本栄養改善学会, 東京. 2000. 9 ; 243

安藤梨香, 佐藤加代子, 布川直子, 篠田道代, 田中真智子, 西田祐子, 樋口直美, 君羅満. **幼児の食事行動と食物摂取状況との関連について**. 第47回日本栄養改善学会, 東京. 2000. 9 ; 244

佐藤加代子, 安藤梨香, 田中由香, 布川直子, 田中真智子, 西田祐子, 樋口直美, 君羅満, 長谷川智子. **幼児の食事行動と食物摂取状況との関連からみた問題点**. 第47回日本小児保健学会, 高知. 2000. 11 ; 672-673

学術報告書等

田中哲郎. **小児の事故とその防止に関する研究総括**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 329-331

田中哲郎. **小児の事故とその防止に関する総合的研究**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 332-335

田中哲郎. **わが国の小児事故の現状に関する検討**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 336-339

田中哲郎, 他. **小児事故防止の目標値設定に関する検討**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 340-345

田中哲郎, 他. **子どもの事故に関する保育園保護者の考え方**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 346-349

田中哲郎, 他. **保育園における事故防止プログラムの開発**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 350-356

田中哲郎, 他. **保育園における事故防止プログラムの評価**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 357-360

田中哲郎, 小林正子. **インターネットを利用した子どもの事故情報の収集と啓発**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 361-365

田中哲郎, 他. **事故研究のデータベース化の試み**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 366-371

田中哲郎, 他. **アメリカにおける事故防止対策**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 372-376

田中哲郎, 小林正子, 他. **学校事故の発生状況に関する研究**. (研究代表者: 田中哲郎). 平成11年度厚生科学研究 小児の事故とその防止に関する研究報告書, 2000 ; 377-382

小林正子, 他. **正常日本人体内放射能の継続測定: 幼若期の一男子小児の3歳6ヶ月から約3年に亘るカリウムの体内放射及び身体計測の月次測定による発育評価**. 平成11年度東京大学原子力研究総合センター年報, 2000 ; (27) : 79-81

田中哲郎, 西尾治, 小林正子, 他. **HIV母子感染に関する公衆衛生学的研究**. 厚生省国際医療協力研究委託費研究報告集, 2000 ; 68-69

小林正子, 他. **開発途上国のHIV母子感染の実態と予防に関する研究**. 厚生省国際医療協力研究委託費研究報告集, 2000 ; 66-67

小林正子, 加藤則子. **新生児の身体計測における計測値の特性に関する検討—乳幼児身体発育継続調査より—**. (主任研究者: 加藤則子). 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究, 平成11年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/6), 2000 ; 85-86

加藤則子, 小林正子, 他. **2000年調査のための調査票及び調査手引書についての検討**. (主任研究者: 加藤則子). 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究, 平成11年度厚

生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/6), 2000 ; 71-73

加藤則子, 小林正子, 田中哲郎, 他. **調査の実施上の問題点—集団健診方式がすべての対象に可能か—**. (主任研究者: 加藤則子). 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究, 平成11年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/6), 2000 ; 75-76

小林正子, 田中哲郎, 加藤則子, 他. **発育基準グラフの使われ方やわかりやすい表し方とに関する検討**. (主任研究者: 加藤則子). 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究, 平成11年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/6), 2000 ; 77-79

丹後俊郎, 加藤則子. **平滑化のシュミレーション**. (主任研究者: 加藤則子). 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究, 平成11年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/6), 2000 ; 80-81

加藤則子, 丹後俊郎. **Tango法による平滑化値と年月齢毎の集計の比較**. (主任研究者: 加藤則子). 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究, 平成11年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/6), 2000 ; 82-84

加藤則子. **母子保健**. (主任研究者: 柳沢健一郎). 公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究 平成11年度厚生省地域保健総合推進事業 (総合的地域保健検討事業) 報告書 (第3/3 資料集4), 2000 ; 1-14

Originals

Hyodo C, Tanaka T, Kobayashi M, Shimizu M, Prueksunand P, Nitithamyong A, Jittawatanakorn J, Naka S. **Factors affecting attitudes towards mother-to-child transmission of HIV among pregnant women in a maternal and child hospital in Thailand**. *International Journal of STD & AIDS*. 2000 ; **11** : 406-409

Proceedings with abstracts

Tanaka T, Kato N. **Epidemiological study of SIDS and child-rearing environmental factors in Japan**. The 10th Asian Congress of Pediatrics. Taipei. 2000 ; 164

Kobayashi I, Ishii H, Uchiyama Y, Tanaka T. **Yearly changes of the incidence of childhood accidents in Japan**. The 10th Asian Congress of Pediatrics. Taipei, Taiwan. 2000 ; 83

Uchiyama Y, Kobayashi M, Ishii H, Tanaka T. **Analysis of current situations of infant accidental cases in Japan**. The 10th Asian Congress of Pediatrics. Taipei, Taiwan. 2000 ; 83

Ishii H, Tanaka T, Uchiyama Y, Kobayashi M. **International comparison of mortality from accidental death between Japan and other developed countries**. The 10th Asian Congress of Pediatrics. Taipei, Taiwan. 2000 ; 83

Kobayashi M, Uchiyama U, Ishii H, Tanaka T. **The relationship between infant accidents and stage of growth**. 5th Injury Prevention and Control. New Delhi, India. 2000 ; 198

Uchiyama Y, Kondo M, Ishii H, Tanaka T. **The current situations of infant accidents in Japan—from the analysis of 14612 cases**. 5th Injury prevention and control. New Delhi, India. 2000 ; 196

Kobayashi M, Suzuki N, Kobayashi M, Tanaka T, Eto T. **The changes of stature, body weight and sitting height of Japanese children during the last 50 years**. 9th International Congress of Auxology. Torino, Italy. *Acta Medica Auxologica*. 2000 ; **32**(1) : 22

Kobayashi M, Saito K, Togo M. **A study on the application of physical growth data as health information for children**. 9th International Congress of Auxology. Torino, Italy. *Acta Medica Auxologica*. 2000 ; **32**(1) : 10

Togo M, Kobayashi M. **Environmental influences on seasonal variations of stature and body weight in Japanese children**. 9th International Congress of Auxology. Torino, Italy. *Acta Medica Auxologica*. 2000 ; **32**(1) : 19.

Kobayashi M, Iwaki J, Kobayashi M. **Diurnal variation in stature at various stage of growth**. 9th International

Congress of Auxology. Torino, Italy. *Acta Medica Auxologica*. 2000 ; **32**(1) : 40.

Togo M, Kobayashi M. **How do individual children grow?** 9th International Congress of Auxology. Torino,

Italy. *Acta Medica Auxologica*. 2000 ; **32**(1) : 41.

Kato N, Takaishi M. **Modelling the characteristics of infant growth as a mass.** *Acta Medica Auxologica*. 2000 ; **32** (1) :40-41

労働衛生学部

Department of Industrial Health

原 著

岩井和郎, 内山巖雄. ディーゼル排出粒子による人肺癌リスク試算 (予測). 大気環境学会誌. 2000 ; **35**(4) : 229-241

熊江隆, 伊藤孝. ヘム鉄配合食品 (プルーンゼリー, Fe プルーン) の摂取が大学生女子競技選手の鉄欠乏性貧血に及ぼす影響. 体力・栄養・免疫学雑誌. 2000 ; **10**(2) : 74-81

総 説

内山巖雄. 公衆衛生院からの発信・11 研究課程の修業. 公衆衛生. 2000 ; **64**(12) : 902-904

内山巖雄. いま知っておきたい環境問題① 内分泌攪乱物質と健康 (その1). 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(10) : 866-869

内山巖雄. いま知っておきたい環境問題② 内分泌攪乱物質と健康 (その2). 保健婦雑誌. 2000 ; **56**(11) : 866-869

著 書

内山巖雄 (共著). 入門 大気中微小粒子の環境・健康影響. 日本環境衛生センター, 2000

内山巖雄 (共著). 概説: 健康被害, 健康リスク, 環境リスク. リスク学事典. TBSブリタニカ, 東京. 2000 ; 42-46

内山巖雄 (共著). リスク評価の枠組みと定量化の手順. リスク学事典. TBSブリタニカ, 東京. 2000 ; 226-227

内山巖雄 (共著). リスク評価のクライテリア. リスク学事典. TBSブリタニカ, 東京. 2000 ; 254-255

市川勇 (共著). 大気環境, 気圧, 気温, 湿度, 風向および風速, 大気安定度, 紫外線, 視程, 日照, 日射, 天気および雨量. 日本薬学会編. 衛生試験法・注解2000. 金原出版, 東京. 2000 ; 1009-1017

熊江隆. **Risk/Benefit** の概念と予防的外科手術. 脳神経外科ジャーナル. 2000 ; **9** (6) : 416-419 (特別寄稿)

熊江隆. 生理的疲労のメカニズムと回復. 疲労感の変動とその評価. 特集・スポーツと疲労. 臨床スポーツ医学. 2000 ; **17**(7) : 801-806

抄録のある学会報告

村山留美子, 内山巖雄 他. 環境リスクレベルの認知についての調査—1997~1999年の東京近郊の住人のリスクレベルの認知の変化について—. 日本リスク研究学会第13回研究発表会, 2000 ; 25-30

牧野国義, 栗田雅之, 市川勇. 家庭婦人の呼吸器症状有病率への粒子状物質の影響. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000 ; 821

森下さやか, 坂田裕美, 金子さゆみ, 高橋良実, 高橋可織, 山科美絵, 相田規子, 朴今万, 市川勇, 青山旬, 山田和子, 杉山英男, 寺田宙. 鎌倉市の環境保全に関わる行政とNPOの実態調査とその連帯. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000 ; 834

熊江隆, 伊藤孝. 運動ストレスが非特異免疫能と生体内活性酸素バランスに及ぼす影響. 第1報. 大学駅伝選手の血清からみた生体内活性酸素バランスの変動. 第70回日本衛生学会総会, 守口. 2000 ; 250

熊江隆. 化学発光法による血清総抗酸化能の測定結果に及ぼす各種抗酸化物質の寄与. 第10回体力・栄養・免疫学会総会, 青森. 2000. 9 ; 113-114

齊藤大輔, 倉掛重精, 檀上和真, 劉強, 梅田孝, 中路重之, 菅原和夫, 熊江隆. 30km 走前後におけるオプソニン化活性の変動. 第10回体力・栄養・免疫学会総会, 青森. 2000. 9 ; 111-112

倉掛重精, 岡村典慶, 熊江隆, 大下喜子, 戸塚学, 梅田孝, 中路重之, 菅原和夫. 夏期の高校野球観戦者の発汗量と水分摂取. 第10回体力・栄養・免疫学会総会, 青森. 2000. 9 ; 138-140

荒川はつ子, 熊江隆. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第8報 アレルゲン投与による鼻腔抵抗値に及ぼす感作雌性ラットの性周期の影響. 第10回体力・栄養・免疫学会総会, 青森. 2000. 9 ; 143-144

熊江隆. Wistar系ラットの肺における抗酸化機構に及ぼす成熟後からのストレス負荷の影響. 第55回日本体力医学会大会, 富山. 2000. 9 ; 731R

荒川はつ子, 熊江隆. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第9報 スギ花粉抗原感作ラットの鼻腔抵抗値における雌雄差の検討. 第55回日本体力医学会大会, 富山. 2000. 9 ; 724R

荒川はつ子, 熊江隆. スギ花粉症発症に及ぼす運動の予防的効果に関する研究. 第1報 気管支肺胞洗浄液中の細胞数の変化. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000. 9 ; 406

熊江隆, 荒川はつ子. スギ花粉症発症に及ぼす運動の予防的効果に関する研究. 第2報 運動負荷ラットの肺胞マクロファージ活性の変化. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000. 9 ; 407

学術報告書等

内山巖雄. 生活環境中の汚染物質の曝露量に関する研究. 平成11年度大気汚染による健康影響に関する総合的研究成果集.Ⅲ-2, 公健協会, 2000 ; 171-195

Originals

Kumae T. **Development of a new simple estimating method for protein, fat, and carbohydrate in cooked foods.** *Environmental Health and Preventive Medicine.* 2000 ; 4(4) : 205-211

Kumae T, Kawahara T. **Effects of endurance running during one month on the cytotoxic activity of natural killer cells and the phagocytic reactive oxygen species production from neutrophils.** *J. Phys. Fit. Nutr. Immunol.* 2000 ; 10(1) : 7-14

Proceedings with abstracts

Kumae T, Arakawa H. **Age-related changes of cells in bronchoalveolar lavage fluids in Brown Norway rats.**

8th Biennial Meeting of The Transpacific Allergy and Immunology Society. Hawaii, USA, Jan. 2000 ; Final program. Syllabus & Abstracts : 221R

Kumae T, Arakawa H. **Training effects on chemiluminescent response of alveolar macrophage in matured rats.** 11th International Symposium on Bioluminescence & Chemiluminescence. Asilomar, California, USA, Sep. 2000; *Luminescence*, 15(4) : 213L

Kumae T, Arakawa H. **Effects of physical activities on cells in bronchoalveolar lavage fluids in Brown Norway rats.** XVII International Congress of Allergology and Clinical Immunology. Sydney, Australia, Oct. 2000; Abstracts: 111L

衛生薬学部

Department of Pharmaceutical Sciences

著書

森川馨, 秋元雅裕, 齋藤泉, 芦澤一英, 芦原賢一, 大石和男, 古家喜弘, 三川正明, 西出克郎, 和田英夫, 加藤昌靖, 他. **固形製剤GMP研究報告.** 日本PDA (医薬品品質保証学会), 2000 ; 1-1 - 17-10

抄録のある学会報告

赤峰由子, 宮澤宏, 福原守雄, 柴崎敏昭, 菅家甫子. **高脂血症患者におけるfluvastatin投与による症状の改善とCYP2C発現性との関連.** 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

水野武, 山岸久美子, 柳憲一郎, 柳原雅樹, 和田賢人, 王瑞性, 宮澤宏, 花岡文雄. **哺乳類細胞の複製前クロマチンにおけるDNA複製装置複合体の形成機構.** 第23回日本分子生物学会年会, 神戸. 2000. 12

足立直樹, 黒瀬光一. **内分泌攪乱物質がアフリカツメガエル初期発生の遺伝子発現に及ぼす影響.** 第23回日本分子生物学会年会, 神戸. 2000. 12

岡知宏, 足立直樹, 佐久間慶子, 黒瀬光一. **ビスフェノールAがツメガエル初期発生過程に及ぼす影響.** 第23回日本分子生物学会年会, 神戸. 2000. 12

足立直樹, 岡知宏, 古賀千恵, 黒瀬光一. **アフリカツメガエル初期発生過程においてエストラジオール処理により発現に影響が及ぼされる遺伝子の探索.** 日本発牛生物学会第33回大会, 高知. 2000. 5

岡知宏, 黒瀬光一, 福原守雄. **シリアンハムスターCYP2D分子種のクローニングと特性解析.** 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

頭金正博, Sinal C, 宮田昌明, Gonzalez F. **FXR/BAR遺伝子欠損マウスにおける胆汁酸および脂質代謝.** 第23回日本分子生物学会年会, 神戸. 2000. 12

森川馨. **バリデーションにおけるデータ評価と問題点.** 日

本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

平岡健二, 岡田順一, 青木基, 小島秀夫, 口羽心, 村田雅美, 澤田昌志, 宮城章吾, 西畑利明, 村長忠男, 西田尚子, 橋本霞人, 森川馨. **医薬品製造用水システムの評価と留意点.** 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

鈴木正彦, 山本真一, 広瀬和幸, 大橋洋次, 畦地靖隆, 矢敷考司, 森川馨. **凍結乾燥製剤製造における乾燥工程終了確認方法の提案.** 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

小山靖人, 片山博仁, 中島真二, 大西倫夫, 伊吹リン太, 森川馨. **製造施設を使用した空調システムの微生物除去性能評価.** 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

堀池あずさ, 小和田和宏, 馬淵博, 佐野智子, 永野隆夫, 森川馨. **医薬品収去検査における試験方法の変動要因について.** 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

馬淵博, 堀池あずさ, 小和田和宏, 佐野智子, 永野隆夫, 森川馨. **溶出試験の問題点の把握とその対応.** 日本薬学会第120年会, 岐阜. 2000. 3

学術報告等

森川馨. **医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証に関する研究.** (主任研究者: 森川馨). 医薬品原薬製造における科学的品質保証に関する研究 平成11年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業重点研究報告, 第6分野医用材料及び製剤設計技術の開発に関する研究, 2000 ; 16-32

森川馨. **無菌製剤製造におけるろ過滅菌用フィルターの除菌性能評価およびバリデーションに関する研究.** 平成11年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究推進事業 国際共同研究報告, 2000 ; 68-73

森川馨, 他. **日本の承認審査を実生産での製造方法を視野に入れたものとするための検討.** 厚生科学研究 医薬品等国際ハーモナイゼーション促進研究 平成11年度研究業績報

告書, 2000 ; 18-27

Originals

Nishikawa N S, Izumi M, Uchida H, Yokoi M, Miyazawa H, Hanaoka F. **Cloning and characterization of the 5'-upstream sequence governing the cell cycle-dependent transcription of mouse DNA polymerase alpha 68 kDa subunit gene.** *Nucleic Acids Res.* 2000 ; **28** : 1525-1534

Izumi M, Yokoi M, Nishikawa N S, Miyazawa H, Sugino A., Yamagishi M, Yamaguchi M, Matsukage A, Yatagai F, Hanaoka, F. **Transcription of the catalytic 180-kDa subunit gene of mouse DNA polymerase alpha is controlled by E2F, an Ets-related transcription factor, and Sp1.** *Biochim. Biophys. Acta* 2000 ; **1492** : 341-352

Oka T, Fukuhara M, Ushio F, Kurose K. **Molecular cloning and characterization of three novel cytochrome P450 2D isoforms, CYP2D20, CYP2D27, and CYP2D28 in the Syrian hamster (*Mesocricetus auratus*).** *Comparative Biochemistry and Physiology, Part C.* 2000 ; **127** : 143-152

Tohkin M, Fukuhara M, Elizondo G, Tomita S, Gonzalez F J. **Aryl hydrocarbon receptor is required for p300-mediated induction of DNA synthesis by adenovirus E1A.** *Mol. Pharmacol.* 2000 ; **58** : 845-851

Sinal C J, Miyata M, Tohkin M, Nagata K, Bend J R,

Gonzalez F J. **Targeted disruption of soluble epoxide hydrolase reveals a role in blood pressure regulation.** *J. Biol. Chem.* 2000 ; **275** : 40504-40510

Sinal C J, Tohkin M, Miyata M, Ward J M, Lambert G, Gonzalez F J. **Targeted disruption of the nuclear receptor FXR/BAR impairs bile acid and lipid homeostasis.** *Cell.* 2000 ; **102** : 731-744.

Proceedings with abstracts

Kurose K, Oka T, Nishimura T, Adati N. **Analysis of differential gene expression in response to estrogen-exposure on early development of *Xenopus laevis*.** 18th International Congress of Biochemistry and Molecular Biology. Birmingham, UK. Jul. 2000

Mizuno T, Yamagishi K, Yanagi K, Yanagihara M, Miyazawa H, Hanaoka F. **Molecular architecture of eukaryotic DNA polymerase alpha-primase complex.** REPLICATION 2000 at The Salk Institute. La Jolla. Sep. 2000

Tohkin M, Fukuhara M, Elizondo G, Tomita S, Gonzalez F J. **Aryl hydrocarbon receptor is required for p300-mediated induction of DNA synthesis by adenovirus E1A.** Keystone Symposia, Nuclear Receptor 2000. Steamboatsprings. Mar. 2000

衛生獣医学部

Department of Veterinary Public Health

原著

山崎省二. **空調用ダクト内部の微生物汚染, ダクト内粉塵中の細菌, 真菌量.** クリーンテクノロジー. 2000 ; **10(4)** : 60-61

藤井敏昭, 坂本和彦, 横山新, 山崎省二. **光と電子が作るアメニティ「人, 食品, ウエハに対する快適環境」.** エバラ時報. 2000 ; **186(1)** : 13-18

山本茂貴. **リスクアナリシスの動向.** 獣医学雑誌. 2000 ; **4** : 1-3

藤原真一郎. **HACCPによる食品の衛生管理.** エアロゾル研究. 2000 ; **15(1)** : 14-19

総説

山崎省二. **実験動物アレルギー対策の試みとその評価.** 実験動物と環境. 2000 ; **8(2)** : 111-116

著書

山崎省二. **微生物粒子.** 日本空気清浄協会編. 室内空気清浄便覧. オーム社, 東京. 2000 ; 112-120

藤原真一郎. **清涼飲料水の衛生問題.** 清涼飲料水の

HACCP研究班編. **HACCP : 衛生管理計画の作成と実践 清涼飲料水実践編.** 中央法規出版, 東京. 2000 ; 32-47

藤原真一郎. **清涼飲料水のモデル品種別HACCP導入事例.** 清涼飲料水のHACCP研究班編. HACCP : 衛生管理計画の作成と実践 清涼飲料水実践編. 中央法規出版, 東京. 2000 ; 116-126

藤原真一郎. **食肉処理総合品質管理手引書管理編 (分担執筆).** 財団法人日本食肉生産技術開発センター, 2000 ; 1-20

抄録のある学会報告

仲田幸博, 安永浩子, 杉田直記, 三上壮介, 山崎省二. **空中浮遊菌サンプラーの室内浮遊菌捕集性能.** 第18回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 2000 ; **4** : 174-177

井田達也, 相原孝, 五箇野幹子, 磯前和郎, 山崎省二. **HEPAフィルタ上における微生物二次汚染の検証とその対策.** 第18回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 2000 ; **4** : 194-196

武田収功, 藤原邦雄, 小松誠, 足立正, 高柳弘明, 山崎

省二, 佐藤吾郎. 放射線グラフト重合反応によるポリビニルピロリドンの合成とそのヨウ素コンプレックス重合反応によるポリビニルピロリドンの合成とそのヨウ素コンプレックスの構造と抗菌活性. 日本薬学会第120年会, 2000. 2; 137

長岡宏美, 佐原啓二, 三輪好伸, 杉枝正明, 秋山真人, 山本茂貴. 牛乳等における *C. burnetii* 汚染状況. 平成11年度獣医公衆衛生学会年次大会, 静岡. 2000. 2

山本茂貴. リスクアナリシスの動向. 第6回獣医疫学会学術集会, 筑波. 2000. 1

長岡宏美, 佐原啓二, 杉枝正明, 秋山真人, 原元彦, 山本茂貴, 平井克哉. *C. burnetii* 感染者の呈する症状についての一考察. 第46回東海公衆衛生学会, 岐阜. 2000. 7

長岡宏美, 杉枝正明, 秋山真人, 原元彦, 山本茂貴, 平井克哉. 慢性疲労症候群様患者からの *C. burnetii* 遺伝子の検出. 第48回日本ウイルス学会, 三重. 2000. 10

長岡宏美, 秋山真人, 塩崎裕士, 三竹啓敏, 小林健司, 山本茂貴. 慢性Q熱と診断された患者の5年間の追跡調査. 第7回リケッチャ研究会プログラム, 千葉. 2000. 10

春日文子, 山本茂貴, 和田正道, 熊谷進. 生卵摂取に伴う *Salmonella Enteritidis* の暴露評価の試み. 第130回日本獣医学会学術集会, 堺. 2000. 10

春日文子, 山本茂貴, 和田正道, 熊谷進. 卵を介した

Salmonella Enteritidis による食中毒のリスクアセスメント-Exposure Assessment. 第21回食品微生物学会学術大会, 東京, 2000. 10

藤原真一郎. 一般的衛生管理の考え方. 21世紀の食品衛生を担うHACCP国際セミナー, 東京. 2000. 5; 41-43 (パネルディスカッション)

学術報告書等

後藤純雄, 渡辺征夫, 遠藤治, 町井研士. 空気中の微量発癌関連物質の人体曝露測定法および曝露要因に関する研究—特に発癌プロモーターを中心として—. (研究代表者: 後藤純雄) 平成11年度環境保全成果集, 2000; 14: 1-31

藤原真一郎. 清涼飲料水の総合衛生管理製造過程による製造及びその衛生管理. 食品と科学. 2000; 42(2): 77-80

藤原真一郎. 食肉処理総合品質管理手引書の活用. ミートジャーナル. 2000; 37(5): 46-48

藤原真一郎. 食品製造施設における衛生管理システムの評価. 月刊HACCP. 2000; 6(9): 25-28

山崎聖美, 久松由東, 岡田由美子, 他. バイオテクノロジーを用いた外因性内分泌障害性化学物質の環境評価手法の開発に関する研究. (研究代表者: 山崎聖美) 平成11年度環境保全研究成果集, 2000; 17: 17-1~17-11

Originals

Inoue S, Nakama A, Arai Y, Kokubo Y, Maruyama T, Saito A, Yoshida T, Terao M, Yamamoto S, Kumagai S. **Prevalence and contamination levels of *Listeria monocytogenes* in retail foods in Japan.** *International J Food Microbiology*. 2000; 59: 73-77

Yamamoto S. **Historical perspective on the regulation of veterinary drugs residues in food: Japan.** *Microbial Ecology in Health and Disease*. 2000; suppl 1: 6-7

Proceedings with abstracts

Yamazaki S, Nakata Y, Sugita N. **Development of portable airborne bacteria sampler.** Proceedings of 15th ICCCS International Symposium. 2000; 342-349

Ohmawari K, Takeuchi R, Ohtsuka Y, Matsuoka R, Yamazaki S. **Amount of microorganism in accumulated dust of air conditioning duct.** Proceedings of 15th ICCCS International Symposium. 2000; 493-498

Yamazaki T, Okada Y, Hisamatsu Y, Kubota S, Kayama F. **Effects of endocrine disrupting chemicals on lymphocyte responses,** DIOXIN 2000, California. 2000. 8; 49: 394-396

放射線衛生学部

Department of Radiological Health

原著

杉山英男, 寺田宙, 出雲義朗, 宮田昌弘, 渡辺芳則, 土屋鍛, 遠藤泰吾, 吉田昭夫, 前田憲二. ロシア産輸入食品の放射性セシウム濃度 (1996年~1998年). *Radio-isotopes*. 2000; 49: 617-622

総説

緒方裕光. 動物実験の現状. 放医研環境セミナーシリーズ. 2000; 27: 179-186

緒方裕光, 佐藤裕一, 高橋知之, 江田和由, 伴信彦, 赤羽恵一, 甲斐倫明. 学会員を対象とした東海村臨界事故に関するアンケート調査結果. 保健物理. 2000; 35(3): 379-

384

緒方裕光. 東海村臨界事故に関するワークショップの概要. 保健物理. 2000; 35(3): 355

甲斐倫明, 赤羽恵一, 緒方裕光, 大藤芳久, 土居雅広, 義澤宣明, 米原英典. 種々の分野のリスク概念に関する歴史的経緯と最近の動向. 保健物理. 2000; 35(4): 421-433

中村豊, 成田浩人, 赤羽恵一, 阿部真治, 鈴木昇一, 森剛彦, 山口一郎, 諸澄邦彦, 山森和美, 渡辺浩. 患者さんのための「医療被ばくガイドライン (低減目標値)」日本放射線技師会雑誌. 2000; 47(10): 1694-1750

粟井和夫, 川越康充, 菊地透, 諸澄邦彦, 山口一郎, 渡辺浩. 日本放射線技術学会における放射線診療に関する法

令問題への取り組み. 日本放射線技術学会雑誌. 2000 ; 56(11) : 1306-1311

抄録のある学会報告

出雲義朗, 山口一郎. 原子力災害発生時における緊急防災対策・非対象地域及び小規模放射線(能)漏洩事故発生における地元保健所等の対応に関する一考察. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10

杉山英男, 寺田宙, 柴田尚, 仁科正実, 松下和弘, 加藤文男. セシウム高濃縮食品の研究(1)キノコ子実体の特性. 日本薬学会第120年会, 2000. 3

寺田宙, 杉山英男, 仁科正実, 松下和弘, 加藤文男. セシウム高濃縮食品の研究(2)キノコ菌糸体の特性. 日本薬学会第120年会, 2000. 3

加藤文男, 桑原千雅子, 大曾根彩子, 市川智之, 森田洋二, 杉山英男. *Streptomyces sp* TOHO-2のCs取込に関する研究. 日本薬学会第120年会, 2000. 3

桑原千雅子, 大曾根彩子, 柴田尚, 杉山英男, 加藤文男. 土壌からキノコへのセシウム移行における土壌微生物の影響. 日本薬学会第120年会, 2000. 3

寺田宙, 加藤文男, 柴田尚, 杉山英男. 食用キノコ(ヒラタケ)菌糸体におけるセシウムの分布特性. 第37回全国衛生化学技術協議会年会, 2000. 10

桑原千雅子, 飯島育代, 高城裕之, 長谷川一夫, 柴田尚, 加藤文男, 杉山英男. キノコ生育環境におけるセシウムの挙動-キノコ生育土壌中の微生物の関わり-. 第37回全国衛生化学技術協議会年会, 2000. 10

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗. X線を照射したマウスの免疫系および造血系細胞に対するコバルト元素の投与効果. 第43回日本放射線影響学会, 東京. 2000. 8

緒方裕光, 張永紅, 山口一郎, 出雲義朗. 食品中における放射性核種の体内代謝及び被ばく線量評価に関する研究. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10

山口一郎, 大久保誠, 野上広, 行廣孝夫, 緒方裕光, 加藤文男, 出雲義朗. 橈骨骨密度測定における被ばく線量. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10

大久保誠, 山口一郎, 野上広, 行廣孝夫, 福内恵子, 緒方裕光, 出雲義朗. 橈骨骨密度測定における変動要因. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋. 2000. 10

学術報告書等

杉山英男, 寺田宙. 環境から食品へ高濃縮される放射性物質の分布と特性. (主任研究者: 杉山英男). 第42回環境放射能調査研究成果論文抄録集, 2000 ; 104-105

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗. 無機金属元素による放射線障害回復機構に関する研究. (研究代表者: 緒方裕光). 平成11年度国立機関原子力試験研究成果報告書, 2000 ; 40 : 71-1~71-4.

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗. 食品中における放射性核種の体内代謝及び被ばく線量評価に関する研究-メダカの肉にとりこまれた⁵⁷Coの存在形態及びマウスにおける代謝-. 第42回環境放射能調査研究成果論文抄録集, 2000 ; 106-107

山口一郎. 医療機関のための放射線管理マニュアルの作成に関する研究. 平成11年度厚生科学研究・医薬安全総合事業報告書, 2000

山口一郎. 保健所等のための放射線管理(許可)マニュアルに関する研究. 平成11年度厚生科学研究・医薬安全総合事業報告書, 2000

Originals

Sugiyama H, Terada H, Shibata H, Morita Y, Kato F. **Radiocesium concentrations in wild mushrooms and characteristics of cesium accumulation by the edible mushroom (*Pleurotus ostreatus*).** *J. Health Sci.* 2000 ; 46 : 370-375

Kato F, Kuwahara C, Oosone A, Ichikawa T, Terada H, Morita Y, Sugiyama H. **Accumulation and subcellular localization of cesium in mycelia of *Streptomyces lividans* and a Cs tolerant strain, *Streptomyces sp.* TOHO-2.** *J. Health Sci.* 2000 ; 46 : 259-262

Ogata H, Morlier JP, Monchaux G. **Risk analysis of survival data in experimental animal studies of radiation.** IRPA-10. 2000 ; P2a92 : 1-4

Morishima M, Oshima N, Ogata H, Yamaguchi H, Yoshimura M, Sugihara S, Ihara Y. **Effect of Apolipoprotein E allele ε 4 on the initial phase of amyloid β-protein accumulation in the human brain.**

Am. J. Pathology. 2000 ; 157(6) : 2093-2099

Proceedings with abstracts

Sugiyama H, Terada H, Kuwahara C, Shibata H, Maeda Y, Kato F. **Characteristics of radiocesium concentration by mushrooms and microorganisms.** International Workshop on Distribution and Speciation of Radionuclides in the Environment. Oct. 2000 ; Abstract pp. 24

Terada H, Kato F, Matsushita K, Nishina M, Sugiyama H. **Application of cultivation of mycelia for study on radiocesium uptake by mushroom.** The Fifth International Conference on Methods and Applications of Radioanalytical Chemistry. Apr. 2000

Ogata H, Morlier JP and Monchaux G. **Risk analysis of survival data in experimental animal studies of radiation.** 10th International Congress of the International Radiation Protection Association. Hiroshima. May. 2000

地域環境衛生学部
Department of Community Environmental Science

原 著

渡辺征夫, 遠藤治, 後藤純雄, 田辺潔, 溝口次夫, 松下秀鶴. β 線吸収法とハイボリュームエアサンプラー法による都市大気中の浮遊粉塵の測定値の比較, 一東京の2監視局での10年間にわたる間欠測定調査より. 環境化学. 2000; **10**: 557-572

汝宜紅, 姚家奕, 徐傑, 渡辺征夫, 田中勝. 中国における鉄道客車ごみの排出特性及びその低減化対策. 環境技術. 2000; **29**: 60-68

後藤純雄, 遠藤治, 松本寛, 酒井茂克, 芥川智子, 麻野間正晴, 平山晃久, 渡辺徹志, 世良暢之, 塚谷裕子, 多田敦子, 若林敬二. 大気浮遊粒子, 河川水および土砂の変異原性モニタリング. 環境変異原研究. 2000; **22**(2): 45-54

森康明, 節田節子, 高木敬彦, 光崎研一, 村上和雄, 後藤純雄, 遠藤治, 小野寺祐夫. 河川水のAmes変異原性試験におけるディスク型固相吸着剤の適用. 環境化学. 2000; **10**(3): 573-579

瀬戸信也, 飯豊修司, 大石興弘, 大泉毅, 田畑亨, 野口泉, 原宏. 酸性雨局とアメダス局との降水量の比較. 大気環境学会誌. 2000; **35**: 273-286

総 説

原宏. 酸性雨とその影響. 保健婦雑誌. 2000; **56**: 406-414

著 書

渡辺征夫. 廃棄物処分・環境安全用語辞典. 小島圭二, 他編. 一部執筆, 丸善. 2000

渡辺征夫. 大気汚染物質測定法. 大気環境学会史料整理研究委員会編. 日本の大気汚染の歴史. 公健協会, 2000; 302-327

渡辺征夫. 測定法の標準化. 大気環境学会史料整理研究委員会編. 日本の大気汚染の歴史. 公健協会, 2000; 986-999

渡辺征夫. 技術者教育. 大気環境学会史料整理研究委員会編. 日本の大気汚染の歴史. 公健協会, 2000; 1034-1041

抄録のある学会報告

渡辺征夫, 山田正人, 大場宏行, 大迫政浩, 井上雄三, 池口孝, 田中勝, 谷川昇. 都市ごみ埋立地で発生するメタンの計測とその評価. 第21回全国都市清掃研究発表会, 神戸. 2000. 2; 292-294

渡辺征夫. 大気中および排ガス中の揮発性有機化合物の分析(ガス分析法の発展の視点から). 日本分析化学会ガスクロマトグラフィー研究会40周年記念講演会, 東京. 2000. 6; 21-39 (受賞講演)

渡辺征夫, 池口孝, 西村良子, 寺島千晶, 山崎一彦. 凝

縮水法による焼却炉排ガス中クロロフェノール類の連続分析のための基礎検討. Separation Sciences'2000, 東京. 2000. 6; 35-36

渡辺征夫, 内山巖雄, 田子博, 大谷仁己, 大村雅崇, 小島大輔, 泉克幸, 野口政明. 大気中の揮発性有機化合物の全自動連続分析(群馬県における6地点の調査結果). Separation Sciences'2000, 東京. 2000. 6; 81-82

渡辺征夫, 泉克幸, 石井忠浩. ドライアイスの冷却時の種々の容器・包装の実質熱貫流量の推定. 第41回大気環境学会, 浦和. 2000. 9; 324

渡辺征夫, 中西基晴, 富田潤一, 鈴木雅臣, 石井忠浩, Komala N, 杉田和俊, 小池真, 近藤豊, Blake D, 川上修司, 小川利紘. 航空機調査(BIBLE-A)による熱帯から温帯までのPeroxyacyl Nitrate類(PANs)の観測(2). 第41回大気環境学会, 浦和. 2000. 9; 376

渡辺征夫, 内山巖雄, 矢島慎也, 大場宏行, 泉克幸. 大気中の揮発性有機化合物の全自動連続分析(10日間の連続測定). 第41回大気環境学会, 浦和. 2000. 9; 417

渡辺征夫, 牧岡愛美, 泉克幸. 練炭燃焼に伴う一酸化炭素の生成と消滅. 第41回大気環境学会, 浦和. 2000. 9; 499

山田正人, 渡辺征夫, 和田実花, 大森佐興子, 斉藤聡, 藤井崇. 容器材のリサイクル戦略による温室効果ガス排出量の評価. 第11回廃棄物学会研究発表会, 札幌. 2000. 11; 198-200

渡辺征夫, 池口孝, 工藤雅子, 泉克幸, 西村良子, 寺島千晶, 山崎一彦. 焼却炉排ガス中クロロフェノール類の凝縮水型/全自動連続分析計の試作と現地試験. 第11回廃棄物学会研究発表会, 札幌. 2000. 11; 664-666

渡辺征夫. 日本におけるダイオキシン類排出低減化に向けた廃棄物焼却炉対策. ISO化に向けた環境保全フィルター国際シンポジウム, 幕張. 2000. 11; 1-6 (基調講演)

大久保忠利, 宮岡友則, Madhusree B, 遠藤治, 後藤純雄, 峯木茂, 林哲仁. 味噌と次亜塩素酸ナトリウムとの反応生成物の変異原性及びその反応条件の検討. 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台. 2000. 11; 105

後藤純雄, 遠藤治, 松本寛, 麻野間正晴, 平山晃久, 渡辺徹志, 世良暢之, 若林敬二. 日本各地における大気浮遊粉じん, 河川水および土砂試料の変異原性(III). 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台. 2000. 11; 108

遠藤治, 小谷野道子, 後藤純雄, 雨谷敬史, 松下秀鶴. 低流量小型カスケードインパクトで採取された空気浮遊粒子の変異原性. 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台. 2000. 1; 109

浜田寛之, 小谷野道子, 後藤純雄, 遠藤治, 高木敬彦, 矢島博文, 石井忠浩. 室内及び屋外空气中浮遊粒子の変異原性とPAH濃度(II). 平成12年度室内環境学会総会, 東

京. 2000. 12 ; 3(2) : 68-69

原宏. 酸性雨研究の歴史(2) : Boussingaultらの研究. 第41回大気環境学会年会, 2000 ; 239

遠山修二, 大歳恒彦, 福崎紀夫, 原宏. 東アジア酸性雨モニタリングネットワークにおける湿性沈着データ解析—国内リモート局の総合精度評価の試み. 第41回大気環境学会年会, 2000 ; 240

満藤弘, 中村晃, 木本光則, 原宏, 野口泉, 瀬戸信也, 大泉毅, 林和彦, 福崎紀夫, 遠山修二, 前田正人. 湿性モニタリング網評価の試み その4 : 硫酸イオン沈着量の時空間変動. 第41回大気環境学会年会, 2000 ; 241

満藤弘, 中村晃, 木本光則, 原宏, 野口泉, 瀬戸信也, 大泉毅, 林和彦, 福崎紀夫, 遠山修二, 前田正人. 湿性モニタリング網評価の試み その5 : 硫酸イオン沈着量の時空間変動. 第41回大気環境学会年会, 2000 ; 242

青木正敏, 高野賢一, 鈴木晴子, 堀江勝年, 原宏. 福山力, 内山政弘, 泉克幸, 大喜多敏一. アカマツ林におけるNO₂およびO₃沈着速度の季節変化. 大気環境学会年会, 2000 ; 276

鈴木晴子, 原宏, 高野賢一, 堀江勝年, 青木正敏, 泉克幸, 福山力, 内山政弘, 大喜多敏一. アカマツ林における夏季のサルフェートエアロゾルの放出と沈着の動態. 大気環境学会年会, 2000 ; 277

高野賢一, 鈴木晴子, 堀江勝年, 青木正敏, 福山力, 内山政弘, 泉克幸, 原宏, 大喜多敏一. 水稲, トウモロコシ, およびアカマツ群落におけるO₃, NO₂, SO₂の沈着速度の比較. 大気環境学会年会, 2000 ; 278

原宏, Nurhayati, 二宮修治. インドネシアの降水化学. 第41回大気環境学会, 2000 ; 400

泉克幸, 久米博, 内山政弘, 福山力, 小山彩子, 高野賢一, 堀江勝年, 青木正敏, 原宏, 大喜多敏一, 坂本和彦. アカマツ群落内における水溶性エアロゾル成分の粒度分布. 大気環境学会年会, 2000 ; 405

李恩淑, 久松由東, 稲津晃司, 石井聡子, 秋鹿研一. 大気浮遊粒子の変異原性と変異(癌)原性物質の季節及び日内変動. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000 ; 532

久松由東, 張捷, 稲津晃司, 秋鹿研一. 二酸化窒素存在下でのピレン及びニトロピレンの不均一反応による変異原性ニトロ含酸素多環芳香族化合物生成の可能性に関する研究. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000 ; 529

石井聡子, 久松由東, 稲津晃司, 秋鹿研一. 変異原物質, 2-ニトロトリフェニレンの大気内動態. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000 ; 528

安達修一, 川村堅, 久松由東. ディーゼル排気および都市大気に含まれる3-nitrobenzanthroneの発がん性. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000 ; 527

久松由東, 池内拓人, 稲津晃司, 秋鹿研一. ポリ塩化ビ

ニルの熱分解, 燃焼反応による変異原物質生成における酸化銅及び酸化鉄共存の影響. 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台. 2000 ; 86

学術報告書等

渡辺征夫, 後藤純雄, 田中勝, 山田正人, 池口孝, 大迫政浩. 廃棄物リサイクルにともなう温室効果ガスの排出制御技術に関する研究(研究代表者; 渡辺征夫). 地球環境研究総合推進費終了研究報告書 都市圏の資源・エネルギー循環と都市構造に係わる温暖化防止対策技術に関する研究(平成9年度~11年度), 2000 ; 39-48

渡辺征夫, 後藤純雄. 民生用燃焼器具からの酸性雨原因物質の排出制御技術の実用化に関する研究(研究代表者; 渡辺征夫). 地球環境研究総合推進費終了研究報告書 東アジアにおける酸性雨原因物質排出制御手法の開発と環境への影響評価に関する研究(平成9年度~11年度), 2000 ; 41-56

田中勝, 池口孝, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫, 後藤純雄, 遠藤治. 廃棄物の熱処理に伴う未規制有害物質の制御・管理に関する研究(研究代表者; 田中勝). 平成11年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 2000 ; I巻 : 10-1~10-20

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄, 他. (研究代表者; 内山巖雄). 生体試料測定による地域住民の有害大気汚染物質暴露アセスメントに関する研究. 平成11年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 2000 ; I巻 : 13-1~13-21

後藤純雄, 渡辺征夫, 遠藤治 他. 空気中の微量発癌関連物質の人体曝露測定法および曝露要因に関する研究. (研究代表者; 後藤純雄). 平成11年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 2000 ; I巻 : 14-1~14-31

後藤純雄, 遠藤治, 他. 生活環境中の汚染物質の存在状況の把握に関する研究報告書 VI. 粒径別に採取した大気浮遊粉じん及び室内空気浮遊粒子の変異原性測定 VI. 1999年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 2000 ; 197-209

久松由東, 他. 新たな環境強変異原物質, 芳香族ニトロ化合物の環境動態, 環境分布と生物学的評価に関する研究. 平成11年度環境保全研究成果集, 2000 ; 15-1~15-17

久松由東, 山田正人, 他. プラスチック類の熱分解, 燃焼反応による有害化学物質生成の抑制に関する研究. 厚生科学研究費補助金研究報告書, 2000

久松由東. ディーゼル排気粒子のリスク評価について(中間とりまとめ), 毒性評価, DEPの生体影響に関する実験的研究, 変異原性. ディーゼル排気微粒子リスク評価検討会, 2000 ; 96~108

Originals

Endo O, Koyano M, Mineki S, Goto S, Tanabe K, Yajima H, Ishii T, Matsushita H. Estimation of indoor

air PAH concentration increases by cigarette, incense - stick and mosquito - repellent - incense smoke. *Polycyclic Aromatic Compounds*. 2000 ; 21 : 261-272

Sakamoto K, Gao S, Wang W, Wang J, Watanabe I, Wang Q. **Studies on atmospheric pollution caused by sulfur dioxide and its control with bio-briquetting in Chongqing, China.** *J. Japan.Soc.Atmos.Environ.* 2000 ; **35** : 124-131

Watanabe T, Goto S, Matsumoto Y, Asanoma M, Hirayama T, Sera N, Takahashi Y, Endo O, Sakai S, Wakabayashi K. **Mutagenic activity of surface soil and quantification of 1,3-, 1,6-, and 1,8-dinitropyrene isomers in soil in Japan.** *Chemical Research in Toxicology.* 2000 ; **13**(4) : 281-286

Nurhayati, Hara H. **Kualitas Kimia Air Hujan Stasiun GAW Indonesia.** *Jurnal Meteorologi dan Geofisika.* 2000 ; **1**: 51-57

Ishii S, Hisamatsu Y, Inazu K, Kadoi M, Aika K. **Ambient measurement of nitrotriphenylene formation by atmospheric reaction.** *Environ. Sci. Technol.* 2000 ; **34** : 1893-1899

Ishii S, Hisamatsu Y, Inazu K, Kobayashi T, Aika K. **Mutagenic nitrated benzo[a]pyrene derivatives in the reaction product of benzo[a]pyrene in NO₂-air in the presence of O₃ or under photoirradiation.** *Chemosphere.* 2000 ; **41** : 1809-1819

Inazu K, Tsutsumi N, Aika K, Hisamatsu Y. **SO₂-enhanced nitration of fluoranthene and pyrene adsorbed on particulate matter in the heterogeneous reaction in the presence of NO₂.** *Polycycl. Arom. Comp.* 2000 ; **20** : 191-203

Books

Watanabe I, Yamada M, Osako M, Ikeguchi T. **Methane fraction in carbon components in biogas from waste disposal sites in Japan and Southeast Asia.** in "Non-CO₂ greenhouse gases: scientific understanding, control and implementation." (J.van Ham, et al. eds.). Kluwer Academic Publishers. The Netherlands: 2000 ; 121-126

Proceedings with abstracts

Watanabe I, Yamada M, Osako M, Inoue Y, Ikeguchi T, Tanaka M, Ohba H, Tanigawa N, Matsuzawa Y. **Techniques for estimate of methane emission from waste disposal sites.** "Modern landfill technology and management". Hanashima M(ed.), Proceedings of the Asian-Pacific Landfill Symposium. Fukuoka, Japan. Oct. 2000 ; 428-435

Watanabe I, Uchiyama I, Tago H, Ohtani H, Noguchi M, Ohmura M, Kojima D, Izumi K. **Continuous analysis of volatile organic compounds in the ambient air by a full-automated GC system in Gunma, Japan.** Proceedings of the 23rd International Symposium on

Capillary Chromatography. Riva del Garda, Italy. Jun. 2000 ; J. 06. 1-8

Goto S, Endo O, Oda M, Shiraishi F, Imaeda T, Asami O, Hirai M. **Simple, rapid and sensitive method of detection of genotoxicity of environmental samples employing umu-lux microplate-luminescence system.** 2000 Environmental Mutagen Society Annual Meeting. New Orleans, LA. Apr. 2000 ; 26

Goto S, Ohkubo T, Endo O, Hayashi T, Bathini M, Mori Y, Fushiwaki Y, Onodera S. **Mutagenicity of reaction products of sodium hypochlorite and soybean paste (Miso).** Archives of complex environmental studies. Finland. 2000 ; **12**(1-2) : 19

Mineki S, Goto S, Endo O, Sun C, Takagi Y, Kohzaki K, Onodera S. **Mutagenicity and PAH concentration of soil collected from urban area of Tokyo.** Archives of complex environmental studies. Finland. 2000 ; **12**(1-2) : 20

Artz R, Coleman T L, Bowersox V C, Ryaboshapko A, Schaug J, Vet R J, Acker K, Hara H. **The Global precipitation chemistry monitoring program of the World Meteorological Organization.** 6th International Conference on Acidic Deposition. Tsukuba, Japan. Dec. 2000 ; p. 51

Noguchi I, Ohizumi T, Seto S, Oishi O, Tabata T, Kitamura M, Mori A, Iitoyo S, Hara H. **Temporal trends of non-seasalt sulfate and nitrate in precipitation in Japan: 1988-1998.** 6th International Conference on Acidic Deposition. Tsukuba, Japan. Dec. 2000 ; p. 53

Hara H, Sugiyama N, Ohyama J, Ogawa J. **Precipitation chemistry on Minami-Torishima in the Pacific Ocean.** Abstracts of 6th International Conference on Acidic Deposition. Tsukuba, Japan. Dec. 2000 ; p. 54

Izumi K, Utiyama M, Fukuyama T, Kume H, Aoki M, Hara H, Okita T. **Measurement of the particle size distribution of sulfate and nitrate aerosol in a forest canopy of red pine.** 6th International Conference on Acidic Deposition. Tsukuba, Japan. Dec. 2000 ; p. 55

Utiyama M, Fukuyama T, Izumi K, Sakamoto K, Sekiguchi K, Kim W, Koyama A, Aoki M, Hara H. **Fine particle dry deposition onto cropland.** 6th International Conference on Acidic Deposition. Tsukuba, Japan. Dec. 2000 ; p.72

Suzuki H, Hara H, Aoki M, Takano K, Izumi K, Fukuyama T, Utiyama M. **Sulfate aerosol concentration in and above a pine canopy.** 6th International Conference on Acidic Deposition. Tsukuba, Japan. Dec. 2000 ; p. 76

Hisamatsu Y, Inazu K, Aika K, Hidaka H. **Mutagenicity of thermal decomposition and combustion products of polymers and mutagenic**

compounds formation by them. 1st French meeting on environmental chemistry. Nancy, 2000 ; 103

Reports

Watanabe I, Yamada M. Proposed revision on the

framework of inventories for waste sector in IPCC's Good Practice Guidance. Proceedings of the IGES/NIES Workshop on GHG Inventories for Asia-Pacific Region. Shonan Village, Japan. Mar. 2000 ; 280-289

建築衛生学部

Department of Architectural Hygiene Engineering and Housing

原著

野崎 淳夫, 飯倉一雄, 池田耕一, 堀雅宏, 吉澤晋. 室内化学汚染の低減対策に関する研究. 第1報・室内ホルムアルデヒド, VOC汚染低減化対策としてのベイクアウトに関する研究. 空気調和・衛生工学会論文集. 2000 ; (77) : 13-20

塩津弥佳, 入江建久, 吉澤晋, 池田耕一. 小児アレルギー一患者宅における空気環境の実測に基づく空気清浄期の効果の評価に関する考察. 日本建築学会計画系論文集. 2000 ; (530) : 53-60

野崎 淳夫, 池田耕一, 飯倉一雄, 堀雅宏, 吉澤晋. 室内化学汚染低減化対策としてのベイクアウトの効果 (その1), 室内VOC, ホルムアルデヒド汚染に関する研究 (その2). 日本建築学会計画系論文集. 2000 ; (530) : 61-66

朴俊錫, 藤井修二. 建材からの揮発性有機化合物の発生ガス特性, その1, 環境条件による発生ガスへの影響に関する研究. 日本建築学会計画系論文集. 2000 ; (536) : 49-54

総説

池田耕一. 空調機および関連設備の洗浄, 清浄化と室内環境. 建築設備と配管工事. 2000 ; 38(1) : 19-34

池田耕一. リスク評価の必要性・室内空気環境問題を例として. 空気清浄. 2000 ; 38(2) : 77-78

池田耕一. シックハウス症候群. 安全衛生のひろば. 2000 ; 46-48

池田耕一, 阿部重一, 大坂隆, 梶野善治, 紀谷文樹, 高柳保. 今後のビル管理のあり方について. ビルと環境. 2000 ; (89) : 24-29

池田耕一. INDOOR AIR '99に見る室内空気質IAQ研究の国際動向. 空気清浄. 2000 ; 38(1) : 43-46

池田耕一. 木造の科学/シックハウス症候群5. 木の建築. 2000 ; 48 : 40-41

池田耕一. 生物粒子とエアロゾル. エアロゾル研究. 2000 ; 15(1) : 5-13

池田耕一. シックハウス症候群の原因と対策. 予防時報. 2000 ; (201) : 42-48

池田耕一. 住まいの中の化学物質. 生活と環境. 2000 ; 45(10) : 18-25

鈴木晃. 介護保険制度の施行と住宅政策の課題. 住宅. 2000 ; 49(2) : 8-12

鈴木晃. 専攻課程環境コースー環境系専門職に必要な二つの技術を. 公衆衛生. 2000 ; 64(6) : 438-439

鈴木晃. スペシャリストとジェネラリストをつなぐ保健婦に (住居衛生分野の保健活動を例として). 保健婦雑誌. 2000 ; 56(9) : 720-726

鈴木晃. 住宅改善支援の視点と技術. 住と建築. 2000 ; 473 : 14-19

入江建久. 室内空気環境をめぐる諸問題ーシックハウスシンドロームについてー. 青淵. 2000 ; (612) : 38-41

入江建久. 室内空気汚染とその予防. 保健婦雑誌. 2000 ; 56(6) : 496-503

入江建久. 化学物質汚染研究に思う. 空気清浄. 2000 ; 38(4) : 224

著書

鈴木晃. 住宅政策と社会福祉. 仲村優一, 一番ヶ瀬康子編. 世界の社会福祉. 第7巻 日本. 旬報社, 東京 : 2000 ; 439-450

鈴木晃. ユニバーサルデザインと住宅. 日本住宅会議編. 住宅白書2000 21世紀の扉を開く. ドメス出版, 東京 : 2000 ; 200-202

池田耕一. 室内空気清浄便覧. 室内空気清浄便覧編集委員会委員会編. オーム社, 2000

池田耕一. 室内の空気質 (換気と通風の歴史). 環境工学教科書研究会編. 環境工学教科書. 第2版. 彰国社, 2000 ; 第4章第1節, pp. 130-133

池田耕一, 他. コンタミネーションコントロール用語. 藤井正一編. 日本規格協会, 2000

入江建久. ダイオキシシンと居住環境. 日本住宅会議編. 住宅白書2000 21世紀の扉を開く. ドメス出版, 東京 : 2000 ; 120-123.

入江建久. 空気清浄装置の試験方法. 室内空気清浄便覧編集委員会委員会編. 室内空気清浄便覧. オーム社, 東京 : 2000 ; 247-248, 258-264.

抄録のある学会報告

鈴木晃. “バリアフリー住宅”に関する地域固有の課題ー雪国B町の住宅改善と新築住宅の調査から. 日本建築学会建築計画委員会・第6回ハウスアダプテーション研究会, 東京. 2000. 3 ; 26-29

鈴木晃. 住宅計画の方法とハウスアダプテーション. 日本建築学会建築計画委員会・第6回ハウスアダプテーション研究会, 東京. 2000. 3 ; 63-64

鈴木晃. 住宅改善支援のプロセスとバックアップシステ

ム。2000年度日本建築学会大会建築計画・都市計画・農村計画部門パネルディスカッション(21世紀超高齢社会における住まい・地域・まちづくり), 郡山。2000.9;37-40

若松弘之, 鈴木晃, 松本恭治, 高橋美加, 尾崎米厚. 膠原病患者の住まい方に関する訪問実態調査. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋。2000.10;437

林恭一, 鈴木晃. 住宅設備とロービジョン. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋。2000.10;437

上住津恵, 鈴木晃. 住宅改造の効果. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋。2000.10;437

遠藤由紀子, 鈴木晃. 在宅療養者の居住環境の整備に関する環境衛生監視員の役割について. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋。2000.10;834

滝沢香緒里, 鈴木晃. 横浜市における地域の居住衛生問題に対する多職種の支援について. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋。2000.10;837

光田恵, 宮井克典, 池田耕一, 吉野博. 高齢者施設内の臭気に関する調査. 日本建築学会東海支部研究報告集, 2000;(38):457-460

野崎淳夫, 池田耕一, 松村年郎, 山崎唯史, 吉澤晋. 脱臭機, 空気清浄機, コピー機等による室内オゾン汚染に関する研究(1). 第18回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2000;268-270

金森基, 池田耕一, 吉澤晋, 土屋禎久, 熊谷一清. 吸着特性を考慮したVOC室内濃度予測に関する研究. 第18回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2000;277-278

野崎淳夫, 池田耕一, 飯倉一雄, 坊垣和明, 藤井修二, 吉澤晋. 部材レベルのベイクアウトに関する研究. 第18回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2000;295-297

吉野博, 池田耕一, 野崎淳夫, 天野健太郎. 化学物質過敏症患者住宅における揮発性有機化合物の測定. 日本建築学会2000年度大会, 東北。2000; 学術講演梗概集D-2, 環境工学II:725-726

池田耕一, 朴俊錫. 住宅における化学物質汚染の実態調査・その2パッシブサンプリング法における室温の影響. 日本建築学会2000年度大会, 東北。2000; 学術講演梗概集D-2, 環境工学II:741-742

塩津弥佳, 池田耕一, 吉澤晋. 自由記述による『よい空気』についての意識調査, その2. 日本建築学会2000年度大会, 東北。2000; 学術講演梗概集D-2, 環境工学II:807-808

朴俊錫, 池田耕一. 光触媒による室内化学汚染物質除去・その1, 老人ホームにおける実態調査. 日本建築学会2000年度大会, 東北。2000; 学術講演梗概集D-2, 環境工学II:867-868

野崎淳夫, 池田耕一, 松村年郎. 防蟻・防虫剤による室内空気汚染の実態とメカニズム. 室内環境学会誌。2000;3(2):138-141

塩津弥佳, 池田耕一, 朴俊錫. いわゆるシックハウス問

題の相談についての対応に関する調査, その1保健所職員によるアンケート調査より. 室内環境学会誌。2000;3(2):156-157

上野裕司, 高柳保, 野崎淳夫, 松村年郎, 池田耕一. 社会福祉施設におけるオゾンを利用した設備機器に関する実態調査. 建築物衛生管理技術研究集会, 2000;52-53

光田恵, 吉野博, 池田耕一, 大迫政浩. 高齢者施設における臭気の実態に関する研究. 第13回におい環境学会, 2000;112-114

吉田拓正, 長田泰公, 川口毅, 星山佳治. 幹線道路騒音の健康影響について. 日本音響学会秋季研究発表会, 盛岡。2000.9;学術講演梗概集D-1, 175-176

吉田拓正, 徳山久雄. 道路交通騒音の性状に関する検討. 日本建築学会学大会, 郡山。2000;講演論文集, 653-654

高橋美加, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 西田泰. 乳幼児の熱中症事故からみた車内温度上昇の抑制(フィルムの効果). 第24回人間生活環境系シンポジウム, 2000;211-212

川田葉子, 入江建久, 池田耕一. 寝具からの発塵に関する研究. 第59回日本公衆衛生学会総会, 前橋。2000.10;817

小竿真一郎, 入江建久. 室内プールにおける空中微生物汚染. 日本建築学会2000年度大会, 東北。2000;学術講演梗概集D-2, 環境工学II:725-726.

学術報告書等

池田耕一, 他. ビルの空気質管理検討部会総合報告書. 平成10・11年度厚生科学研究補助金 生活安全総合研究事業 建築物の多様化に対応した新たな維持管理手法の構築に関する研究総合報告書, 2000;421-539

池田耕一, 他. INDOOR AIR '99論文題目. 社団法人日本建築学会環境工学委員会空気環境小委員会居住・運転WG研究資料, 2000

池田耕一. シックハウスに関する研究報告書. 特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会シックハウス研究班報告書, 2000

池田耕一, 他. 日本人の呼吸量について. 国民線量推定のための基礎調査(XXIII), 2000;55-59

池田耕一, 他. 快適な生活空間創造のための動的温熱環境の標準化. 平成11年度新エネルギー・産業技術開発機構研究受託成果報告書, 2000

池田耕一, 他. ウェルフェアテクノシステム研究開発. ウェルフェアテクノシステム研究開発委員会 平成11年度成果報告書, 2000

池田耕一, 他. 室内環境の測定報に関する標準化調査研究. 平成11年度通商産業省工業技術院委託研究成果報告書, 2000

池田耕一, 他. 換気性能評価小委員会平成11年度活動報告書. 社団法人空気調和衛生工学会, 換気性能評価小委員会報告書, 2000

池田耕一, 他. 建築物における汚染物質発生量の評価手法に関する研究. 建設省官民連帯共同研究「健康的な居住

環境形成技術の開発」委員会平成10年度概要報告書, 2000 ; B課題 : 40-79

池田耕一, 他. 調湿・脱臭・吸着作用を持つゼオライトの各種建築用途への適用方法に関する研究. 文部省科学研究費補助金基盤研究B (1) 平成11年度研究報告書, 2000

池田耕一, 他. 室内環境の測定法に関する標準化調査研究成果報告書. 平成11年度通商産業省工業技術院委託研究成果報告書, 2000

池田耕一, 他. 社会福祉施設におけるオゾンを利用した設備機器に関する実態調査. 平成11年度厚生科学研究補助金(厚生科学特別研究事業)社会福祉施設における衛生環境に関する実態調査報告書, 2000 ; 第3編 : 84-199

吉田拓正. 騒音影響に関する調査研究報告書, 騒音制御工学会, 2000. 7

吉田拓正. 騒音振動の健康影響に関する調査報告書, 東京都, 2000. 3

Proceedings with abstracts

Ikeda K, Park J. **A database on formaldehyde concentration in residences.** Proceeding for Healthy Buildings. 2000 ; 1413-418

Park J, Ikeda K. **A field experiment on removal of chemical pollutants using TiO₂ photocatalyst.** Proceeding for Healthy Buildings 2000. 2000 ; 283-88

Shaughnessy R, Ikeda K. **Performance of portable air cleaners.** Workshop Summary of Healthy Buildings 2000. 2000 ; 111-114

Ikeda K. **Present status and counter measures for the indoor air pollution caused by chemicals emitted from building materials of Japanese houses.** Proceedings for the 17th Seminar on Air Cleaning Technology. 2000 ; 49-60

Akabayasi S, Sakaguchi J, Ikeda K. **Field survey of indoor air chemical pollution for detached house in Niigata Prefecture, Japan.** Proceedings for Japan-Denmark Workshop on Indoor Air Chemical Pollution and Indoor Environment, J-D 2000. 2000 ; 37-44

Ikeda K, Nozaki A, Matsumura T. **Investigations on the safety of ozone deodorizers installed in old age homes.** Proceedings for the Third International Conference on Cold Climate Heating, Ventilating and Air-Conditioning. 2000; 439-444

Iwata T, Ozaki J, Takahashi M, Kimura Ken-ichi. **Field investigation on concentration of volatile organohalogen compounds and risk assessment.** Proceeding for Healthy Buildings, 2000

水道工学部

Department of Water Supply Engineering

原 著

菅原繁, 胡建英, 国包章一, 眞柄泰基. カオリン人工濁水の凝集沈澱に与えるカルボン酸の影響. 水道協会雑誌. 2000 ; 69(10) : 2-10

栗原茂, 御園生貞雄, 国包章一, 林広宣. 給水装置材料からの鉛等の溶出とその影響因子. きゅうすい工事. 2000 ; 1(3) : 39-41

井上嘉則, 酒井徹志, 沢田恵枝, 野島義教, 浅見真理, 相澤貴子, 眞柄泰基. LC-ICP-MS法による環境水中ヒ素の形態別定量及び既存定量法との比較研究. 水道協会雑誌. 2000 ; 69(3) : 24-30

相澤貴子, 浅見真理. 給水過程における酸化処理の安全性評価—光触媒処理による有機物の変化と副生成物の生成—. きゅうすい工事. 2000 ; 1(2) : 21-27

船水尚行, 伊藤雅喜, 竹田静雄, 山口太秀, 川村幸生, 眞柄泰基, 藤原正弘. 低濃度濁度計の基礎的性能評価に関する研究. 水道協会雑誌. 2000 ; 69(9) : 26-38

伊藤雅喜, 国包章一, 鴻野卓, 品田司. 小型ナノろ過膜モジュールによる高度浄水処理実験. 水道協会雑誌. 2000 ; 69(12) : 27-40

総 説

北澤弘美, 国包章一. 水道水の微粒子計測. ぶんせき.

2000 ; (2) : 80-85

国包章一. 浄水技術の革新と高効率化を目指す官学民共同の技術開発研究. 用水と廃水. 2000 ; 42(4) : 23-27

国包章一. 公衆衛生院からの発信・10特定研修. 公衆衛生. 2000 ; 64(10) : 752-753

荒井真一, 国包章一. 日米における水道水質管理の現状と今後の方向. 水道協会雑誌. 2000 ; 69(6) : 87-103

国包章一. 船舶用飲料水の残留塩素濃度. 日本医事新報. 2000 ; (3997) : 98-99

相澤貴子. 水質事故等に対する水道水の安全性の向上と連続水質監視システムの構築. 産業と環境. 2000 ; 29(9) : 36-39

著 書

秋葉道宏, 国包章一. 水源生態系の保全と管理. 須藤隆一編. 環境修復のための生態工学, 講談社サイエンティフィック, 2000 ; 91-111

国包章一. 水道分野の援助を計画, 実施するにあたり, わが国の「水道理念」と途上国の「水道観」とのギャップをどう整理したらよいですか, ほか. 国際協力事業団編. 眞柄泰基監修, 国包章一, 他 著. 開発途上国の水道整備Q&A—水道分野の国際協力—. 国際協力出版会, 2000 ; 11-13, 35

相澤貴子. 水道における非イオン界面活性剤の問題. 水環境学会. 水環境と洗剤研究委員会編. 非イオン界面活性剤と水環境. 技法堂出版, 東京. 2000 ; 87-96

相澤貴子. 非イオン界面活性剤の分析法の実際. 水環境学会. 水環境と洗剤研究委員会編. 非イオン界面活性剤と水環境. 技法堂出版, 東京. 2000 ; 144-150

抄録のある学会報告

瀬川一弘, 秋葉道宏, 国包章一. 凝集沈澱による藻類由来消毒副生成物前駆物質の除去特性. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 94-95

高橋和孝, 谷中正直, 国包章一. 浄水処理における藻類数と濁度及び微粒子数の関係. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 96-97

高橋吉包, 谷口元, 国包章一. 凝集沈澱処理における *Microcystis*, *Cyclotella* の除去特性. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 98-99

宮ノ下友明, 蒲谷秀彦, 国包章一. 藻類の種類と凝集沈澱処理が高速ろ過に及ぼす影響. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 136-137

山口達也, 栗原茂, 林広宣, 国包章一. 給水装置材料からの鉛等の溶出とその影響因子 (I). 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 428-429

林広宣, 国包章一, 栗原茂. 給水装置材料からの鉛等の溶出とその水質因子 (II). 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 430-431

大原憲司, 三浦健, 湯川敦司, 田口健二, 国包章一. 水道水源における有害化学物質等監視情報ネットワークの構築. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 612-613

森一晃. 給水装置分野における技術的課題について. 第22回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム, 京都. 2000 ; 14(3) : 190-192

伊藤雅喜. 水道における膜ろ過技術. ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2000, 東京. 2000 ; 71-1 - 71-7

岩本卓治, 雨宮潤治, 浅見真理, 相澤貴子. ESRを用いた水系光触媒の評価. 日本水環境学会年会, 京都. 2000. 3

伊藤安紀, 守田康彦, 浅見真理, 相澤貴子. LC/MSによる非イオン界面活性剤及び生分解生成物の一斉分析法の検討. 第34回日本水環境学会年会, 京都. 2000. 3

浅見真理, 岩本卓治, 相澤貴子. 光触媒処理による大腸菌の不活化効果とATP法による検出. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5

守田康彦, 相澤貴子, 伊藤安紀, 高橋桃恵, 浅見真理. 非イオン界面活性剤の濁質への吸着性と凝集沈澱処理性に関する研究. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5

関口益男, 浅見真理, 相澤貴子. イオンクロマトグラフ質量分析法 (IC/MS) による親水性消毒副生成物の測定. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5

相澤貴子, 浅見真理, 守田康彦, 伊藤安紀. 非イオン界面活性剤の水道水源における検出実態と浄水処理による除去性. 水環境シンポジウム, 京都. 2000. 9

伊藤安紀, 水越昭博, 高橋桃恵, 守田康彦, 浅見真理, 相澤貴子. 非イオン界面活性剤及び生物分解生成物のLC/MSによる迅速一斉定量. 水環境シンポジウム, 京都. 2000. 9

岩本卓治, 浅見真理, 相澤貴子. 臭素酸イオンの還元により発生するラジカルの測定. オゾン研究発表会, 岐阜. 2000. 11

岩本卓治, 浅見真理, 相澤貴子. 光触媒による大腸菌の不活化—ATP法による評価—. 光触媒シンポジウム, 東京. 2000. 12

胡建英, 大久保慎二, 相澤貴子. フェノール類の塩素処理分解物のエストロゲン様作用の評価. 第34回日本水環境学会年会, 京都. 2000. 3 ; 573

大久保慎二, 相澤貴子, 国包章一, 胡建英. ビスフェノールAの塩素処理によるエストロゲン様作用への影響及び副生成物の挙動. 第51回全国水道研究発表会, 苫小牧. 2000. 5 ; 610-611

相澤貴子, 胡建英, 大久保慎二, 国包章一. 構造活性相関によるフェノール化合物のエストロゲン様活性のモデル化. 日本内分泌攪乱化学物質学会第3回研究発表会, 横浜. 2000 ; 186

大久保慎二, 相澤貴子, 胡建英, 国包章一. ビスフェノールAの塩素処理で生成する副生成物の構造解析とそのエストロゲン様活性. 日本内分泌攪乱化学物質学会. 第3回研究発表会, 横浜, 2000 ; 187

学術報告書等

相澤貴子, 浅見真理. 酸化処理副生成物の制御を考慮した浄水システムに関する研究報告書. 日本水道協会, (委員長, 眞柄泰基) (平成9~11年度). 2000. 3

相澤貴子, 浅見真理. 平成11年度厚生省基準化検討費報告書 ハロ酢酸の低減化技術に関する報告書. 2000. 3

相澤貴子, 浅見真理. 界面活性剤の水道水源水域の利水過程における挙動と適正管理に関する検討. 環境庁環境保全成果集, 2000. 3

国包章一, 相澤貴子. 水道における化学物質の毒性, 挙動及び低減化に関する研究 (主任研究者, 眞柄泰基) 平成11年度厚生科学研究費 報告書. 2000

相澤貴子, 浅見真理. 水系環境汚染物質の毒性評価とリスク削減最適化に関する交流育成. 科学技術庁振興調整費国際交流育成事業報告書, 2000. 10

国包章一, 相澤貴子, 他. 水道水源における有害化学物質等監視情報ネットワーク整備事業報告書. (委員長, 国包章一). 水道技術研究センター, 2000. 3

相澤貴子, 他. 界面活性剤の水環境に及ぼす影響に関する調査. (委員長, 須藤隆一) 平成11年度環境庁委託業務結果報告書, 水質基準検討調査. 日本水環境学会, 2000

国包章一, 相澤貴子, 他. 内分泌かく乱化学物質の水道水中の挙動と対策に関する研究. (主任研究者, 国包章一). 平成11年度厚生科学研究費補助金 生活安全総合研究事業報告書, 2000. 3

国包章一, 他. 水道水を介して感染するクリプトスポリジウム及び類似の原虫性疾患の監視と制御に関する研究. (主任研究者, 国包章一). 平成11年度厚生科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業 報告, 2000. 3

相澤貴子, 他. 化学物質の人に対する暴露評価に関する調査検討報告書. (座長 中杉修身). 平成10年度環境庁請

負業務結果報告書, 財団法人日本環境衛生センター, 1999. 3

相澤貴子, 他. 平成10年度厚生省委託費による未規制化学物質基準化検討調査委員会(ダイオキシン)調査報告書(委員長, 眞柄泰基). 社団法人日本水道協会, 1999. 3

Originals

Hu J, Morita T, Magara Y, Aizawa T. **Evaluation of reactivity of pesticides with ozone in water using the energies of frontier molecular orbitals.** *Water Research.* 2000 ; **34**(8) : 2215-2222

Magara Y, Aizawa T, Ando M, Seki Y., Matsumura T. **Dioxins and PCBs in Japanes tap water.** 20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs Aug. 2000 ; **46** : 463-467

Aizawa T, Hu J, Okubo S, Kunikane S. **Liquid chromatography/mass spectoscopy and quantum chemical modeling analysis of aqueous chlorinated bisphenol A. An evaluation on estrogen receptor binding affinity of byproducts.** 20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs. Aug. 2000 ; **49** : 404-407

Books

Kunikane S. **Countermeasures for conservation of drinking water source :** *in* "Water Pollution Control Policy and Management : The Japanese Experience" (ed. Okada M. and Peterson SA). Gyousei. Tokyo : 2000 ; 113-119

Asami M. **Estimation and control of health risk due to drinking water quality: Disinfection and disinfection by-products:** *in* "Probabilistic Safety Assessment and Management Vol.1" (ed. Kondo S and Furuta K). Universal Academy Press. Tokyo: 2000

Proceedings with abstracts

Hashimoto A, Hirata T, Kunikane S. **Occurrence of Cryptosporidium oocysts and Giardia cysts in a conventional water purification plant.** 1st World Water

Congress of the International Water Association-The 10th Health-Related Water Microbiology Symposium. Paris. Jul. 2000 ; HRMP-B50

Itoh M, Kunikane S, Magara Y. **Evaluation of nanofiltration for disinfection by-products control in drinking water treatment.** The Conference on Membrane in Drinking and Industrial Water Production. Paris. Oct. 2000 ; **2** : 41-52.

Asami M, Aizawa T, Kunikane S, Magara Y. **Factors affected on formation of haloacetic acids in chlorination of organic substances.** 1st World Water Congress of the IWA. Paris. Jul. 2000 ; L127

Asami M, Aizawa T, Kunikane S, Magara Y. **Assessment and control of health risk atributable to drinking water.** Korea-Japan symposium. Toyohashi. Sep. 2000

Asami M. **Estimation and control of health risk due to drinking water quality: disinfection and disinfection by-products.** PSAM5, Probabilistic Safety Assessment and Management. Osaka. 2000

Aizawa T. **The situation of water resource quality and amendment of the drinking water quality standard in Japan.** The Third China-Japan Symposium on Water Environment. 2000; 5: 1-10

Morita Y, Aizawa T, Moniwa T, Abe A. **Study of adosorption and coagulation-sedimentation treatment of nonionic surfactants in raw water.** 1st World Water Congress of the IWA. Paris. Jul. 2000

Hu J, Aizawa T, Kunikane S. **Quantitative structure-activity relationships for estrogen receptor binding affinity of phenolic compound.** 1st World Water Congress of the IWA. Paris. Jul. 2000

廃棄物工学部

Department of Waste Management Engineering

原著

後藤純雄, 遠藤治, 松本寛, 酒井茂克, 芥川智子, 麻野間正晴, 平山晃久, 渡辺徹志, 世良暢之, 塚谷裕子, 多田敦子, 若林敬二. 大気浮遊粒子, 河川水および土砂の変異原性モニタリング. 環境変異原研究. 2000 ; **22**(2) : 45-54

渡辺征夫, 遠藤治, 後藤純雄, 田辺潔, 溝口次夫, 松下秀鶴. β 線吸収法とハイボリュームエアサンプラー法による

都市大気中の浮遊粉塵の測定値の比較—東京都の2監視局での10年間にわたる間欠測定調査より—. 環境化学. 2000 ; **10**(3) : 557-572

森康明, 節田節子, 高木敬彦, 光崎研一, 村上和雄, 後藤純雄, 遠藤治, 小野寺祐夫. 河川水のAmes変異原性試験におけるディスク型固相吸着剤の適用. 環境化学. 2000 ; **10**(3) : 573-579

森康明, 伏脇裕一, 節田節子, 後藤純雄, 小野寺祐夫, 松下秀鶴. 酸化チタン光触媒空気清浄機による室内空気中の揮発性有機化合物の除去効果. 室内環境学会誌. 2000 ; 3(1) : 13-21

池口孝, 辻吉隆, 田中勝. 全国の病院における廃棄物の院内焼却処理の実態. 医療廃棄物研究. 2000 ; 13 : 55-76

小野芳朗, 加納佐江子, 青井健太郎, 山田正人, 今岡務, 河原長美. 廃棄物試料のエストロジェン様のMCF7細胞増殖活性・遺伝毒性評価. 廃棄物学会論文誌. 2000 ; 11(3) : 126-134

総 説

井上雄三. 有機性廃棄物のコンポストの現状と課題. 2000 ; 29(3)

井上雄三. 安定型最終処分場における硫化水素の原因と対策—廃棄物最終処分場における硫化水素. 対策検討会報告書から—INDUST. 2000. 12 ; NO. 158

井上雄三. 座談会「生ごみの処理・再資源化技術」. PETROTECH. 2000 ; 23(5)

池口孝, 辻吉隆. 欧州における医療廃棄物処理の状況. 医療廃棄物研究. 2000 ; 12 : 133-146

大迫政浩, 小野雄策, 谷川昇, 山田正人. 廃棄物試験・検査法の現状と将来展望. 廃棄物学会誌. 2000 ; 11(5) : 396-404

大迫政浩, 金谷珍. 最終処分場における難分解性有機汚染物質の実態. 環境技術. 2000 ; 29 : 927-933

大迫政浩. 生ごみ処理・リサイクルの現状と課題. 空気調和衛生工学. 2000 ; 74 : 659-665

山田正人. 欧州における水環境管理戦略. 水環境学会誌. 2000 ; No. 7 : 18-23

小野芳朗, 山田正人, 尾崎夏栄, 宮原康明, 高橋順子. 内分泌攪乱性が疑われる化学物質の危険度評価. 廃棄物学会誌別冊. 2000 ; 11(3) : 232-237

著 書

井上雄三 (分担執筆). ごみ埋立地の設計施工ハンドブック—シャ水工技術—. 国際ジオシンセティックス学会日本支部ジオメンブレン技術委員会編. オーム社, 2000

宮田悟, 三島慎一郎, 牛尾進吾, 田中勝, 井上雄三. 農業を軸とした有機性資源の循環利用の展望. 農業環境研究叢書 第13号 農林水産省農業環境技術研究所編. 2000. 12

松下秀鶴, 後藤純雄, 根津豊彦, 松村年郎, 雨谷敬史, 新田裕史, 房家正博, 松本寛. 第4章 SPMとPM2.5の意義と関連—有害成分と粒径分布を中心に—. 入門 大気中微小粒子の環境・健康影響…SPM わが国の現状と諸外国の取組み状況… 横山栄二, 内山巖雄 編集. (財)日本環境衛生センター, 2000 ; 42 - 55

池口孝 (分担執筆). 産業リサイクル事典 (近藤次郎編). 産業調査会, 東京. 2000

池口孝 (分担執筆). 廃棄物処分・環境安全用語辞典. 丸善, 東京. 2000

大迫政浩 (分担執筆). 排出事業者責任と適正処理 (72). (社)表面技術協会表面技術環境部会編. 表面技術環境ハンドブック2000年度版. 2000

大迫政浩 (分担執筆). 第7編廃棄物の無害化処理と最終処分・3化学処理. 廃棄物・リサイクル事典. 産業調査会. 2000 ; 596-603

大迫政浩 (分担執筆). 有機性廃棄物処理過程から発生する臭気の対策. 芝崎勲監修. 有害微生物管理体系. 2000 ; 797-805

大迫政浩 (分担執筆). 廃棄物最終処分場浸出水中微量有害物質のリスク管理方策. 廃棄物埋立浸出水の高度処理. エヌ・ティー・エス, 2000 ; 3-51

抄録のある学会報告

井上雄三, 田中勝, 秋田季輝, 吉光寺徳子, 齋藤利晃, 田中和博. 有機性廃棄物からの乳酸の回収技術に関する基礎的研究. 第11回廃棄物研究発表会, 2000. 11 ; 331-333

今岡務, 野村典広, 露無顕, 家藤治幸, 井上雄三. 加圧加熱処理と酵素処理を併用した可溶化による生物処理汚泥の資源化. 第11回廃棄物研究発表会, 2000. 11 ; 343-345

露無顕, 今岡務, 野村典広, 家藤治幸, 井上雄三. 有用酵母を用いた生物処理汚泥の資源化. 土木学会第55回年次学術講演会, 2000 ; 講演概要集第7部. VII - 010

井上雄三, 大迫政浩, 駒形恭美. 加熱処理MAPによるアンモニアの吸収特性. 第13回におい環境学会, 2000. 6

小野寺祐夫, 前田恒昭, 後藤純雄. 不完全燃焼排出粒子中の化学汚染物質の連続モニタリング手法に関する研究. 「有害性廃棄物の分析手法の総合化・簡素化に関する研究」セミナー, 財団法人廃棄物研究財団, 東京. 2000. 6 ; 133-143

松下秀鶴, 雨谷敬史, 後藤純雄, 松本寛, 根津豊彦. 東京・川崎・札幌における大気浮遊粉塵中多環芳香族炭化水素の粒径分布. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000. 9 ; 287

内山巖雄, 後藤純雄, 坂本和彦, 溝口次夫. 重慶市におけるバイオブリケット使用による健康影響の改善に関する調査. 第41回大気環境学会年会, 浦和. 2000. 9 ; 411

中島大輔, 中井淳子, 後藤純雄, 四宮貴久, 池北雅彦. タバコ副流煙から調製した多環芳香族画分によるアポトーシス誘導効果. 第73回日本生化学会, 横浜. 2000. 10 ; 72(8) : 955

根本篤史, 矢島博文, 角田勝則, 後藤純雄, 海賀信好, 中村雅英, 大久保哲雄, 石井忠浩. SEC-MALLS法によるフルボ酸の分子量特性評価とそれに及ぼすNa₂SO₄濃度効果に関する研究. 日本腐植物質研究会第16回講演会, 藤沢. 2000. 11 ; 23-24

大久保忠利, 宮岡友則, Madhusree B, 遠藤治, 後藤純雄, 峯木茂, 林哲仁. 味噌と次亜鉛素酸ナトリウムとの反応性生物の変異原性及びその反応条件の検討. 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台, 2000. 11 ; 105

後藤純雄, 遠藤治, 松本寛, 麻野間正晴, 平山晃久, 渡

辺徹志, 世良暢之, 若林敬二. **日本各地における大気浮遊粉じん河川水および土砂試料の変異原性 (III)**. 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台. 2000. 11; 108

遠藤治, 小谷野道子, 後藤純雄, 雨谷敬史, 松下秀鶴. **低流量小型カスケードインパクトで採取された空気浮遊粒子の変異原性**. 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台. 2000. 1; 109

包航, 任恵峰, 遠藤英明, 後藤純雄, 林哲仁. **加熱した野菜汁の抗変異原性**. 日本環境変異原学会第29回大会, 仙台. 2000. 11; 113

森康明, 節田節子, 後藤純雄, 小野寺祐夫. **竣工時からの室内VOCs濃度の推移**. 平成12年度室内環境学会総会, 東京. 2000. 12; 3(2): 82-83

浜田寛之, 小谷野道子, 後藤純雄, 遠藤治, 高木敬彦, 矢島博文, 石井忠浩. **室内及び屋外空气中浮遊粒子の変異原性とPAH濃度 (II)**. 平成12年度室内環境学会総会, 東京. 2000. 12; 3(2): 68-69

池口孝, 米田健一, 上原初男. **産業廃棄物の焼却処理に伴うダイオキシンの生成に関する研究**. 第21回全国都市清掃研究発表会, 神戸. 2000. 2

池口孝, 田中勝. **家庭用焼却炉からのダイオキシン類排出調査**. 第21回全国都市清掃研究発表会, 神戸. 2000. 2

鈴木光夫, 坪井晴人, 池口孝, 田中勝. **ごみ焼却施設から排出されたダイオキシン類の大気拡散シミュレーション**. 第21回全国都市清掃研究発表会, 神戸. 2000. 2

渡辺征夫, 山田正人, 大場広行, 大迫政浩, 井上雄三, 池口孝, 田中勝, 谷川昇. **都市ごみ埋立地で発生するメタンの計測とその評価**. 第21回全国都市清掃研究発表会, 神戸. 2000. 2

渡辺征夫, 池口孝, 西村良子, 寺島千晶, 山崎一彦. **凝縮水法による焼却炉排ガス中クロロフェノール類の連続分析のための基礎検討**. Separation Sciences 2000, 東京. 2000. 6

渡辺征夫, 池口孝, 工藤雅子, 泉克幸, 西村良子, 寺島千晶, 山崎一彦. **焼却炉排ガス中のクロロフェノール類の凝縮水型・全自動連続分析計の試作と現地試験**. 第11回廃棄物学会研究発表会, 札幌. 2000. 11; 664-666

大迫政浩, 金容珍, 醍醐ふみ. **難分解性有機汚染物質の挙動に与える溶存性色素成分の影響**. 第11回廃棄物学会研究発表会, 2000; 1052-1054

大迫政浩, 高木陽子, 坂木純子, 渡邊真澄, 大岩俊雄. **コプラナーPCB測定法の環境分野への適用性の検討**. 第21回全国都市清掃研究発表会, 2000; 46-48

栗原和夫, 大迫政浩, 中杉修身. **廃家電製品及び廃自動車からのフロン類の経年的・面的な廃棄量推計**. 第11回廃棄物学会研究発表会, 2000; 45-47

小澤段, 大迫政浩, 田中和博. **建設汚泥の処理・処分及び再資源化システムに関する比較評価**. 第11回廃棄物学会研究発表会, 2000; 159-161

田中勝, 大迫政浩, 藤井崇. **都市ごみ処理・リサイクルに関する住民意識と情報提供**. 第11回廃棄物学会研究発表

会, 2000; 60-62

松井康弘, 山田正人, 井上雄三, 河村清史, 田中勝. **し尿処理施設のLCAによる評価**. 第11回廃棄物学会研究発表会, 2000; 153-155

山田正人, 渡辺征夫, 和田実花, 大森佐與子, 小澤段, 斎藤聡, 藤井崇. **容器材のリサイクル戦略による温室効果ガス排出量の評価**. 第11回廃棄物学会研究発表会, 2000; 198-200

学術報告書等

田中勝, 井上雄三, 他. **循環型社会に対応した有機性廃棄物の資源化処理システムの開発研究要旨集 (平成11年度)**. (財) 廃棄物研究財団. 2000. 3

渡辺征夫, 後藤純雄. **C-3 東アジアにおける酸性雨原因物質排出制御手法の開発と環境への影響評価に関する研究 (1) 酸性雨原因物質の排出制御手法の開発に関する研究 (3) 民生用燃焼器具からの酸性雨原因物質の排出制御技術の実用化に関する研究**. (研究代表者: 渡辺征夫) 平成9~11年度環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書, 2000; 41-56

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄, 他. **C-3 東アジアにおける酸性雨原因物質排出制御手法の開発と環境への影響評価に関する研究 (2) 酸性雨原因物質排出制御の実施に伴う環境影響評価に関する研究 (1) 酸性雨原因物質排出制御の実用化と健康影響・評価に関する研究**. (研究代表者: 内山巖雄) 平成9~11年度環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書, 2000; 73-96

渡辺征夫, 後藤純雄, 田中勝, 山田正人, 池口孝, 大迫政浩. **B-53 都市圏の資源・エネルギー循環と都市構造に係わる温暖化防止対策技術に関する研究 (2) 廃棄物リサイクルにともなう温室効果ガスの排出制御技術に関する研究**. (研究代表者: 渡辺征夫) 平成9~11年度環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書, 2000; 39-48

後藤純雄, 遠藤治, 他. **生活環境中の汚染物質の存在状況の把握に関する研究報告書 VI. 粒径別に採取した大気浮遊粉じん及び室内空気浮遊粒子の変異原性測定**. 1999年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 2000; 197-209

後藤純雄, 他. **4-5 不完全燃焼排出粒子中の化学汚染物質の連続モニタリング手法に関する研究**. (委員長: 森田昌敏) 有害性廃棄物の分析手法の総合化・簡素化に関する研究 平成11年度報告書 (総合報告書), 財団法人廃棄物研究財団, 2000; 187-194

後藤純雄. **III. たばこ製品における有害成分の発生に関する研究**. (主任研究者: 池田俊也) 厚生科学特別研究事業総合的たばこ対策の推進に関する研究 平成11年度総括研究報告書, 2000. 3; 69-72,

後藤純雄, 渡辺征夫, 遠藤治, 町井研士. **空気中の微量発癌関連物質の人体曝露測定法および曝露要因に関する研究一特に発癌プロモーターを中心として一**. (研究代表者: 後藤純雄) 平成11年度環境保全成果集, 2000; 14-1~14-31

後藤純雄. タバコ煙及びタバコ葉中のダイオキシン類の定量法の開発. (主任研究者: 若林敬二) タバコ煙及び加熱食品中のダイオキシン類の定量及びその評価 平成11年度厚生科学研究費補助金生活安全総括研究事業報告, 2000; 1-8

後藤純雄, 他. III-1 生活環境中の汚染物質の存在状況の把握に関する研究 III-1 (1) 生活環境空気中の粒子状汚染物質等のキャラクタリゼーションと汚染実態の把握に関する研究. (代表者: 松下秀鶴) 平成11年度大気汚染による健康影響に関する総合的研究成果集, 公健協会, 2000; 147 - 157

福原守雄, 後藤純雄, 他. 生活環境中の発がん物質のリスク評価と低減化に関する研究. (主任研究者: 福原守雄) 平成11年度厚生科学研究補助金 (がん克服事業) 総括研究報告書, 2000; 1-39

福原守雄, 後藤純雄, 他. 生活環境中の発がん物質のリスク評価と低減化に関する研究. (主任研究者: 福原守雄) 平成9~11年度厚生科学研究補助金 (がん克服事業) 総合研究報告書, 2000; 1-11

田中勝, 池口孝, 山田正人, 渡辺征夫, 後藤純雄, 遠藤治. 廃棄物の熱処理に伴う未規制有害物質の制御・管理に関する研究. (研究代表者: 田中勝) 平成11年度環境保全成果集. 2000

池口孝, 田中勝. 病院付設焼却炉の機能評価と運転管理技術の高度化に関する研究. (研究代表者: 池口孝) 平成11年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業報告書 (H11-生活-035), 2000

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫. B-16 廃棄物処理分野におけるメタン・亜酸化窒素の発生抑制対策技術に関する研究. (研究代表者: 田中勝) 地球温暖化抑制のためのCH₄, N₂Oの対策技術開発と評価に関する研究 平成10年度~平成11年度 環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書, 2000; 45-54

渡辺征夫, 後藤純雄, 田中勝, 山田正人, 池口孝, 大迫政浩. 廃棄物リサイクルにともなう温室効果ガスの排出抑制技術に関する研究. (研究代表者: 渡辺征夫) 都市圏の資源・エネルギー循環と都市構造に係わる温暖化防止対策技術に関する研究 平成9年度~11年度. 環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書, 2000; 39-48

山田正人. 廃棄物処理分野における総合的毒性評価手法の確立および自動簡易試験法の開発. 廃棄物ライフサイクルにおける有害化学物質のリスクアセスメント手法の開発. 平成11年度厚生科学研究補助金 生活安全総合研究事業 研究成果報告書, 2000; 19-25

Originals

Watanabe T, Goto S, Matsumoto Y, Asanoma M, Hirayama T, Sera N, Takahashi Y, Endo O, Sakai S, Wakabayashi K. **Mutagenic activity of surface soil and quantification of 1,3-, 1,6-, and 1,8-Dinitropyrene isomers in soil in Japan.** *Chemical Research in Toxicology*. 2000; **13**(4): 281-286

Fukai F, Kamiya S, Ohwaki T, Goto S, Akiyama K, Goto T, Katayama T. **The fibronectin-derived anti-adhesive peptide III 14-2 suppresses adhesion and apoptosis of leukemic cell lines through down-regulation of protein-tyrosine phosphorylation.** *Cellular and Molecular Biology*. 2000; **46**(1): 145-152

Endo O, Koyano M, Mineki S, Goto S, Tanabe K, Yajima H, Ishii T, Matsushita H. **Estimation of indoor air PAH concentration increases by cigarette, incense - stick, and mosquito - repellent - incense smoke.** *Polycyclic Aromatic Compounds*. 2000; **21**: 261-272

Mineki S, Yajima H, Goto S, Nakazato K, Ishii T. **Properties of bacterial α -amylase immobilized on alternating acrylonitrile-butadiene copolymer by amidination reaction.** *Material Technology*. 2000; **18**(10): 393-399

Books

Goto S, et al. **Environmental health criteria 214, Human exposure assessment.** International Programme on Chemical Safety, World Health

Organization, 2000

Watanabe I, Yamada M, Osako M, Ikeguchi T. **Methane fraction in carbon components in biogas from waste disposal sites in Japan and Southeast Asia:** in "Non-CO₂ greenhouse gases: Scientific understanding, control and implementation" (ed. J van Ham et al.). Elsevier Science: 2000; 121-126

Proceedings with abstracts

Goto S, Endo O, Oda M, Shiraishi F, Imaeda T, Asami O, Hirai M. **Simple, rapid and sensitive method of detection of genotoxicity of environmental samples employing umu-lux microplate-luminescence system.** 2000 Environmental Mutagen Society Annual Meeting. New Orleans, LA, Apr. 2000; 26

Onodera S, Oda K, Goto S, Nakanishi A. **Thin-layer chromatographic fractionation of the mutagenic xad regin extracts of drinking water.** *Archives of complex environmental studies*, Finland, 2000; **12**(1-2): 19

Goto S, Ohkubo T, Endo O, Hayashi T, Madhusree B, Mori Y, Fushiwaki Y, Onodera S. **Mutagenicity of reaction products of sodium hypochlorite and soybean paste (Miso).** *Archives of complex environmental studies*, Finland, 2000; **12**(1-2): 19

Mineki S, Goto S, Endo O, Sun C, Takagi Y, Kohzaki K, Onodera S. **Mutagenicity and PAH concentration of soil collected from urban area of Tokyo.** *Archives of complex environmental studies*, Finland, 2000; **12**(1-2): 20

Tian H, Fukuhara M, Goto S, Miyazawa H. **Analysis of DNA adducts formation after exposure to 1,4-dichlorobenzene by 32P-postlabeling technique.** International Symposium on Chaos and Order in Chemistry. Nara. Mar. 2000 ; 34

Ikeguchi T, Tanaka M. **Dioxins emission from an open-burning-like waste incineration: small incinerators for household use.** 20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPs. Monterey, USA. Aug. 2000

Yoneda K, Yagi Y, Ikeguchi T, Tamade Y, Omori K. **Behavior of dioxins and precursors in industrial waste incineration.** 20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPs. Monterey, USA. Aug. 2000

Suzuki M, Ikeguchi T, Tsuboi H, Tanaka M. **Simulation of atmospheric diffusion of dioxins from municipal waste incineration plants.** 20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPs. Monterey, USA. Aug. 2000

Tamade Y, Ikeguchi T, Yagi Y, Yoneda K, Omori K. **Generation of dioxins from waste plastics combustion in fluidized bed incinerator.** 20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPs. Monterey, USA. Aug. 2000

Watanabe I, Yamada M, Osako M, Inoue Y, Ikeguchi T, Tanaka M, Ohba H, Tanigawa N, Matsuzawa Y. **Techniques for estimate of methane emission from waste disposal sites.** Asia-Pacific Landfill Symposium: APJAS. Fukuoka 2000. Oct. 2000

Ikeguchi T, Tanaka M. **Dioxins emission from open burning of waste and its impact on the environment.** The fifth National Symposium on Environmental Technology and Management; Green Productivity and Sustainable Technology for Environmental Control. Chiang Mai. Nov.2000

Osako M. **A study on behavior of persistent organic pollutants in the landfill site with municipal solid waste incineration residue.** Hanashima M.(ed.): Modern Landfill Technology and Management, JSWME(2000). 2000 ; 397-403

Osako M, Ozawa D, Matsui Y, Tanaka M, Saito T, Tanaka K. **Application of LCA to construction sludge disposal system.** The Fourth International Conference on EcoBalance. 2000 ; 321-324

Kim Y, Osako M. **A study on the appearance of persistent organic pollutants(POPs) in leachate treatment process.** The 11th Annual Conference of the Japan Society of Waste Management Experts. 2000 ; 1317-1320

Watanabe I, Yamada M. **Proposed revision to the framework of inventories for the Waste Sector in IPCC's Good Practice Guidance.** The IGES / NIES Workshop on GHG Inventories for Asia-Pacific Region. Shonan Villedge. Mar. 2000 ; 280-289

Yamada M, Kinoshita N, Inoue Y, Tanaka M. **Standardization of fish micronucleus test for leachate monitoring.** The 2000 Annual Conference of the Korea Solid Waste Engineering Society. 2000 ; (2) : 49-52

附属図書館 Library

原著

山岡和枝, 丹後俊郎, 渡辺満利子, 横塚昌子. **糖尿病の栄養教育のための半定量食物摂取頻度調査票 (FFQW65) の妥当性と再現性の検討.** 日本公衛誌. 2000 ; 47 : 230-244

総説

丹後俊郎. **良質の根拠を生む randomization の本質 — 科学研究者としてのセンサー.** 公衆衛生研究. 2000 ; 49 : 308-312

著書

丹後俊郎. **統計モデル入門.** 医学統計シリーズNo. 2. 朝倉書店. 2000

丹後俊郎 (分担執筆). **基準範囲の推定.** 日本臨床病理学会臨床検査情報学専門部会編. 臨床検査診断学. 2000 ; 51-67

抄録のある学会報告

丹後俊郎. **対応のある比率の差に関する推測.** 日本計量生物学会・応用統計学会2000年度合同年次大会, 2000. 5 ; 127-130

西川正子, 丹後俊郎. **区間打ち切りデータに対する Kaplan-Meier 推定量に関する検討.** 第68回日本統計学会, 札幌. 2000. 7 ; 437-438

丹後俊郎. **ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン類等の環境汚染に起因する健康影響の評価方法.** 第68回日本統計学会, 札幌. 2000 7 ; 259-260

学術報告書等

丹後俊郎. **人口動態統計指標のベイズ推定と地域集積性の評価に関する研究.** (主任研究者: 丹後俊郎). 平成11年度厚生科学研究費補助金統計情報高度利用総合研究事業報告書, 2000 ; 1-30

丹後俊郎, 藤田利治, 上畑鉄之丞. **焼却施設の選定と健**

康影響の方法論に関する研究。(主任研究者:上畑鉄之丞). 平成11年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業報告書ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響に関する疫学研究, 2000; 9-22

丹後俊郎, 磯野威, 他. **21世紀の保健・医療・福祉分野におけるEBMによる新しい情報提供機能の確立のための調査研究(総括報告)**. (主任研究者:丹後俊郎). 平成11年度厚生科学特別研究事業総括・分担研究報告書, 2000; 1-4

泉峰子, 柳律子, 磯野威, 丹後俊郎. **公衆衛生従事者における情報サービスの現状**. (主任研究者:丹後俊郎). 平

成11年度厚生科学特別研究事業総括・分担研究報告書, 2000; 67-72

磯野威. **EBMを支援する「情報センター」機能の考察**. (主任研究者:丹後俊郎). 平成11年度厚生科学特別研究事業総括・分担研究報告書, 2000; 107-110

綿引信義, 磯野威. **米国の公衆衛生学校と遠隔教育について**. (研究代表者:上畑鉄之丞). 平成11年度厚生省国際医療協力研究委託事業 開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究 報告書, 2000; 34-37

Originals

Tango T. **Confidence intervals for differences in correlated binary proportions**. *Statistics in Medicine*. 2000; **19**: 133-139

Tango T. **A test for spatial disease clustering adjusted for multiple testing**. *Statistics in Medicine*. 2000; **19**: 191-204.

Wang D, Kato N, Inaba Y, Tango T, Yoshida Y, Kusaka Y, Deguchi Y, Tomita F, Zhang Q. **Physical and**

personality traits of preschool children in Fuzhou, China: only child vs sibling. *Child Care, Health and Development*. 2000; **26**: 49-60

Proceedings with abstracts

Tango T. **Extended score tests for focused clustering**. The XXth International Biometric Conference. University of California, Berkeley. Jul. 2000; 93